

大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査
— 報告書 —

目次

I 調査計画

II 個人調査結果

【1】回答者の属性

1. 性別構成比 3
2. 年齢別構成比 3

【2】大分市の国際化施策について

1. 大分市と海外の交流の意見 4
2. 大分市と海外の交流の期待 5
3. 海外との交流の取り組み 6
4. 日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくための取り組み 8

III 留学生調査結果

【1】回答者の属性

1. 年齢別構成比 10
2. 留学生の種類 10
3. 学校 11
4. 専攻 12
5. 大分市での居住 13
6. 居住年数 13
7. 居住の理由 14

【2】国際交流の実態や意識について

1. 1ヶ月の生活費 15
2. 奨学金の受給状況 17
3. 1か月あたりの奨学金の受給額 19
4. アルバイトの種類 20
5. アルバイトに対する希望 21
6. 住居形態 22
7. 同居者（ルームシェア等）の有無 23
8. 1か月の家賃 25
9. 住居の不満 26

【3】国際交流に対する意識や意向などについて

1. 学校や仕事以外での日本人との交流 27
2. 市民との国際交流の希望 29
3. 必要な生活情報の入手先 31
4. 現在、最もほしいと思う情報 33
5. 生活の問題 36
6. 大分の好きなおところ 37

【4】卒業した後について	
1. 卒業した後の予定	40
【5】その他	
1. 新型コロナウイルスで困っていること	41
2. 大分の生活などについての意見	43

IV 国際交流団体調査結果

【1】団体の属性	
1. 団体の形態	44
2. 会員数	44
3. 会員の主な職業	45
4. 団体運営の主な財源	45
【2】活動について	
1. 国際交流・協力活動	46
2. 活動上の問題点や課題	49
3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと	52
4. 国際交流・協力をを行う場合の行政に対する希望	55
【3】大分市の事業について	
1. 大分の事業の認知度	58
【4】全般について	
1. 新型コロナウイルスについての意見	59
2. 大分市の国際化・国際戦略についての提言、要望	62

V 企業調査結果

【1】企業の属性	
1. 企業の業種	63
2. 外国人の雇用	64
3. 事業の海外展開	65
【2】外国人労働者の受け入れについて	
1. 外国人労働者への支援	67
2. 外国人労働者を受け入れることに関する課題	68
【3】海外展開	
1. 姉妹・友好都市関係の実施内容	71
2. 注目している国・地域	72
3. 海外市場に展開するにあたるリスク	73
4. 海外展開のやってみたいこと	74
【4】海外展開に関する支援	
1. 利用した支援先	75
2. 利用したい支援先	76
3. 海外展開の支援の期待	79

【5】 行政の施策について	
1. 政府に対する期待	80
2. 「第3次大分市国際化推進計画」の事業	81
【6】 全般について	
1. 今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響等についての意見	82
2. 大分市の国際化・国際戦略についての意見・要望	84

I 調査計画

【1】調査の目的

本調査は、本市の国際化諸施策に関する市民や留学生、関連団体等の意見やニーズ等を把握し、「第4次大分市国際化推進計画(計画年次:2021(令和3)年～2024(令和6)年)」を策定する為の基礎資料を得るとともに、国際化諸施策を総合的・計画的に推進することを目的として実施した。

【2】調査対象

1. 個人/住民基本台帳に記載された市内在住の18歳以上の市民

(内訳)

・農林漁業.....	9人
・自営業(商工・サービス).....	65人
・専門職(医師・弁護士など).....	63人
・会社員.....	389人
・公務員.....	89人
・パート、アルバイト.....	171人
・専業主婦(主夫).....	196人
・学生.....	27人
・無職.....	256人
・その他.....	25人
・無回答.....	25人
<hr/>	
合計.....	1,315人

2. 留学生/県内の大学、高専、各種学校等に通う留学生
3. 国際交流団体/おおいた国際交流プラザ登録国際交流団体
大分市国際都市交流親善会議会員団体
4. 企業/大分市観光協会会員企業
おおいた産品等販売促進協議会会員企業
外国人技能実習生受入監理団体

【3】調査方法

・個人	郵送による調査票の配布・改修またはインターネット
・留学生	インターネットによる調査・回答
・国際交流団体	インターネットによる調査・回答
・企業	インターネットによる調査・回答

【4】調査期間

・個人	令和元年 11月15日～12月13日
・留学生	令和2年 8月17日～9月18日
・国際交流団体	令和2年 8月17日～9月18日
・企業	令和2年 8月17日～9月18日

【5】回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
1. 個人	4,000	1,315	33.2%
2. 留学生	444	100	22.5%
3. 国際交流団体	123	46	37.4%
4. 企業	137	47	34.3%

【6】報告書の見方について

1. 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
2. 2つ以上の回答が可能な複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
3. 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数を「n」で表記している。
4. 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
5. 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
6. 設問によっては、選択肢が大きく異なる場合を除き、平成27年度に実施した同様の調査（「前回調査」と表記）との比較を行っている。
7. この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。
8. 表中の「色付け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。

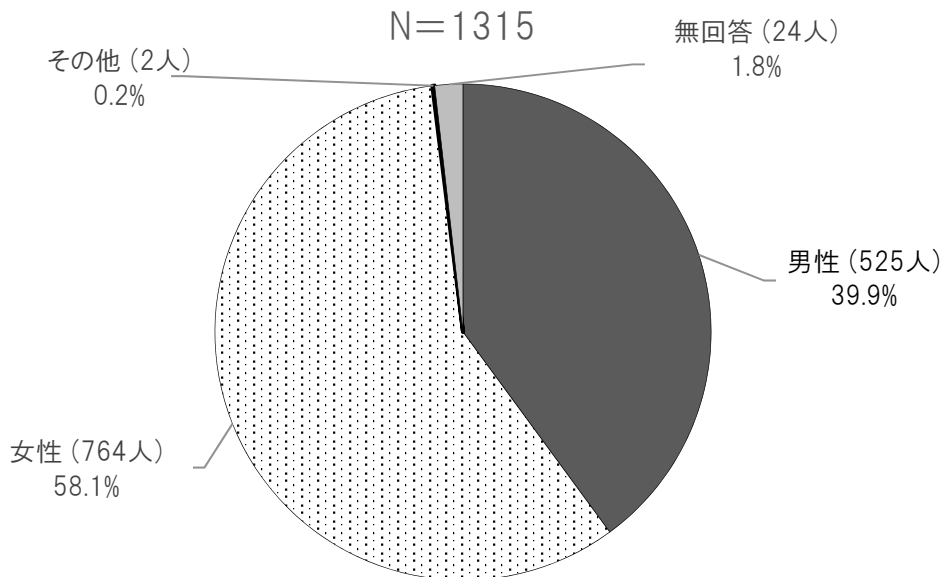
Ⅱ 個人調査結果

【1】回答者の属性

1. 性別構成比

あなたの性別を教えてください

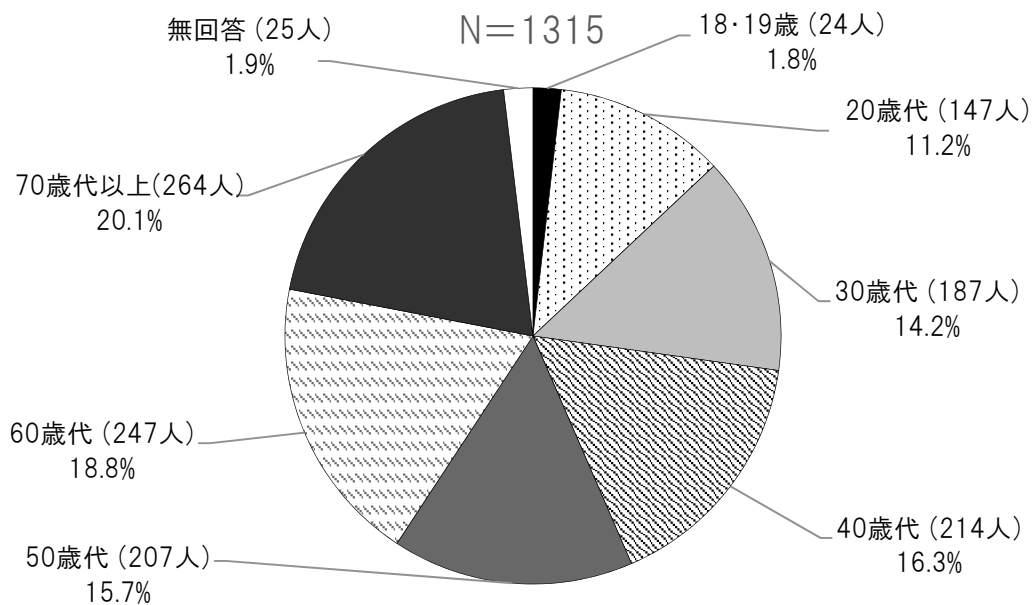
対象者の性別構成比は、女性が 58.1% 男性が 39.9%と、およそ 6 : 4 の構成である。



2. 年齢別構成比

あなたの年齢を教えてください

対象者の年齢別構成比は、70歳以上の割合が最も高く、50歳以上が半数を占めている。

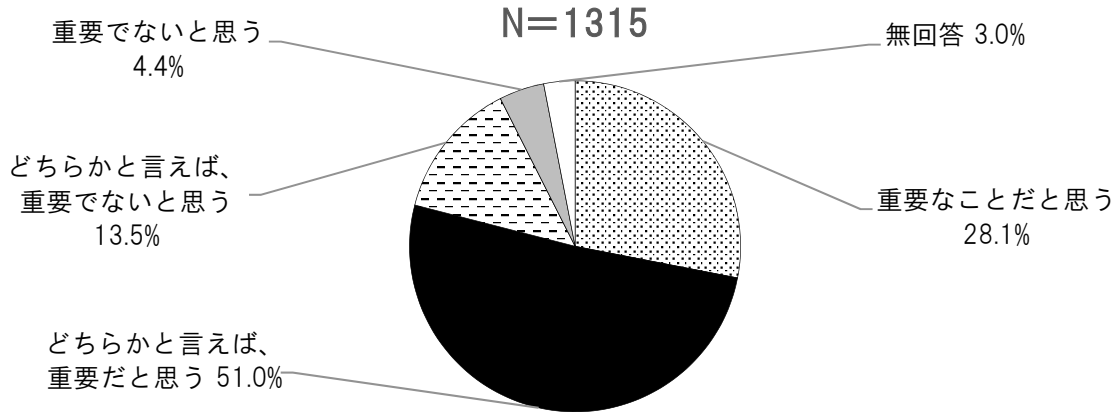


【2】大分市の国際化施策について

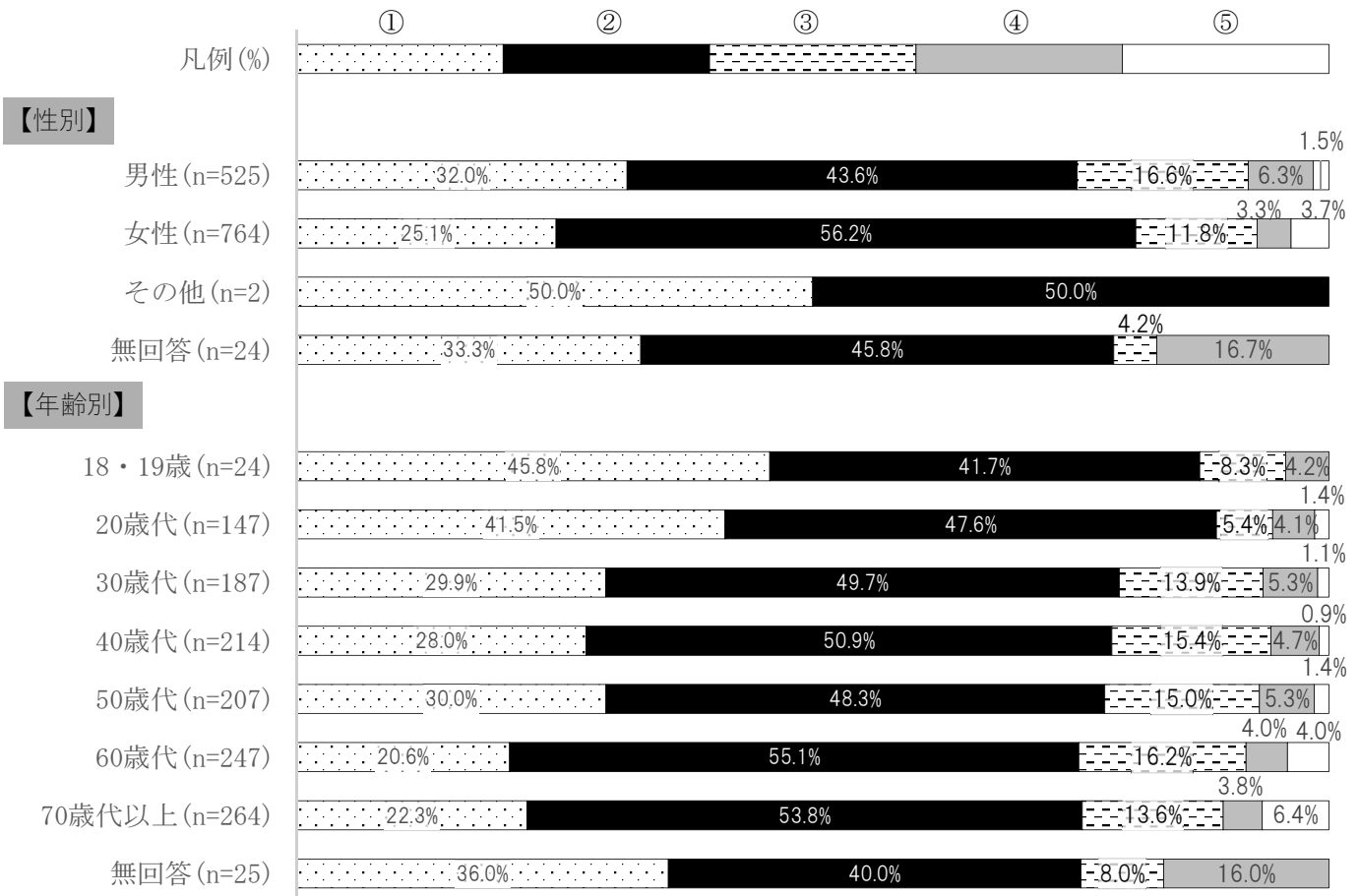
1. 大分市と海外の交流の意見

大分市と海外との交流が進むことについて、あなたはどのように思いますか

大分市と海外の交流については、全体、性別、18・19歳を除く年齢別全てで「どちらかと言えば、重要だと思う」が最も多く、次いで「重要なことだと思う」が多い。全体、性別、年齢別の全てで、「重要なことだと思う」「どちらかと言えば、重要だと思う」で7割以上を占めている。



- ① 重要なことだと思う
- ② どちらかと言えば重要だと思う
- ③ どちらかと言えば重要でないと思う
- ④ 重要ではないと思う
- ⑤ 無回答

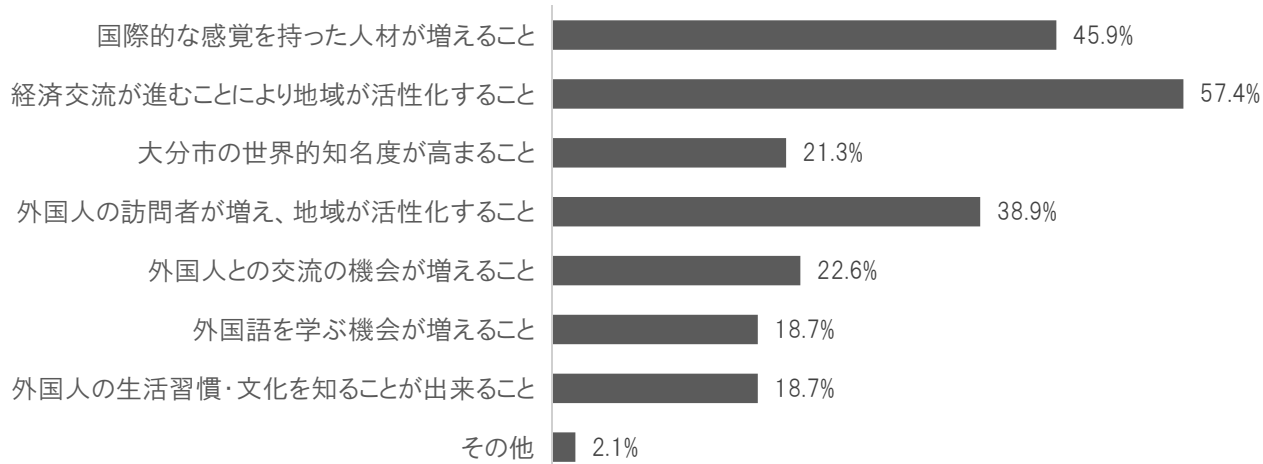


2. 大分市と海外の交流の期待

大分市と海外との交流が進むことで、あなたはどのような事を期待しますか(3つまで選択)

大分市と海外の交流の期待については、「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」が57.4%と最も高くなっている。

N=1315

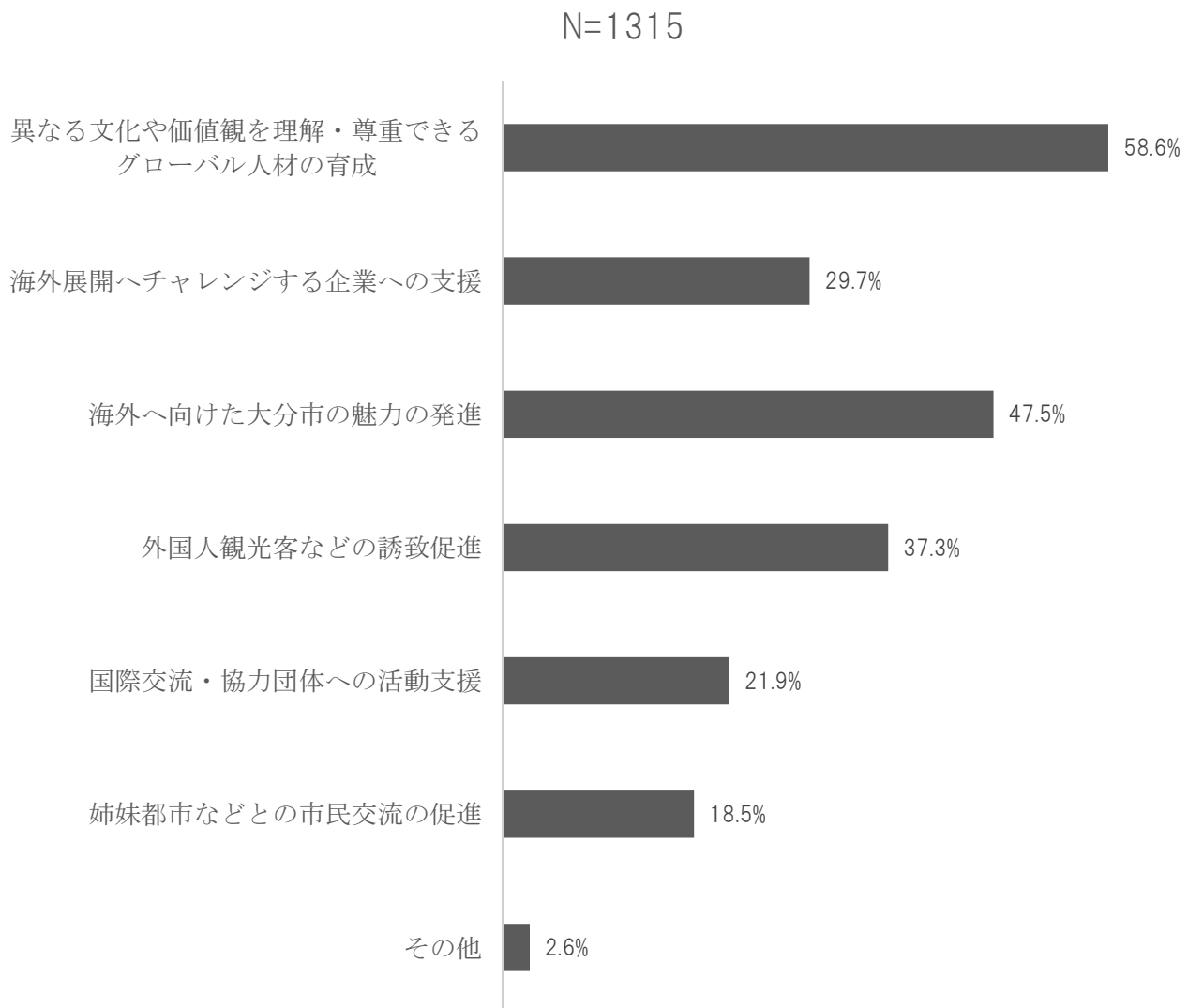


単位(%)		国際的な感覚を持った人材が増えること	経済交流が進むことにより地域が活性化すること	大分市の世界的知名度が高まること	外国人の訪問者が増え、地域が活性化すること	外国人との交流の機会が増えること	外国語を学ぶ機会が増えること	外国人の生活習慣・文化を知ることが出来ること	その他
全体(N=1315)		45.9%	57.4%	21.3%	38.9%	22.6%	18.7%	18.7%	2.1%
性別	男性(n=525)	45.0%	60.8%	23.0%	39.6%	23.8%	14.1%	19.0%	3.0%
	女性(n=764)	46.6%	55.2%	20.3%	38.7%	21.5%	22.1%	18.7%	1.6%
	その他(n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	無回答(n=24)	41.7%	54.2%	16.7%	33.3%	29.2%	8.3%	12.5%	0.0%
年齢別	18・19 歳(n=24)	29.2%	50.0%	45.8%	41.7%	33.3%	25.0%	20.8%	4.2%
	20 歳代(n=147)	45.6%	56.5%	23.8%	40.8%	27.2%	23.8%	22.4%	2.0%
	30 歳代(n=187)	41.2%	60.4%	23.5%	43.9%	23.0%	25.1%	17.1%	2.7%
	40 歳代(n=214)	48.1%	59.3%	23.4%	39.7%	20.6%	21.5%	17.8%	2.8%
	50 歳代(n=207)	46.4%	55.6%	15.5%	35.3%	22.2%	20.8%	20.3%	1.4%
	60 歳代(n=247)	55.1%	61.1%	16.6%	40.1%	23.9%	15.4%	17.8%	2.0%
	70 歳代以上(n=264)	40.2%	53.0%	23.5%	35.6%	18.9%	10.6%	18.6%	1.9%
	無回答(n=25)	44.0%	56.0%	20.0%	36.0%	28.0%	12.0%	12.0%	0.0%

3. 海外との交流の取り組み

大分市が海外と交流するにあたり、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか
(3つまで選択)

海外との交流の取り組みについては、「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」が 58.6%と最も多く、次いで「海外へ向けた大分市の魅力の発信」が 47.5%、「外国人観光客などの誘致促進」が 37.3%の順となっている。



単位(%)		異なる文化や価値観を理解・尊重できる グローバル人材の育成	海外展開へチャレンジする企業への支援	海外へ向けた大分市の魅力の発信	外国人観光客などの誘致促進	国際交流・協力団体への活動支援	姉妹都市などとの市民交流の促進	その他
全体(N=1315)		58.6%	29.7%	47.5%	37.3%	21.9%	18.5%	2.6%
性別	男性(n=525)	55.4%	31.8%	48.4%	45.0%	19.0%	20.0%	3.2%
	女性(n=764)	61.0%	28.3%	47.6%	31.9%	23.8%	17.8%	2.2%
	その他(n=2)	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答(n=24)	50.0%	29.2%	20.8%	37.5%	25.0%	8.3%	0.0%
年齢別	18・19歳(n=24)	66.7%	45.8%	54.2%	33.3%	16.7%	25.0%	4.2%
	20歳代(n=147)	67.3%	36.1%	40.1%	38.8%	23.1%	12.9%	2.0%
	30歳代(n=187)	55.6%	34.2%	48.1%	41.7%	21.4%	19.8%	2.1%
	40歳代(n=214)	61.2%	30.4%	45.3%	38.8%	22.0%	14.0%	3.3%
	50歳代(n=207)	60.4%	31.9%	47.8%	32.4%	20.3%	15.5%	3.4%
	60歳代(n=247)	61.9%	27.9%	50.2%	37.2%	23.1%	21.1%	2.8%
	70歳代以上(n=264)	49.2%	20.5%	51.5%	35.6%	22.0%	24.6%	1.9%
	無回答(n=25)	48.0%	32.0%	24.0%	44.0%	24.0%	8.0%	0.0%

【その他の主な意見】

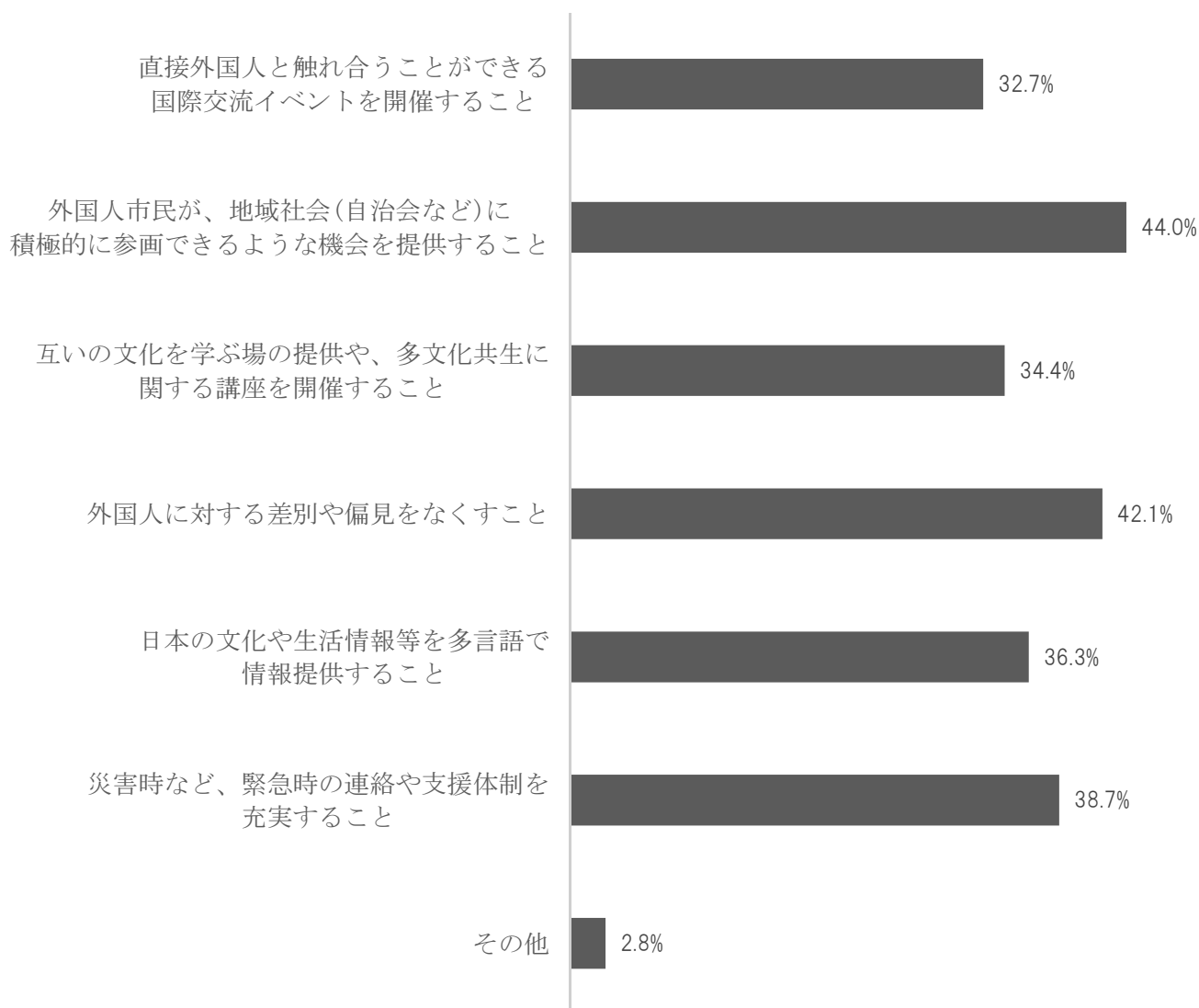
- ・ 留学生の受け入れ。大学の誘致。
- ・ 英語など外国語を学べる環境づくり

4. 日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくための取り組み

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか？

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくための取り組みについては、「外国人市民が、地域社会(自治会など)に積極的に参画できるような機会を提供すること」が44.0%と最も多く、次いで「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」が42.1%、「災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること」が38.7%となっている。

N=1315



単位(%)		直接外国人と触れ合うことができる国際交流イベントを開催すること	外国人市民が、地域社会(自治会などに積極的に参画できるような機会を提供すること	互いの文化を学ぶ場の提供や、多文化共生に関する講座を開催すること	外国人に対する差別や偏見をなくすこと	日本の文化や生活情報等を多言語で情報提供する	災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること	その他
全体(N=1315)		32.7%	44.0%	34.4%	42.1%	36.3%	38.7%	2.8%
性別	男性(n=525)	33.9%	46.5%	39.0%	41.7%	37.1%	32.0%	3.2%
	女性(n=764)	32.5%	42.3%	31.7%	42.7%	36.1%	43.7%	2.5%
	その他(n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答(n=24)	12.5%	45.8%	25.0%	33.3%	29.2%	29.2%	4.2%
年齢別	18・19 歳(n=24)	41.7%	25.0%	41.7%	29.2%	58.3%	54.2%	0.0%
	20 歳代(n=147)	40.1%	36.1%	32.7%	45.6%	43.5%	40.8%	2.0%
	30 歳代(n=187)	36.9%	34.8%	31.0%	42.2%	46.0%	40.1%	4.8%
	40 歳代(n=214)	36.9%	42.5%	35.5%	41.1%	38.8%	41.1%	3.7%
	50 歳代(n=207)	30.0%	42.5%	38.2%	43.0%	30.0%	44.4%	2.9%
	60 歳代(n=247)	30.0%	56.3%	34.4%	42.5%	32.8%	34.8%	2.0%
	70 歳代以上(n=264)	27.7%	47.7%	34.8%	41.7%	29.9%	33.3%	1.9%
	無回答(n=25)	16.0%	44.0%	20.0%	36.0%	36.0%	28.0%	4.0%

【その他の主な意見】

- ・ 日本語や日本の文化を学べるようにする
- ・ 外国語教育
- ・ 外国人に関わる役所の機関を整える

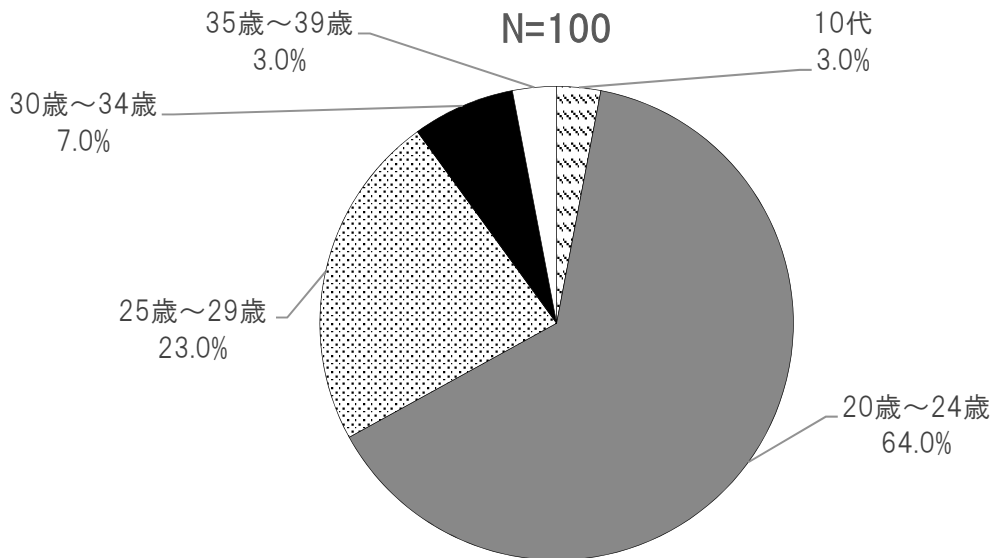
Ⅲ 留学生調査結果

【1】回答者の属性

1. 年齢別構成比

何歳ですか？

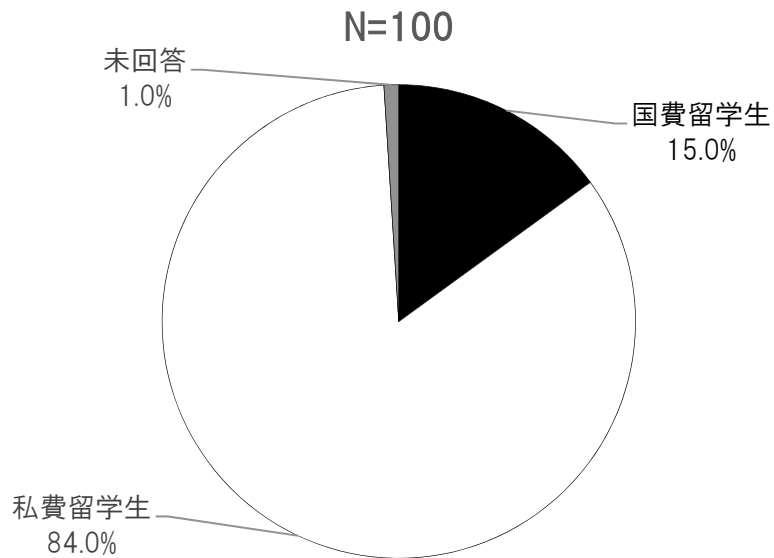
対象者の年齢別構成比は、「20歳～24歳」が64.0%、「25歳～29歳」が23.0%で、20歳代の割合が8割以上(87.0%)を占めている。



2. 留学生の種類

留学生の種類は何ですか？

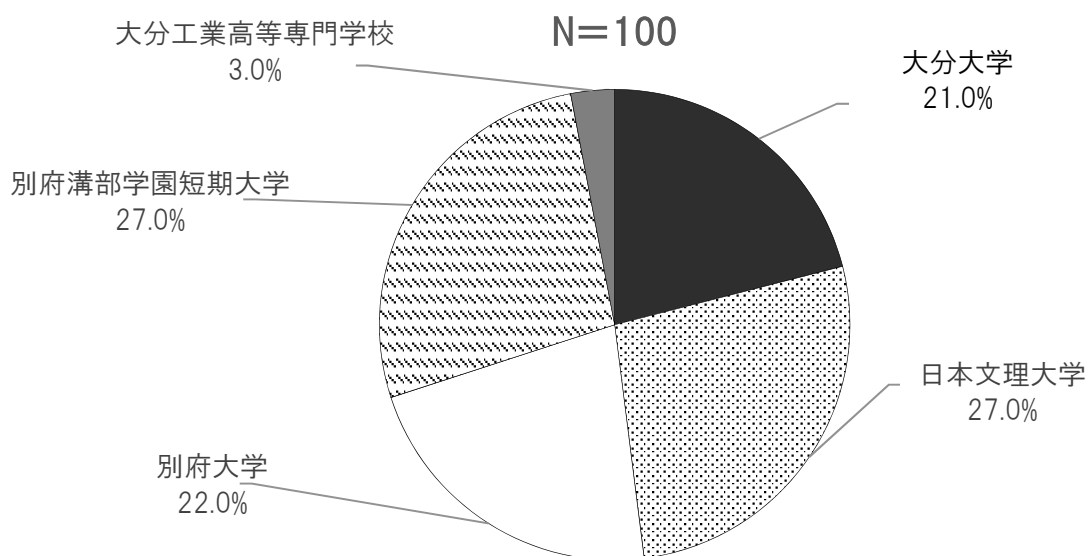
種類については、「私費留学生」が8割以上(84.0%)と大半を占めている。



3. 学校

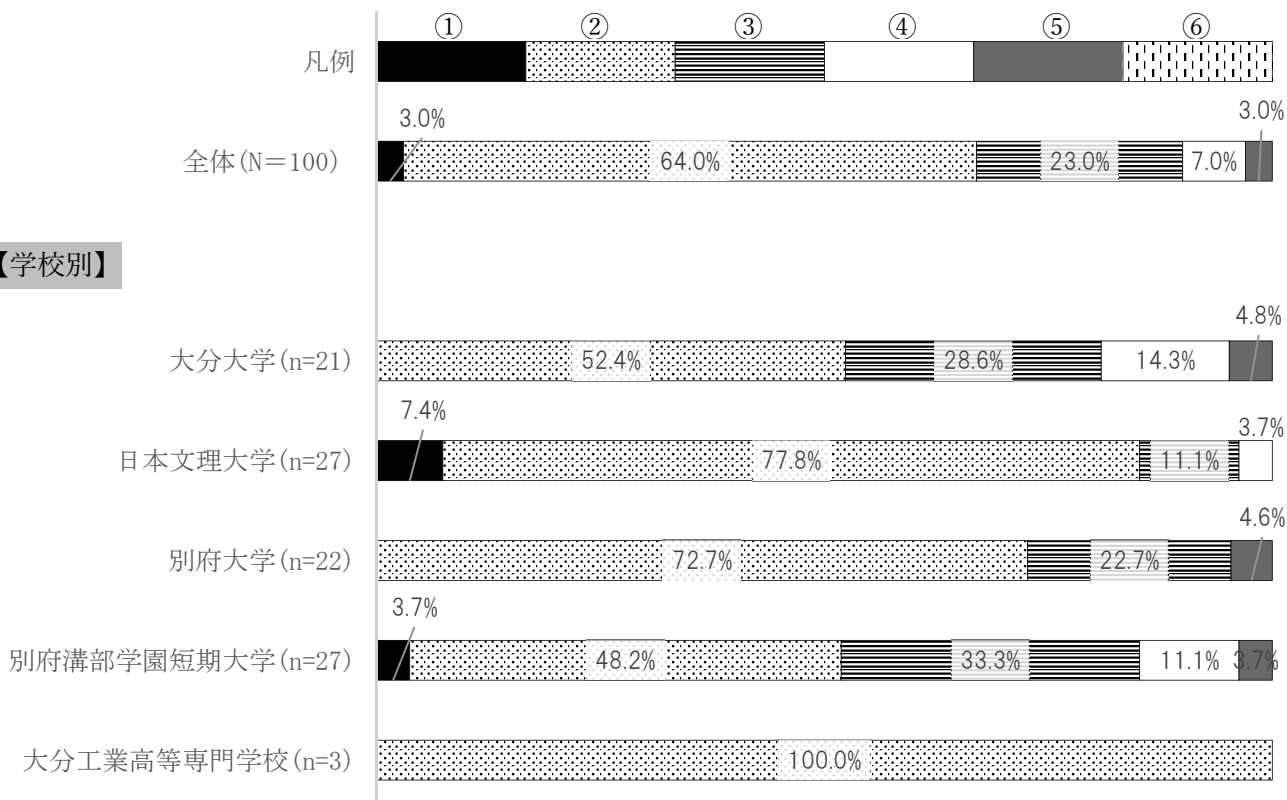
学校はどこですか？

学校については、「日本文理大学」「別府溝学園短期大学」が27.0%、「別府大学」が22.0%、「大分大学」が21.0%の順となっている。



学校別の年齢別構成比は、「20歳～24歳」と「25歳～29歳」の20歳代の割合がそれぞれの学校で8割以上を占めている。

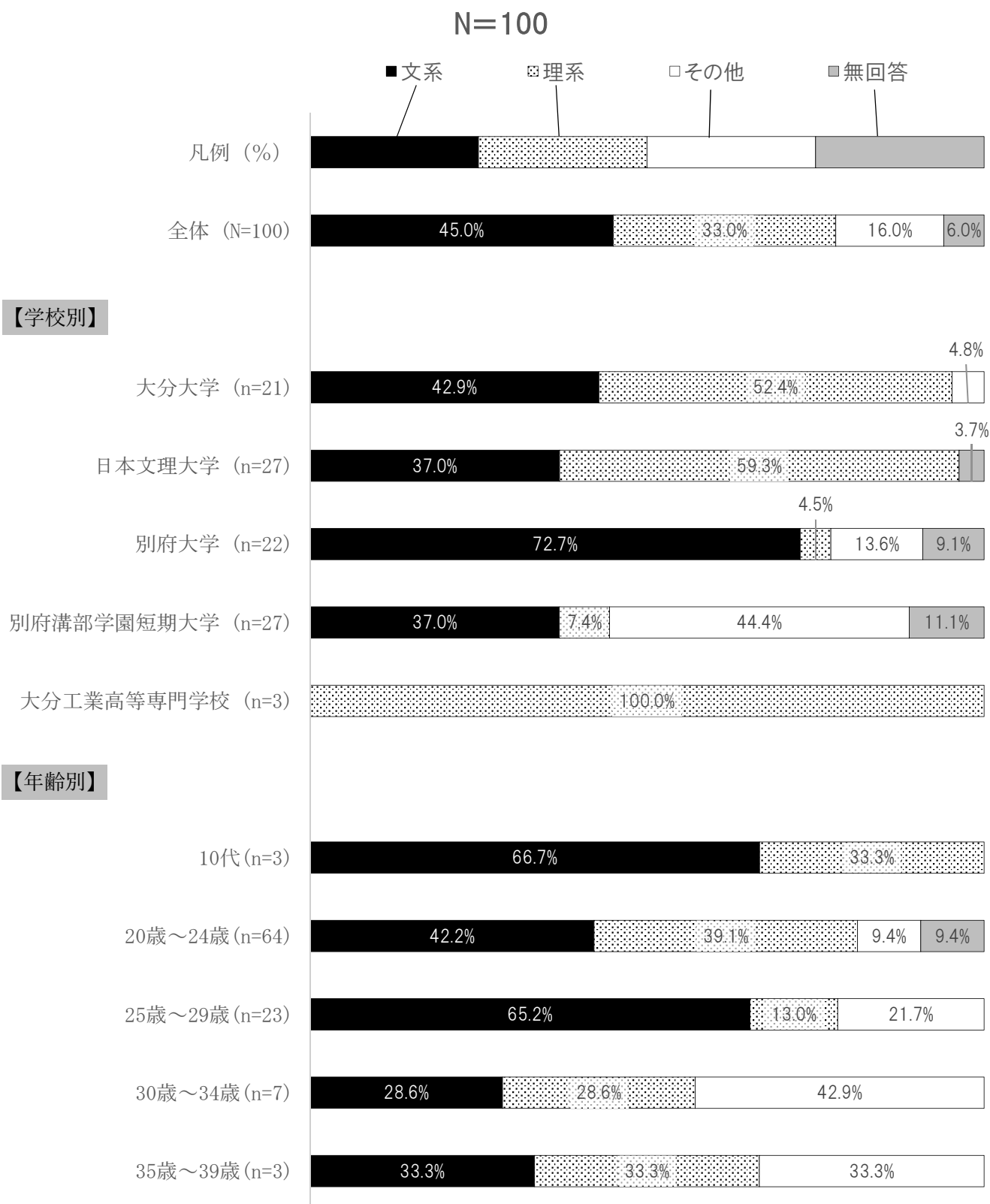
- ① 10代 ② 20歳～24歳 ③ 25歳～29歳 ④ 30歳～34歳 ⑤ 35歳～39歳 ⑥ 40歳以上



4. 専攻

専攻は何ですか？

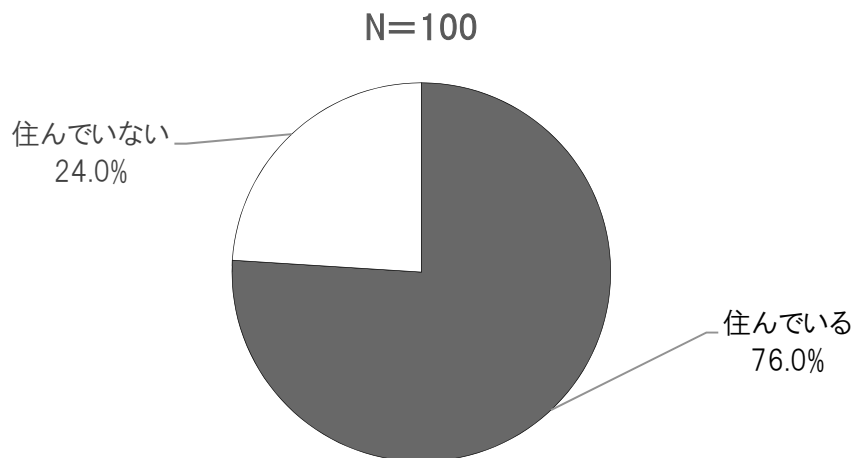
専攻については、「文系」が45.0%で最も高く、次いで「理系」が33.0%、「その他」16.0%の順となっている。



5. 大分市での居住

大分市に住んでいますか？

大分市での居住については、「住んでいる」が76.0%となっている。



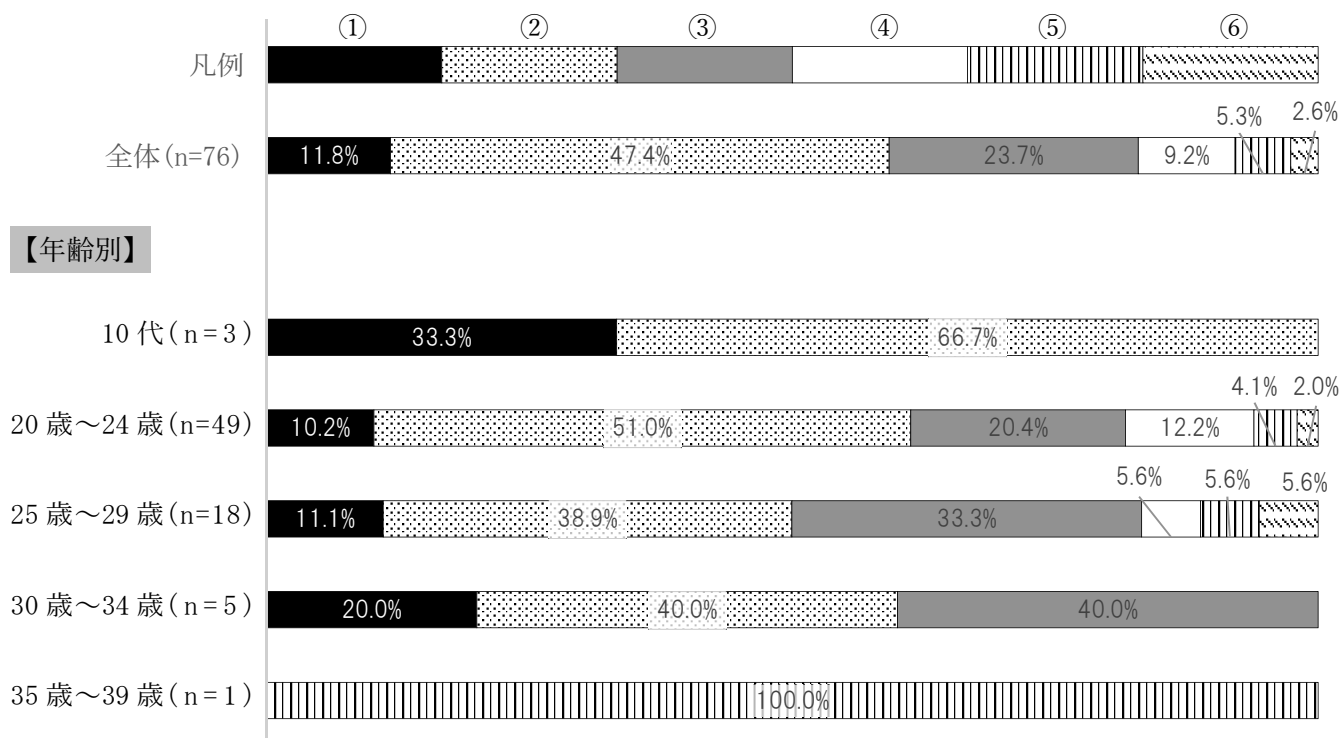
6. 居住年数

大分市に何年住んでいますか？

居住年数については、「1年～2年未満」が47.4%と最も高く、「2年～3年未満」が23.7%である。3年以上は17.1%となっている。

n=76

① 1年未満 ② 1年～2年未満 ③ 2年～3年未満 ④ 3年～4年未満 ⑤ 4年～5年未満 ⑥ 5年～6年未満

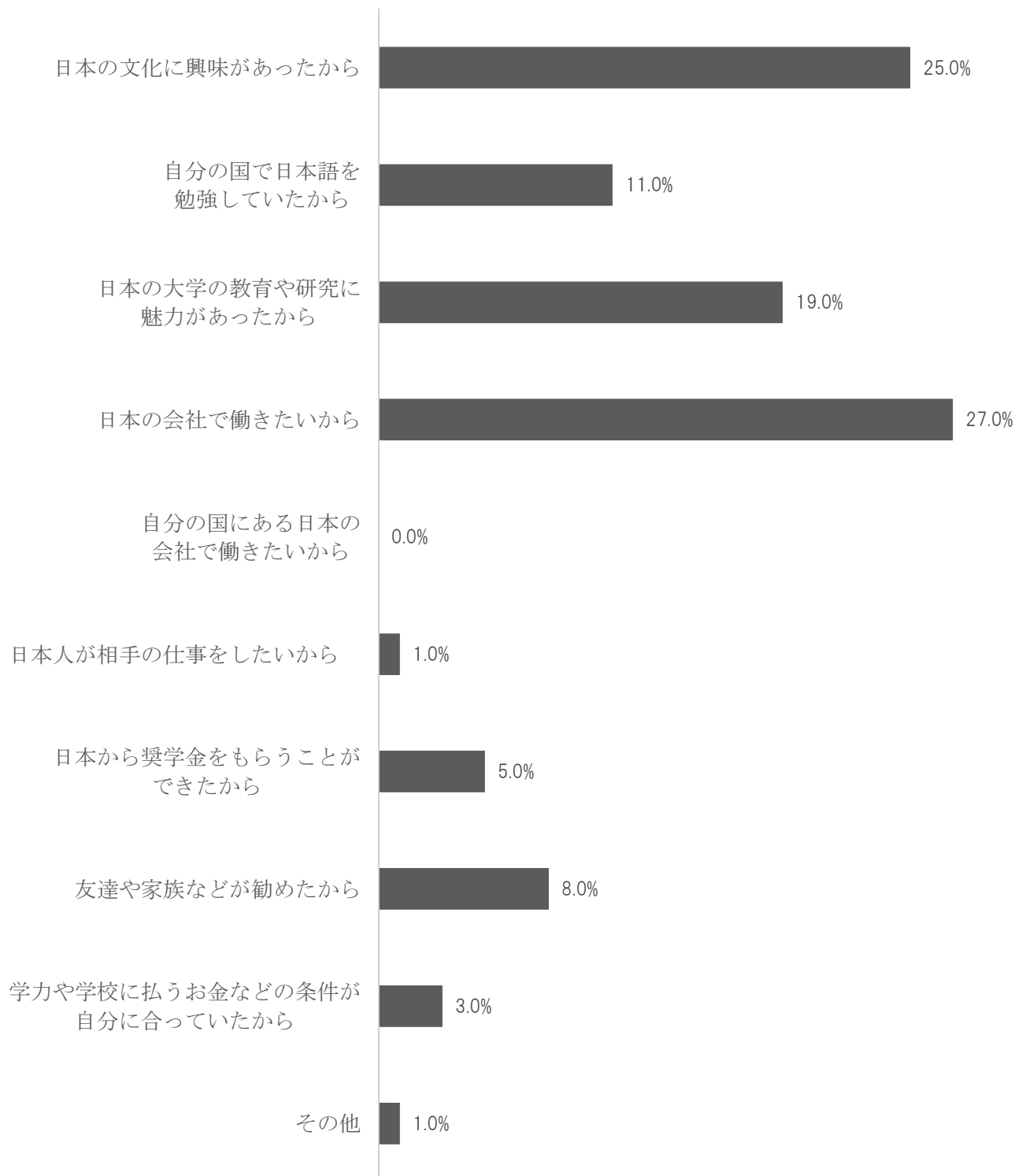


7. 居住の理由

大分に留学した主な理由は何ですか？

居住の理由としては、「日本の文化に興味があったから」「日本の大学の教育や研究に魅力があったから」「日本の会社で働きたいから」などの理由が全体の6割以上を占めている。

N=100

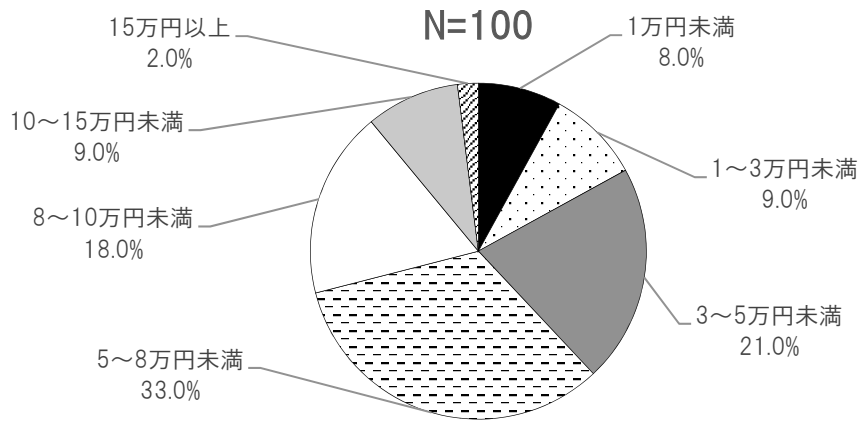


【2】国際交流の実態や意識について

1. 1ヶ月の生活費

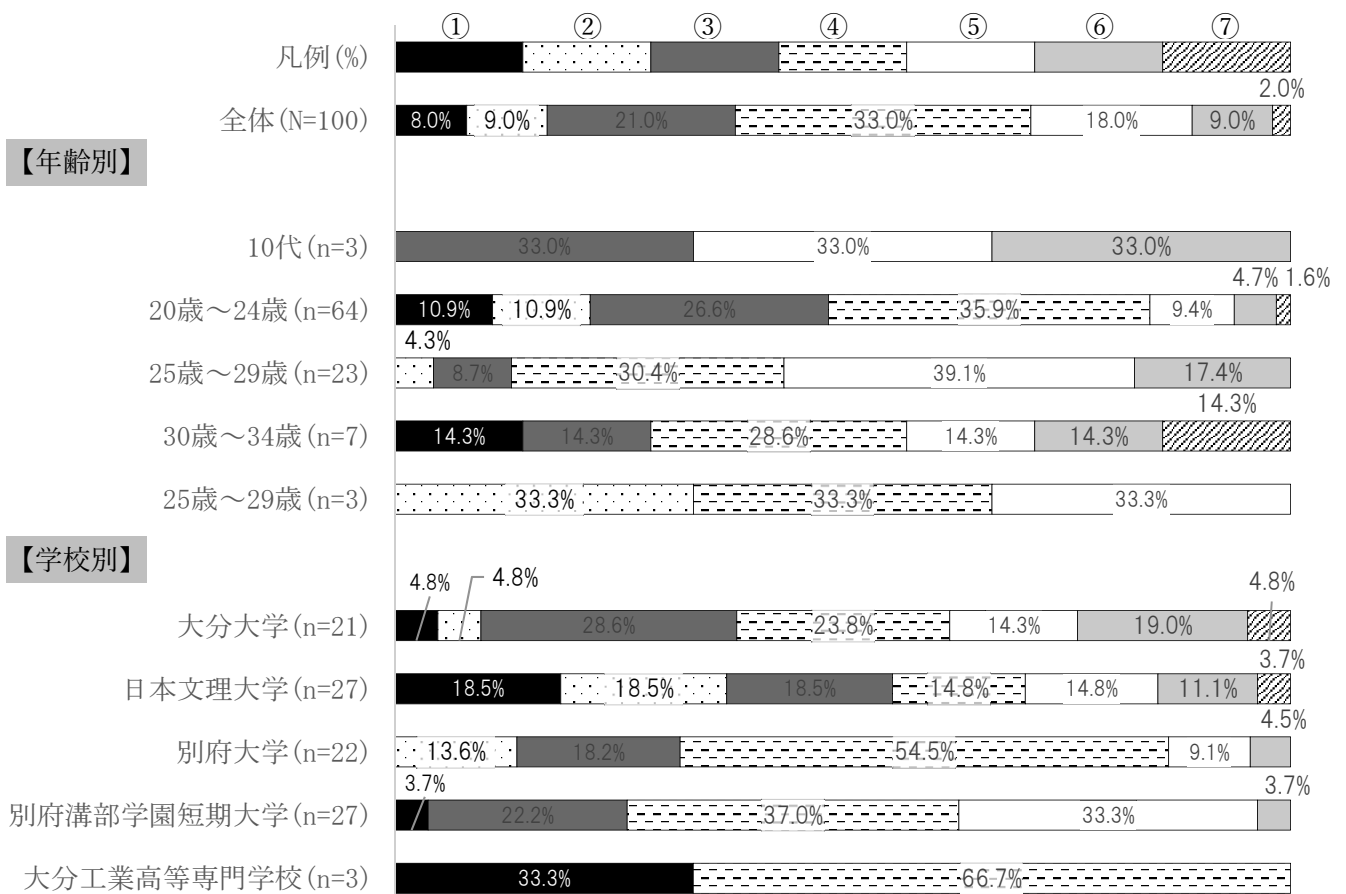
生活のためのお金は1ヶ月にどのくらいかかりますか？

1か月の生活費については、「5～8万円未満」が33.0%と最も高く、次いで「3～5万円未満」が21.0%、「8～10万円未満」が18.0%の順となっている。



N=100

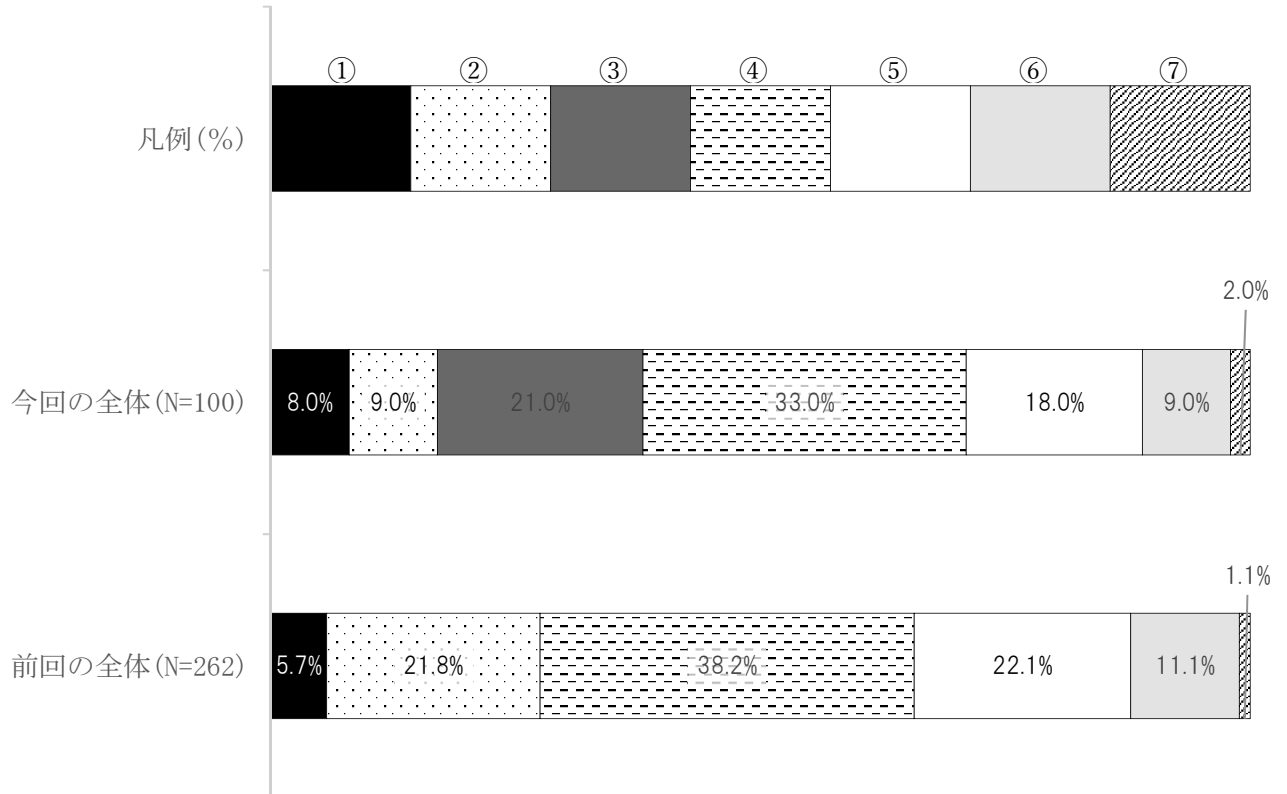
- ① 1万円未満 ② 1～3万円未満 ③ 3～5万円未満 ④ 5～8万円未満 ⑤ 8～10万円未満
⑥ 10～15万円未満 ⑦ 15万円以上



前回調査との比較を見ると、今回調査では「3～5万円未満」はほぼ変わらず、「1～3万円未満」が増加し、「5～8万円未満」と「8～10万円未満」が減少している。

◆前回調査との比較◆

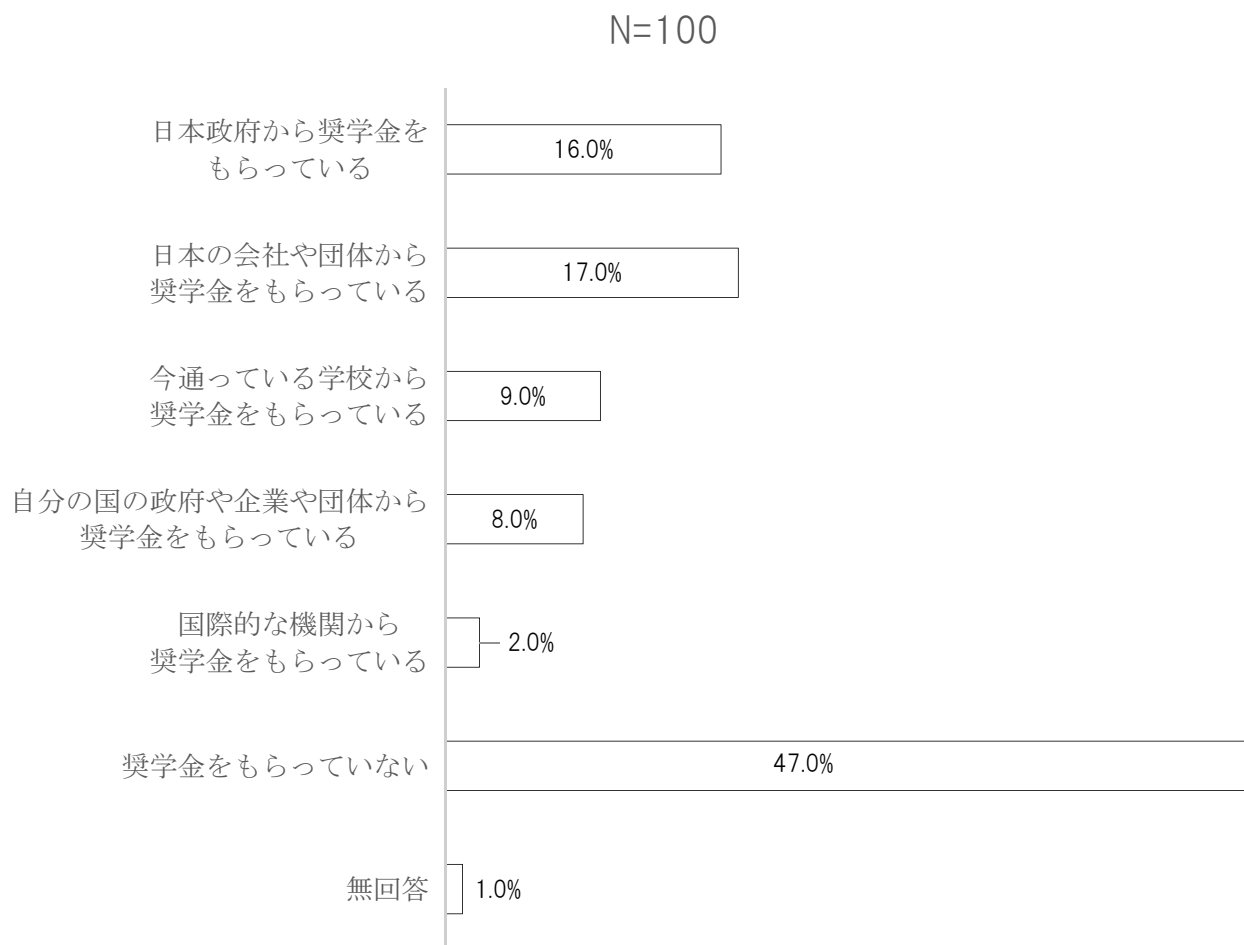
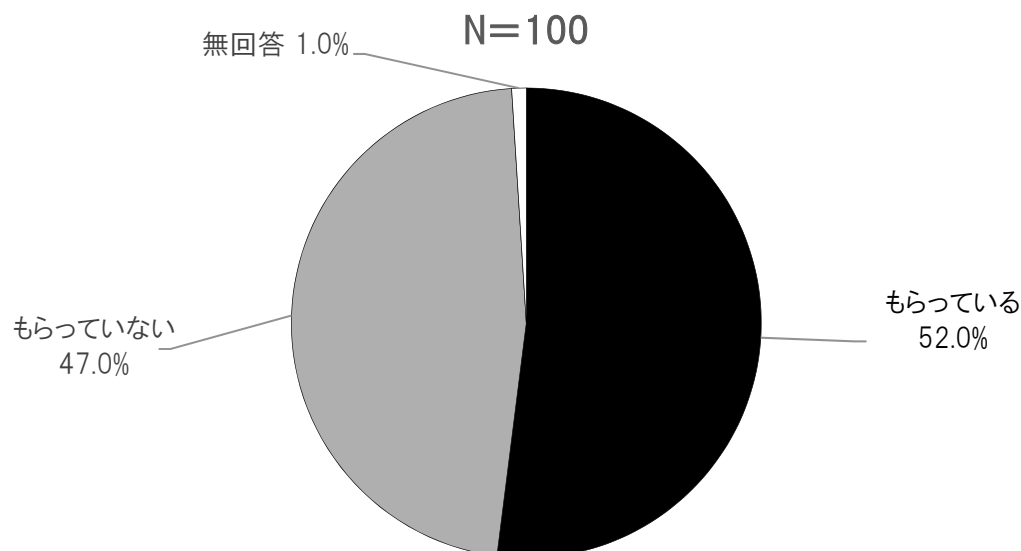
- ① 1万円未満 ② 1～3万円未満 ③ 3～5万円未満 ④ 5～8万円未満 ⑤ 8～10万円未満
⑥ 10～15万円未満 ⑦ 15万円以上



2. 奨学金の受給状況

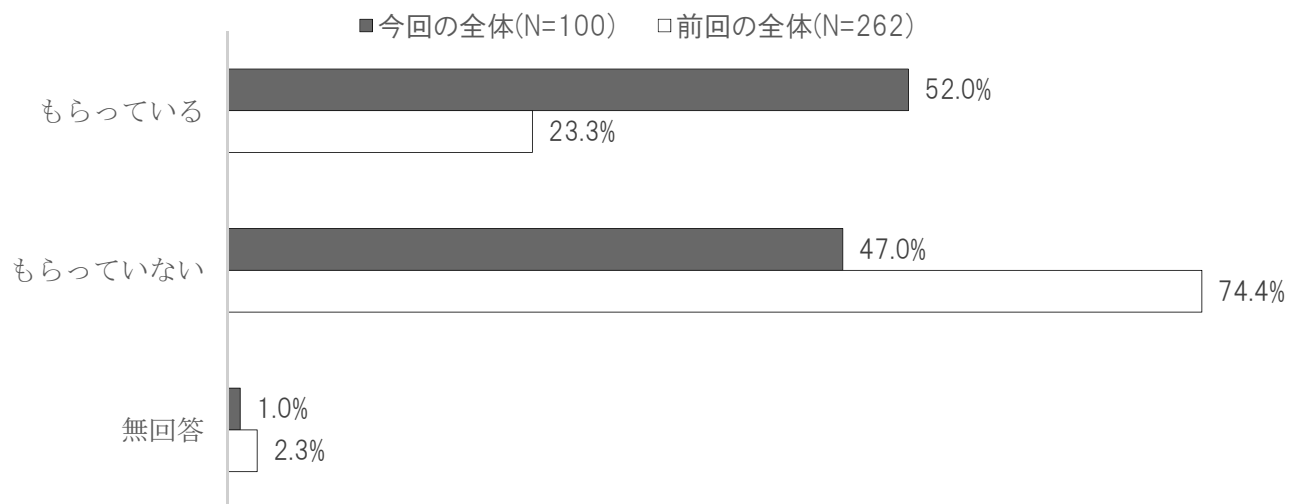
奨学金をもらっていますか？

奨学金の受給状況については、過半数の 52.0%が何らかの受給をしている。奨学金の種類としては、「日本政府からの奨学金」が 16.0%、「日本の会社や団体からの奨学金」が 17.0%で、次いで「今通っている学校からの奨学金」が 9.0%、「自分の国の政府や企業や団体からの奨学金」が 8.0%、「国際的な機関から奨学金をもらっている」が 2.0%となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「もらっている」が増加している。

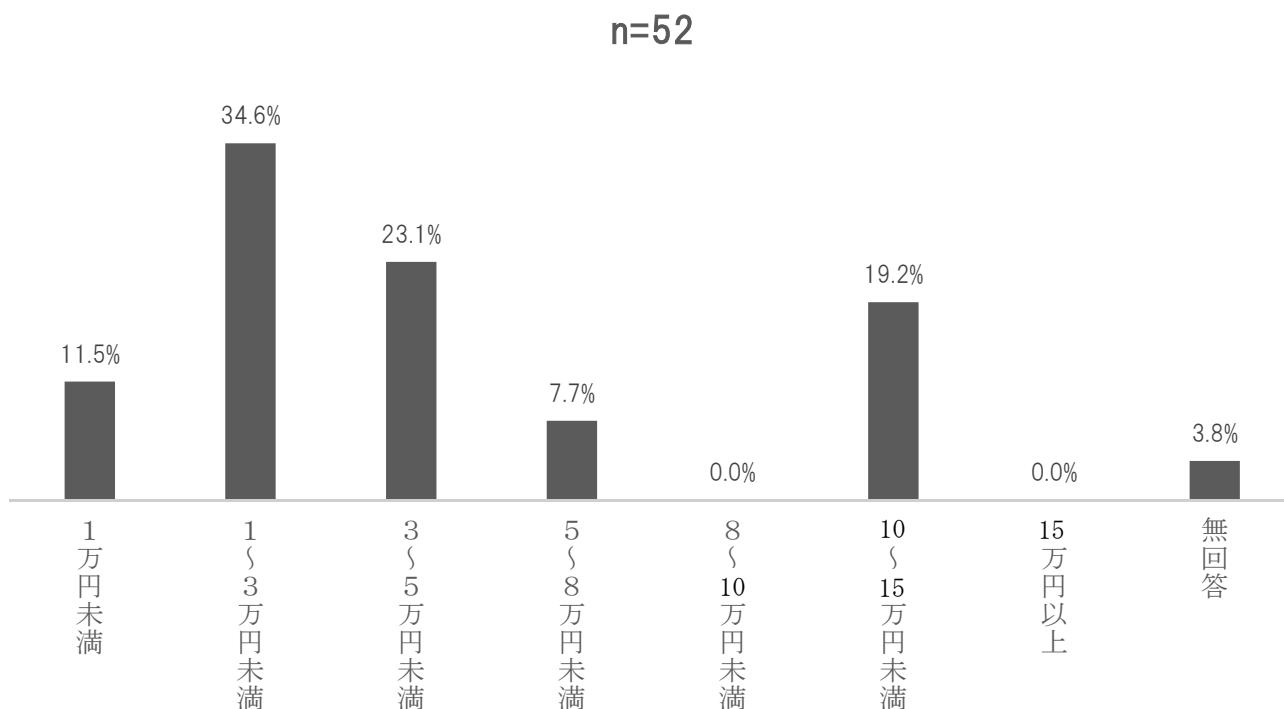
◆前回調査との比較◆



3. 1 か月あたりの奨学金の受給額

奨学金を1か月にどれくらいもらっていますか？

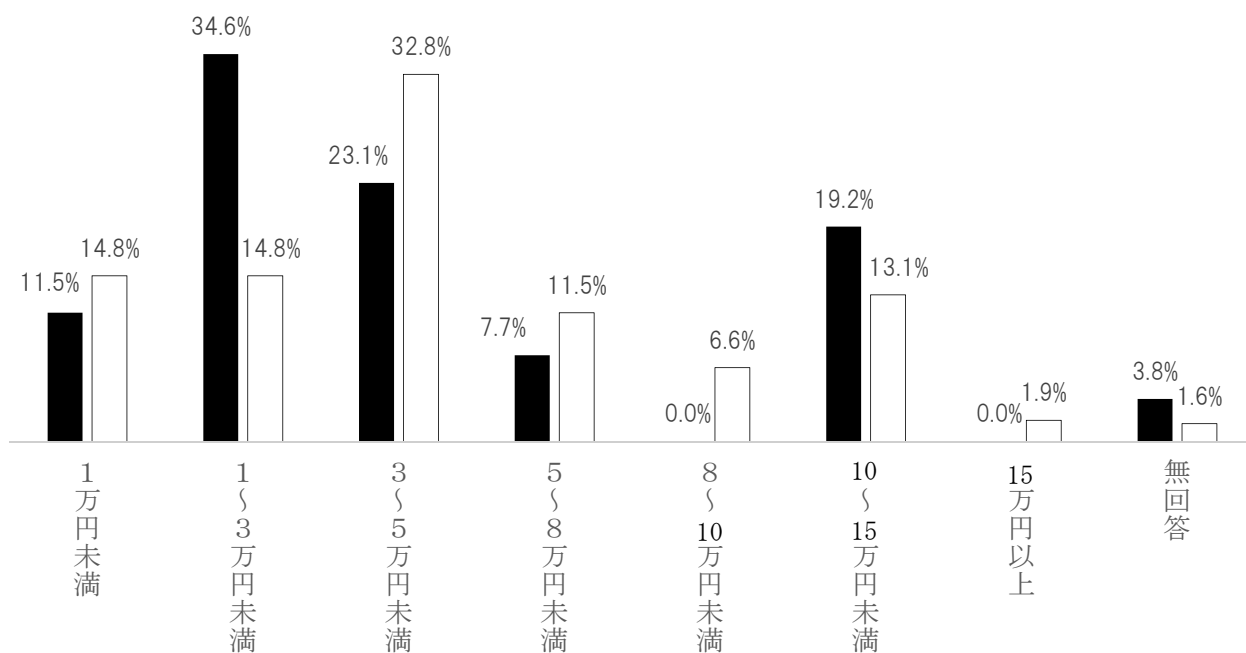
1か月あたりの奨学金受給額については、「1～3万円未満」が34.6%と最も高く、次いで「3～5万円未満」が23.1%、「10～15万円未満」が19.2%の順となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「1～3万円未満」が増加し、「3～5万円未満」が減少した。

◆ 前回調査との比較 ◆

■ 今回(n=52) □ 前回(n=61)

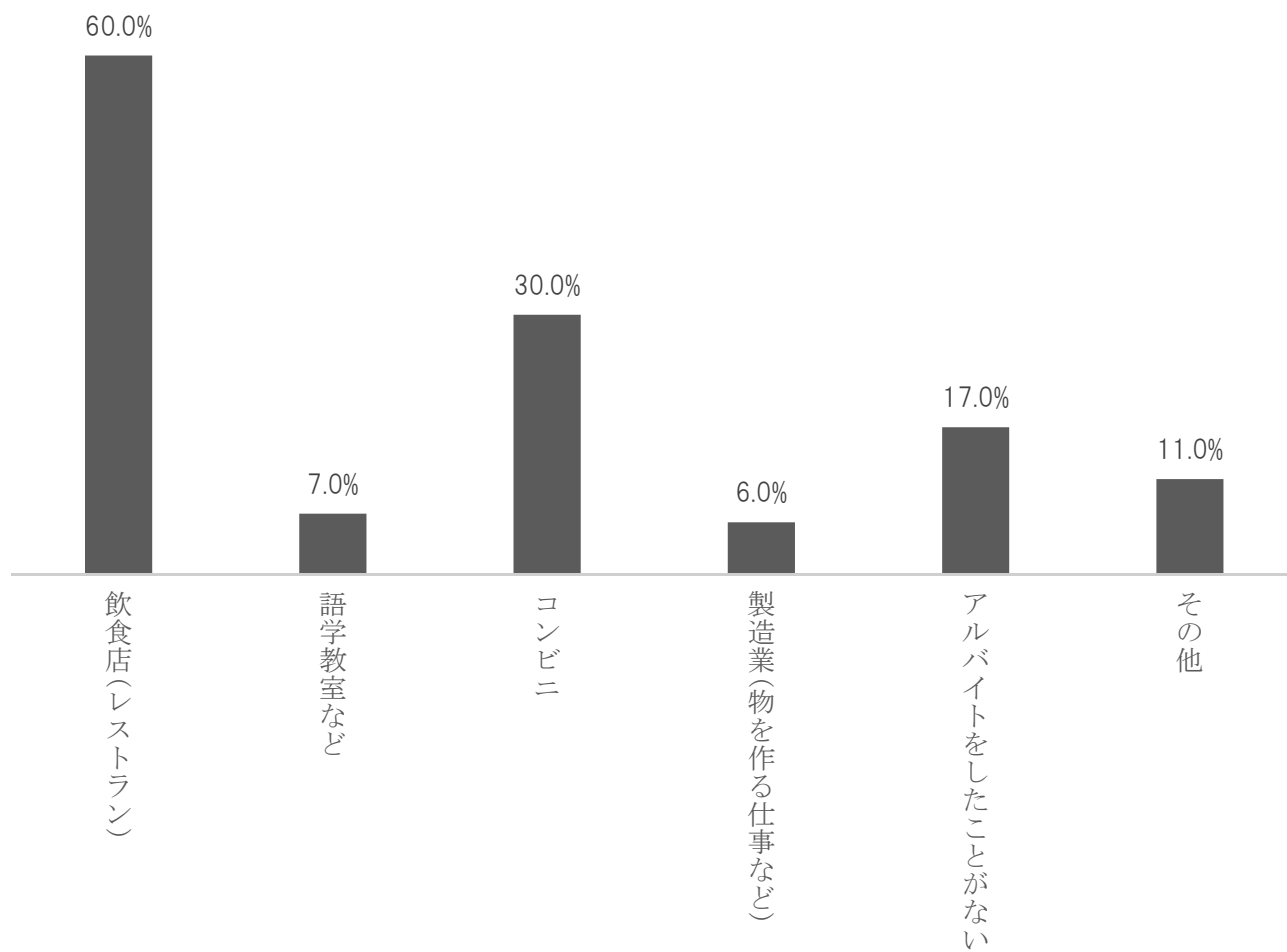


4. アルバイトの種類

これまでどこでアルバイトをしたことがありますか？（複数回答可）

アルバイトの種類については、「飲食店」が60.0%と突出して最も高く、次いで「コンビニ」が30.0%、「語学教室など」が7.0%、「製造業」が6.0%の順となっている。「アルバイトをしたことがない」は17.0%となっている。

N=100



5. アルバイトに対する希望

仕事の種類、給料、時間などアルバイトをする時の希望はありますか？

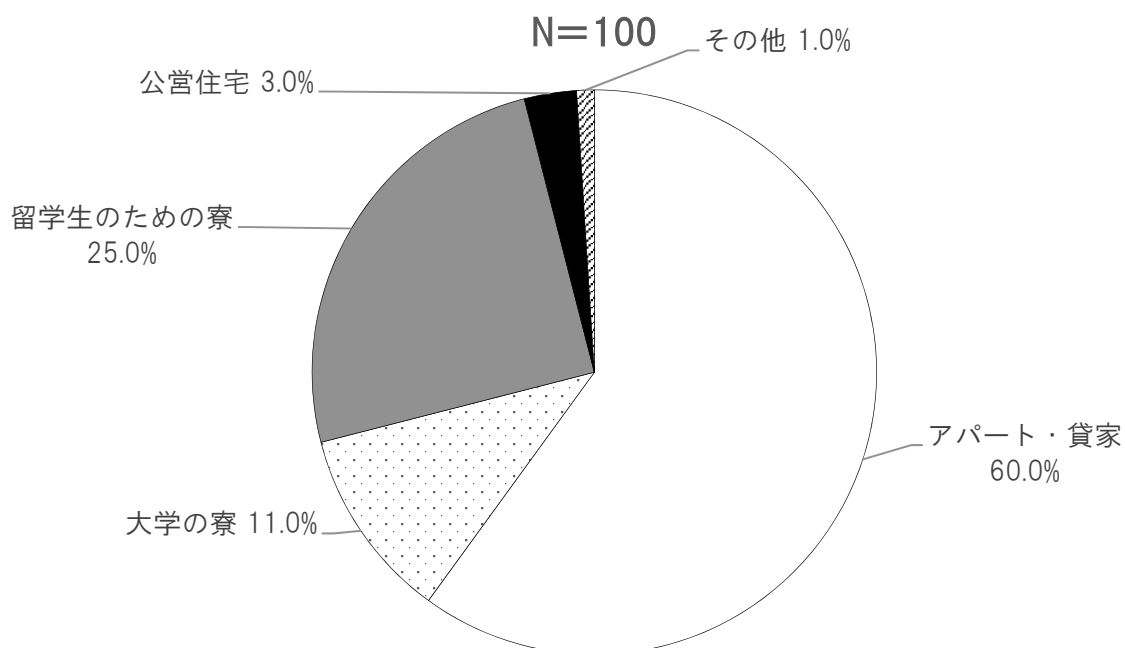
(自由回答)

- ・アルバイトを探しています (2)
- ・支払い、働く時間、アクセス
- ・特にない (15)
- ・時間が長くて時給が 900 円があったらいいです。
- ・コンビニでアルバイトです。今はコロナでバイトの時間が足りません。
- ・先月から仕事がなくなった。アルバイトがありません。工場で 27.5 時間働きました。
- ・レストランで仕事します。時給は 900 円ぐらい。一週間に 3、4 日です。
- ・レストランでアルバイトをしたいです
- ・今、私はコンビニで働いている、コンビニの時給は 790 円で、もうちょっと高ければいいと思いました。
- ・最短 5 時間で、時給 900 円ぐらいのタピオカ屋
- ・時間と給料に比べて仕事のレベルが大変すぎじゃない仕事
- ・私はコンビニでアルバイトをしていますが、仕事量は時間に比例しません。これも日本人がコンビニで働くのが嫌いな原因の一つだと思います。
- ・サービス業のアルバイトは時給は 1000 円ぐらい。1 日 5 時間
- ・アルバイト：サービス業の仕事。
時給：1000 円
時間：1 日 5 時間
- ・週 28 時間以内のレストランでアルバイトをすること
- ・時給は 900 円で交通手当がもらえるアルバイト
- ・時給 850 円以上 (専門職は千円から)
交通が便利で雰囲気 (人間関係) がよく、週 2-4 日間働けるところ
国際交流、観光、語学、教育、イラスト関係の専門職ならなお良し
- ・時給が 850 円以上。
- ・柔軟なスケジュールや環境、時給 800 円以上
- ・時給は 900 円前後のバイト
- ・コロナの影響でアルバイトの時間が減ってバイトもなくなってしまったのでアルバイトの時間週 28 時間希望です。
- ・まだバイトをするつもりはないです。
- ・研究助手になりたい
- ・アルバイトの時間を変更できる。
- ・福祉施設の給料が上がってほしいです。人材不足の問題や継続困難の課題が出来ているので、900 円以上の時給を望んでいます。
- ・皿洗い、掃除、おかず、盛り付け
- ・アルバイト応募し、面談を受け、何日も待たされて、不採用になっても構わないですけど、理由を聞かせてほしい。

6. 住居形態

どこに住んでいますか？

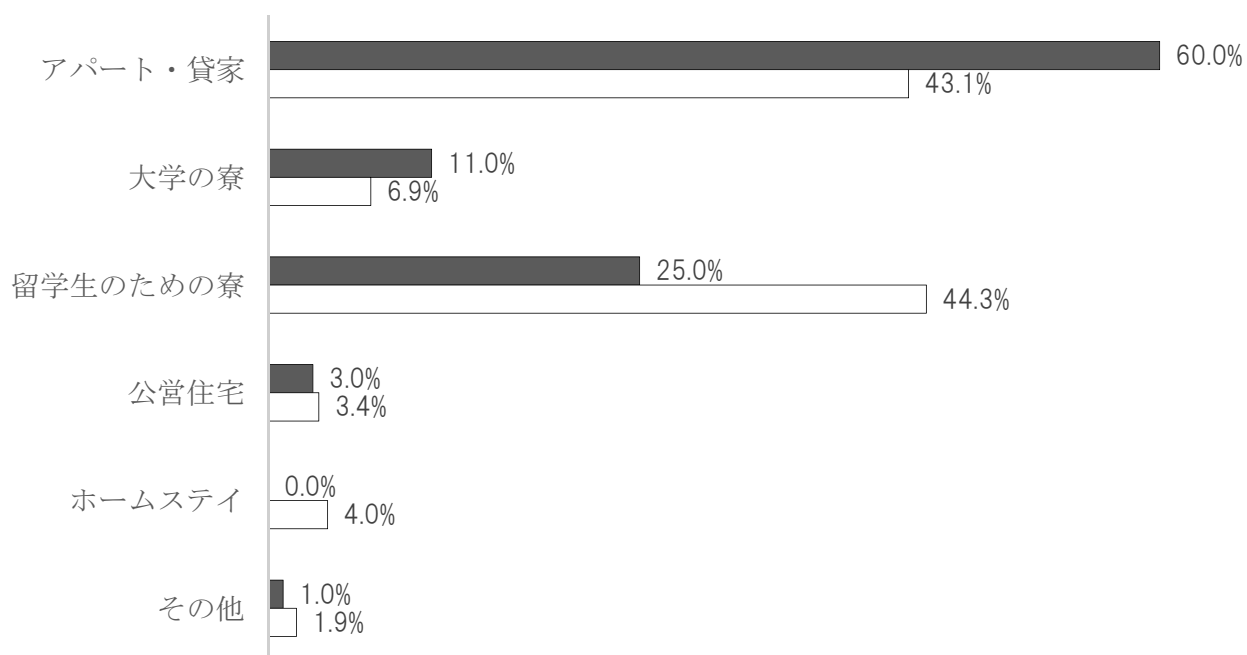
住居形態については、「アパート・貸家」が60.0%で最も高く、次いで「留学生のための寮」が25.0%、「大学の寮」が11.0%、「公営住宅」が3.0%の順となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「留学生のための寮」が減少し、「アパート・貸家」「大学の寮」が増加している。

◆ 前回調査との比較 ◆

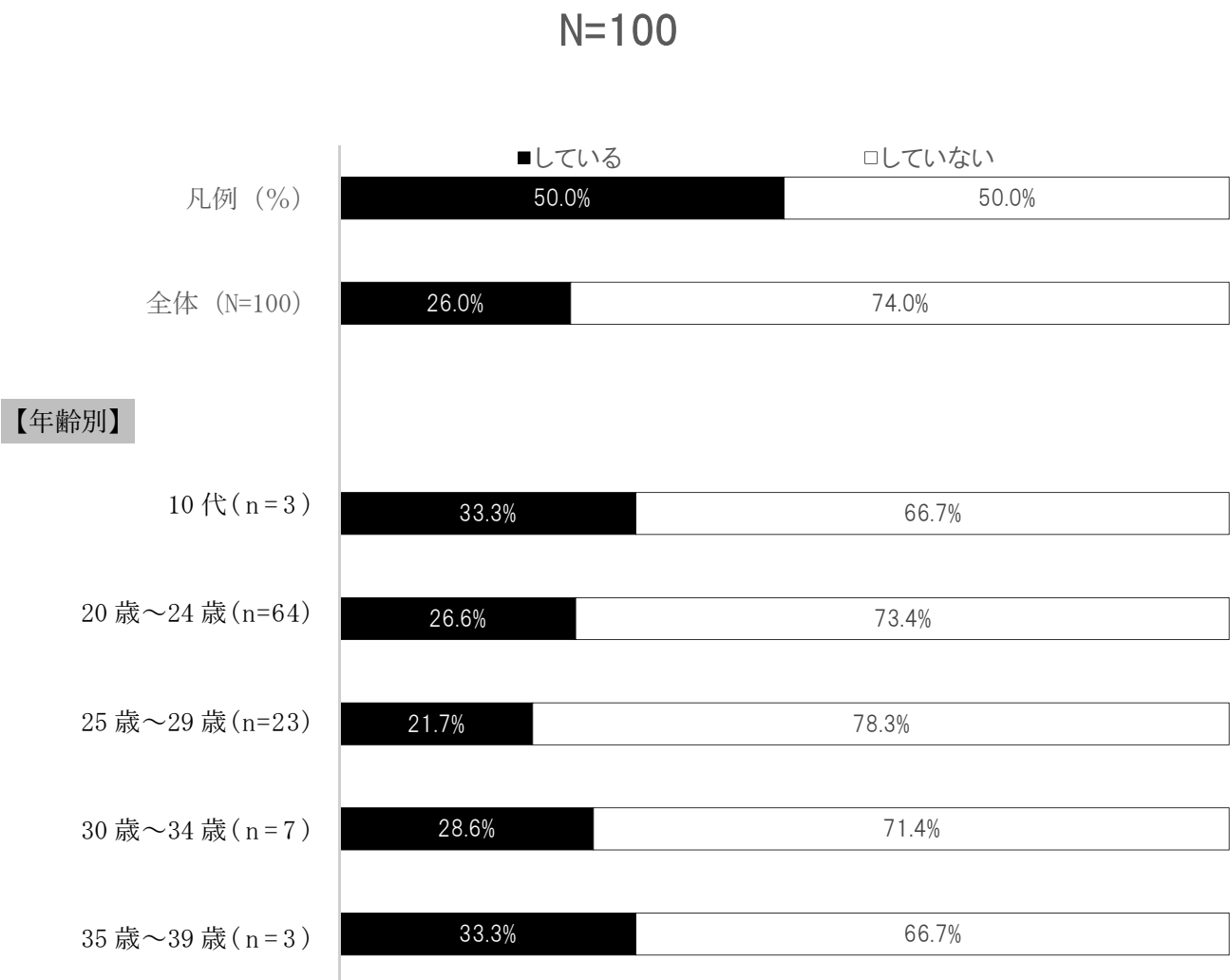
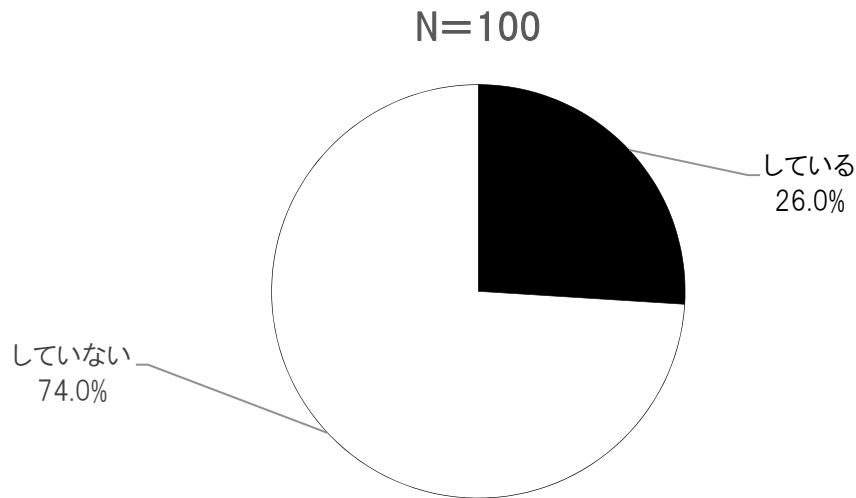
■ 今回全体(N=100) □ 前回全体(N=262)



7. 同居者(ルームシェア等)の有無

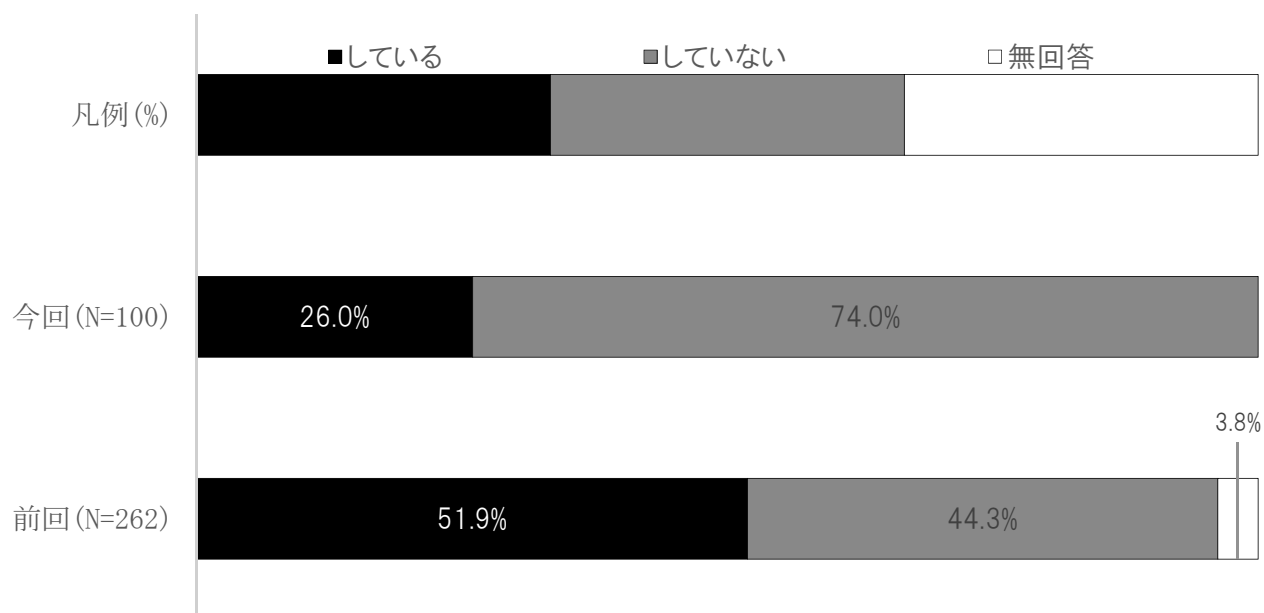
ルームシェア（ほかの人と一緒に住むこと）をしていますか？

同居者（ルームシェア）の有無については、7割以上の74.0%が「していない」と回答している。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「していない」が増加し 74.0%となり、「している」よりも「していない」が多くなっている。

◆前回調査との比較◆



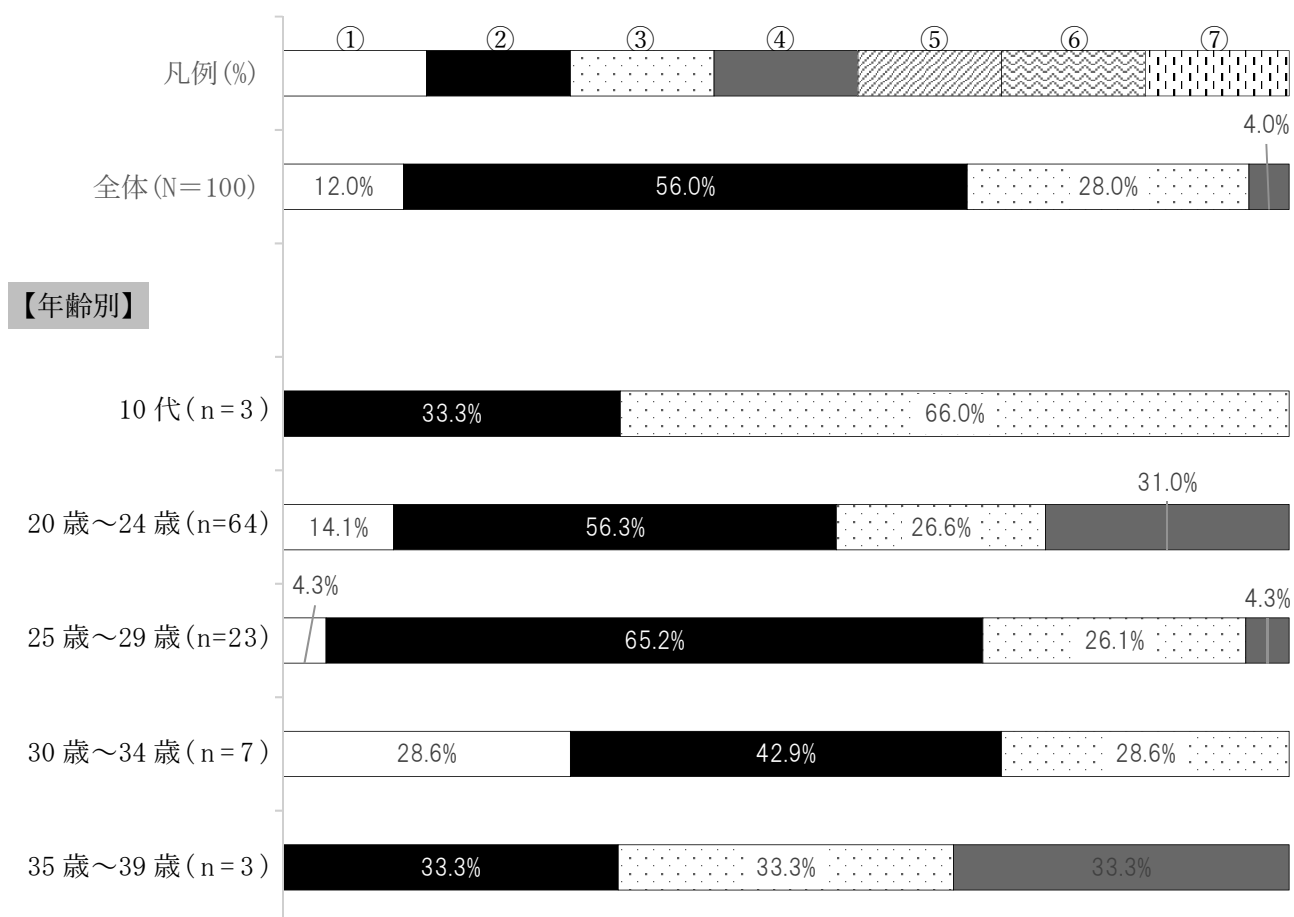
8. 1か月の家賃

家賃を1か月にどれくらい払いますか？

1か月の家賃については、「1～3万円未満」が56.0%と最も高く、「3～5万円未満」が28.0%で続いており、あわせて全体の8割以上を占めている。

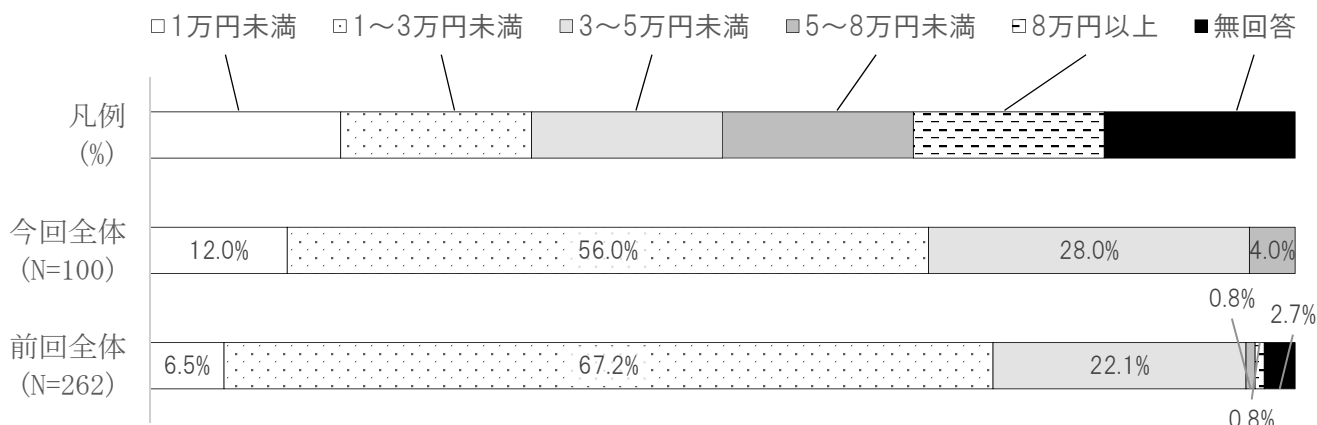
N=100

- ① 1万円未満 ② 1～3万円未満 ③ 3～5万円未満 ④ 5～8万円未満 ⑤ 8～10万円未満
⑥ 10～15万円未満 ⑦ 15万円以上



前回調査との比較を見ると、大きな差はない。

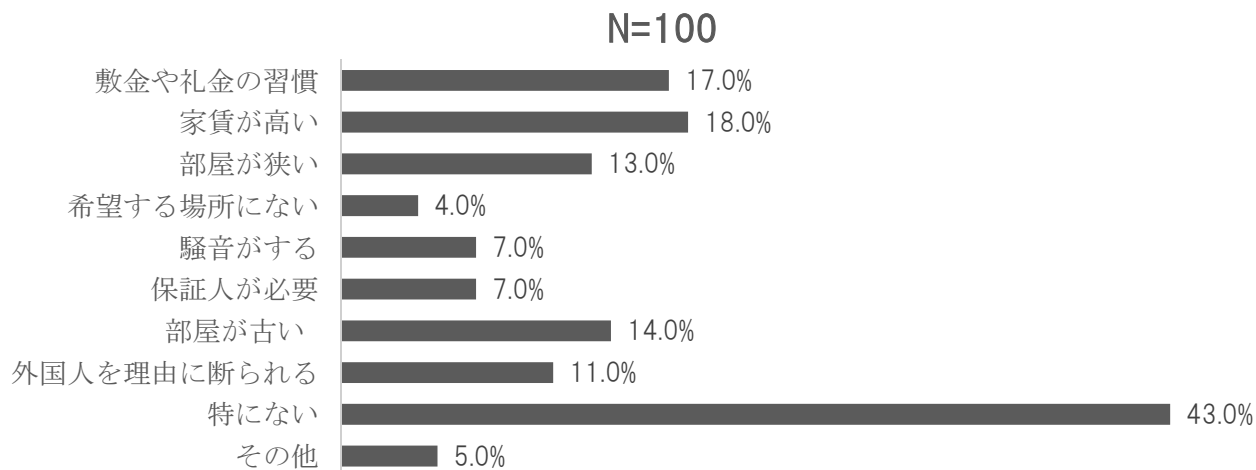
◆ 前回調査との比較 ◆



9. 住居の不満

住むところで困っていることはありますか？(複数回答可)

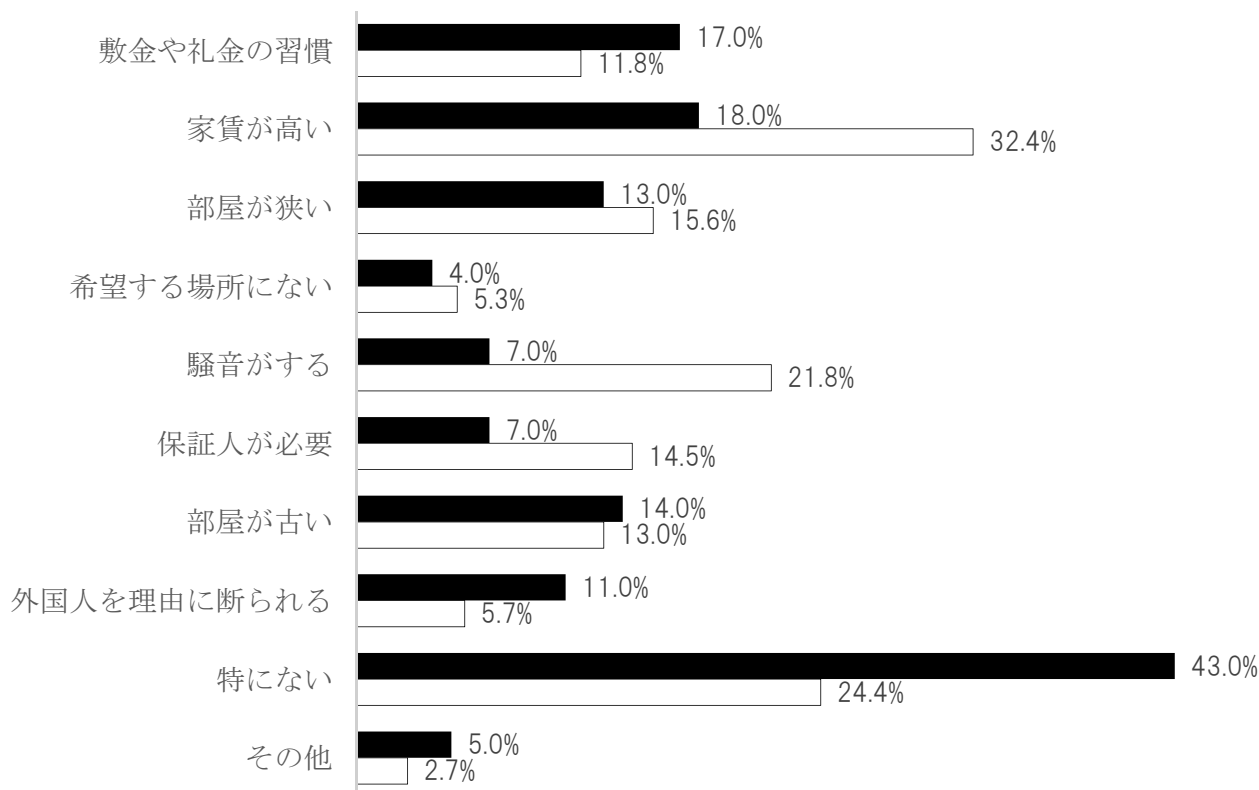
住居の不満については、「なし」が43.0%であることから、全体の6割程度が何らかの不満を感じているとみられる。不満の理由は、「家賃が高い」18.0%、「敷金や礼金の習慣」が17.0%、「部屋が古い」が14.0%、「部屋が狭い」が13.0%の順となっている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「なし」が増加しており、「家賃が高い」「騒音がする」「保証人が必要」が減少している。

◆ 前回との比較 ◆

■ 今回全体(N=100) □ 前回全体(N=262)

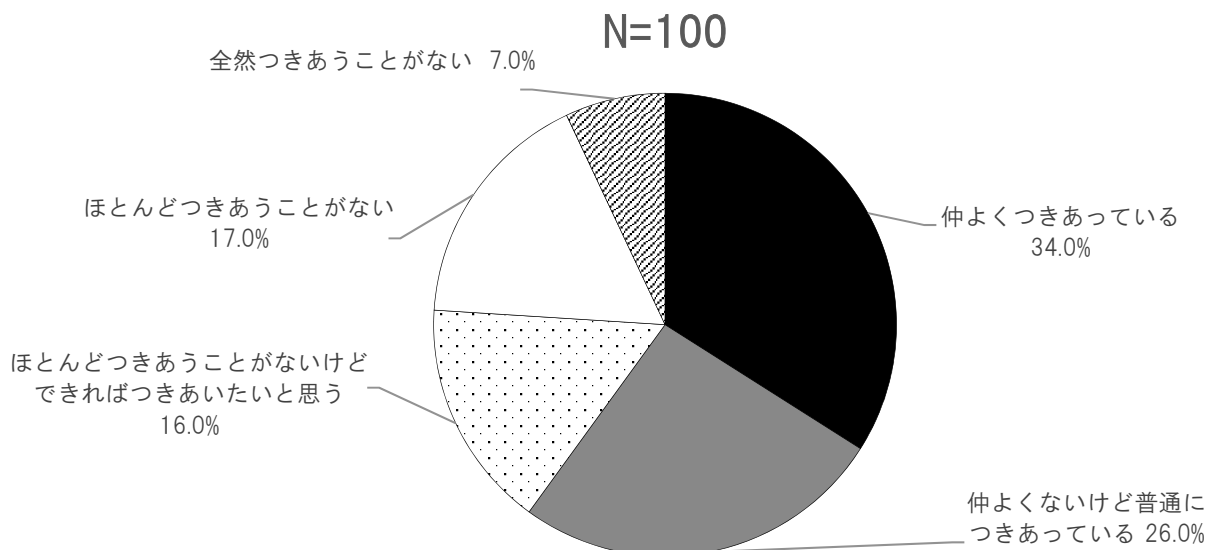


【3】国際交流に対する意識や意向などについて

1. 学校や仕事以外での日本人との交流

学校や仕事以外で日本人と交流することがありますか？

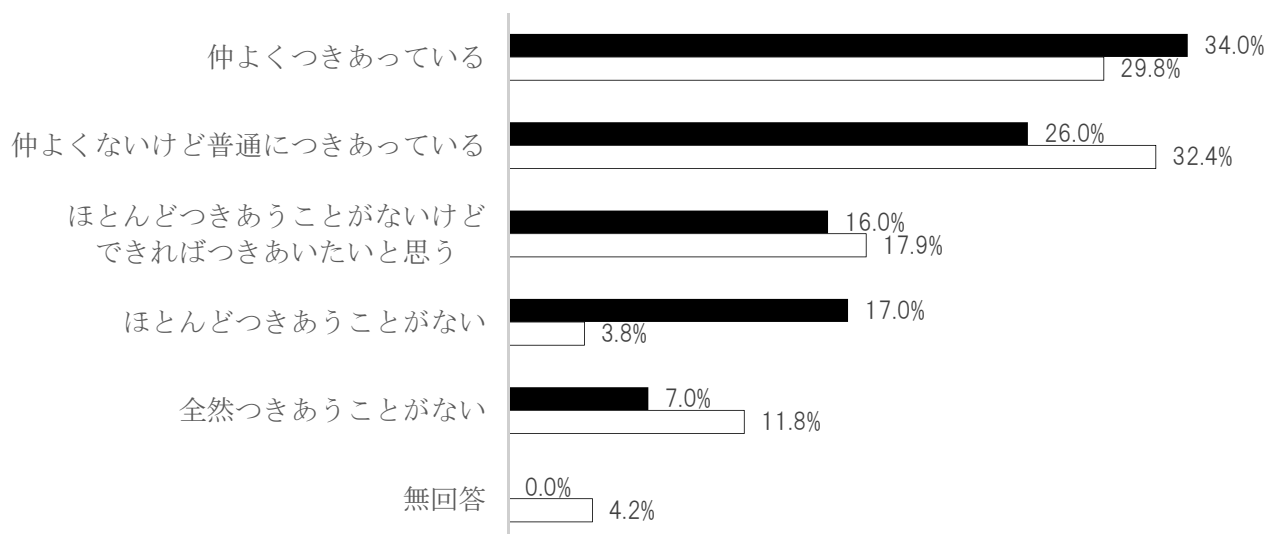
学校や仕事以外での日本人との交流については、「仲よくつきあっている」が 34.0%と最も高く、次いで「仲よくないけど普通につきあっている」が 26.0%となっている。年齢別では、20 歳代では「仲よくつきあっている」と「仲よくないけど普通につきあっている」が過半数を占めており、30 歳代では「ほとんどつきあうことがないけどできればつきあいたいと思う」が過半数を占めている。



前回調査との比較を見ると、今回調査では「ほとんどつきあうことがない」が増加し、「仲よくないけど普通につきあっている」が減少している。

◆前回調査との比較◆

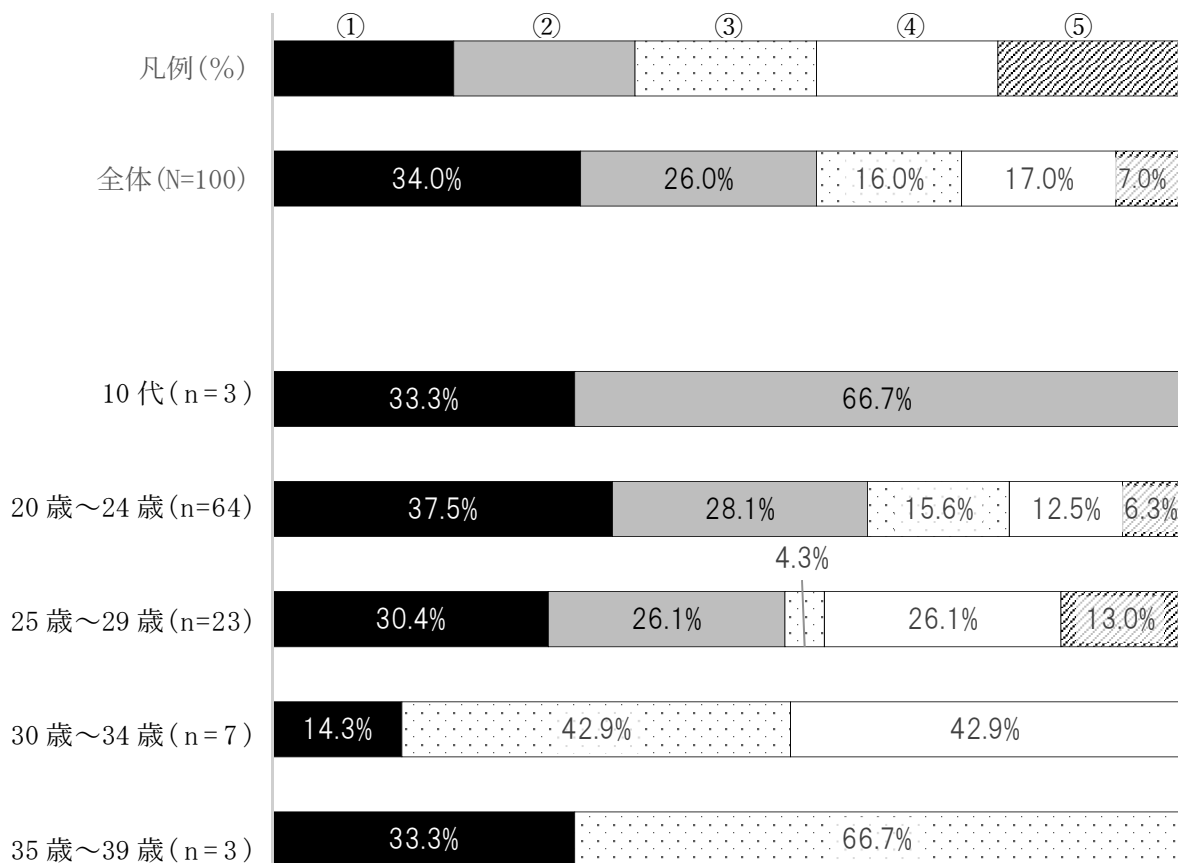
■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体(N=262)



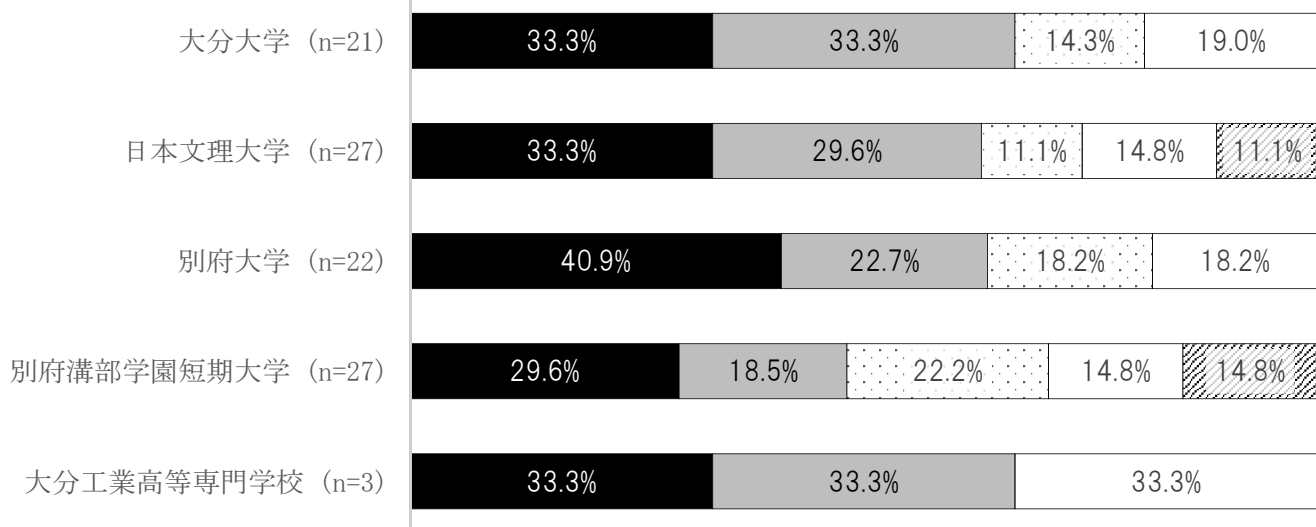
N=100

- ①仲よくつきあっている ②仲よくないけど普通につきあっている
 ③ほとんどつきあうことがないけどできればつきあいたいと思う
 ④ほとんどつきあうことがない ⑤全然つきあうことがない

【年齢別】



【学校別】

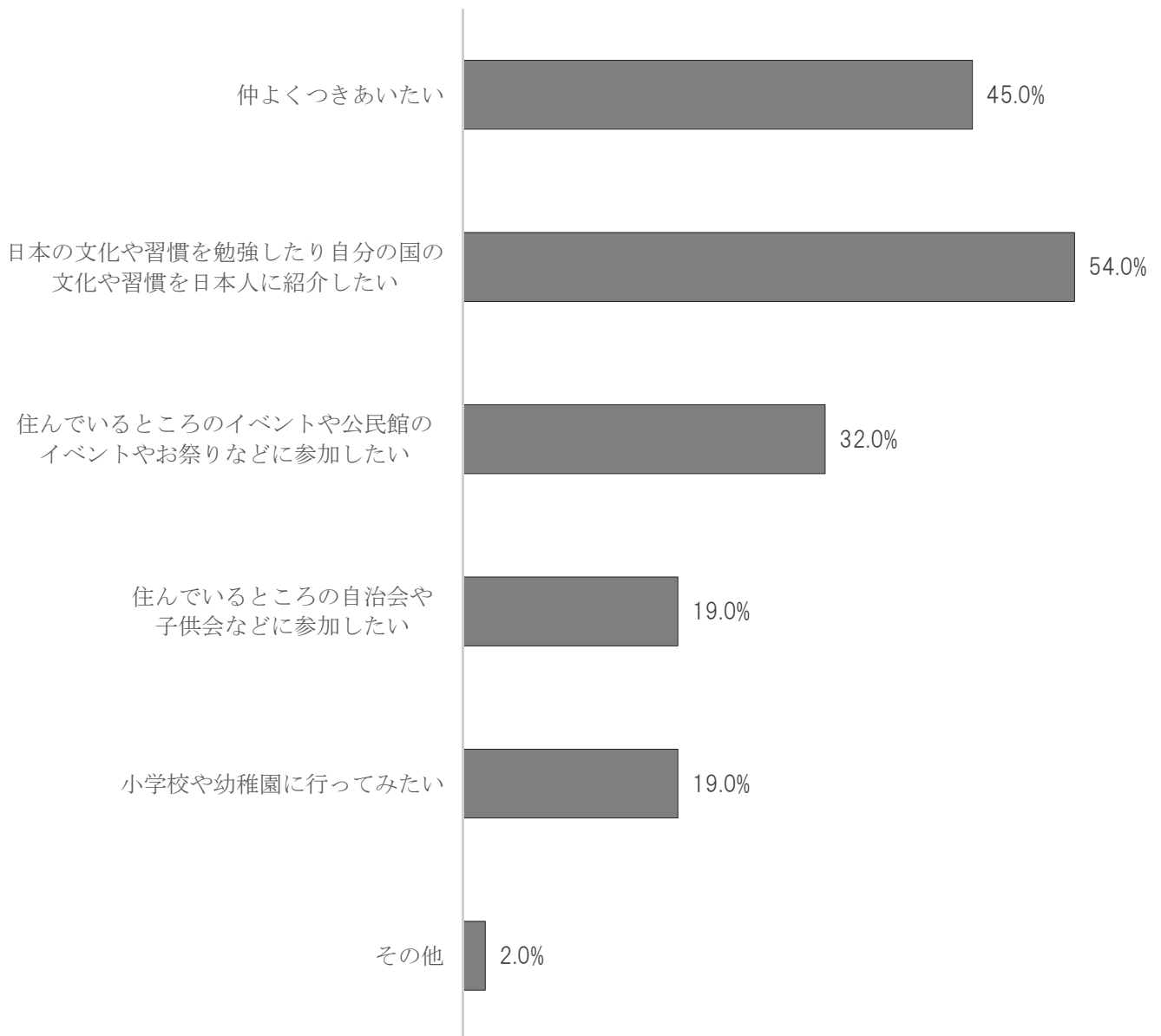


2. 市民との国際交流の希望

近くに住んでいる日本人とどうつきあいたいですか？(複数回答可)

日本人との交流については、全体、年齢別、日本人と交流別のすべてで「仲よくつきあいたい」と「日本の文化や習慣を勉強したり自分の国の文化や習慣を日本人に紹介したい」で過半数を占めている。

N=100

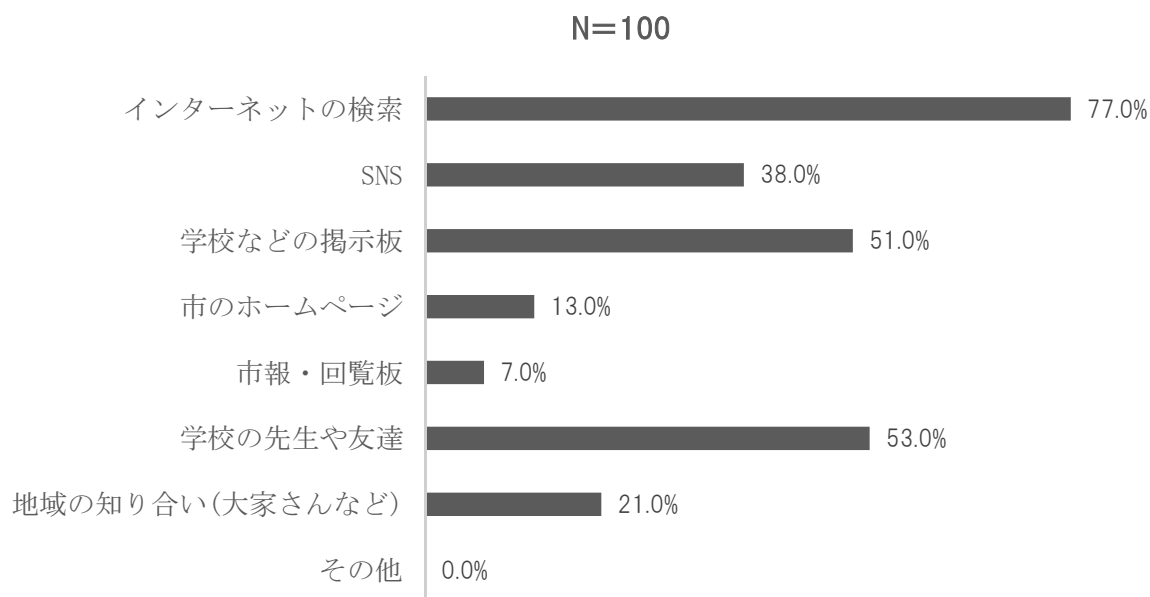


単位(%)		仲よくなりあいたい	日本の文化や習慣を勉強したり自分の国の文化や習慣を日本人に紹介したい	住んでいるところのイベントや公民館のイベントやお祭りなどに参加したい	住んでいるところの自治会や子供会などに参加したい	小学校や幼稚園に行ってみたい	その他
全体(N=100)		45.0%	54.0%	32.0%	19.0%	19.0%	2.0%
年齢別	10代(n=3)	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	42.2%	57.8%	26.6%	15.6%	17.2%	0.0%
	25歳～29歳(n=23)	43.5%	43.5%	26.1%	17.4%	13.0%	8.7%
	30歳～34歳(n=7)	71.4%	57.1%	71.4%	42.9%	42.9%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
学校や仕事以外での日本人との交流別	仲よくなりあっている(n=34)	47.1%	52.9%	29.4%	11.8%	17.6%	0.0%
	仲よくなりあわないけど普通に付き合っている(n=26)	34.6%	61.5%	42.3%	19.2%	11.5%	0.0%
	ほとんどつきあいがいいけど出来れば付き合いたいと思う(n=16)	62.5%	68.8%	43.8%	43.8%	31.3%	0.0%
	ほとんどつきあうことがない(n=17)	41.2%	47.1%	23.5%	17.6%	29.4%	0.0%
	全然つきあうことがない(n=7)	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%

3. 必要な生活情報の入手先

必要な生活情報は何で知りますか？(複数回答可)

必要な生活情報の入手先については、「インターネットの検索」が77.0%と最も高く、次いで「学校の先生や友達」が53.0%、「学校などの掲示板」が51.0%、「SNS」が38.0%の順となっている。



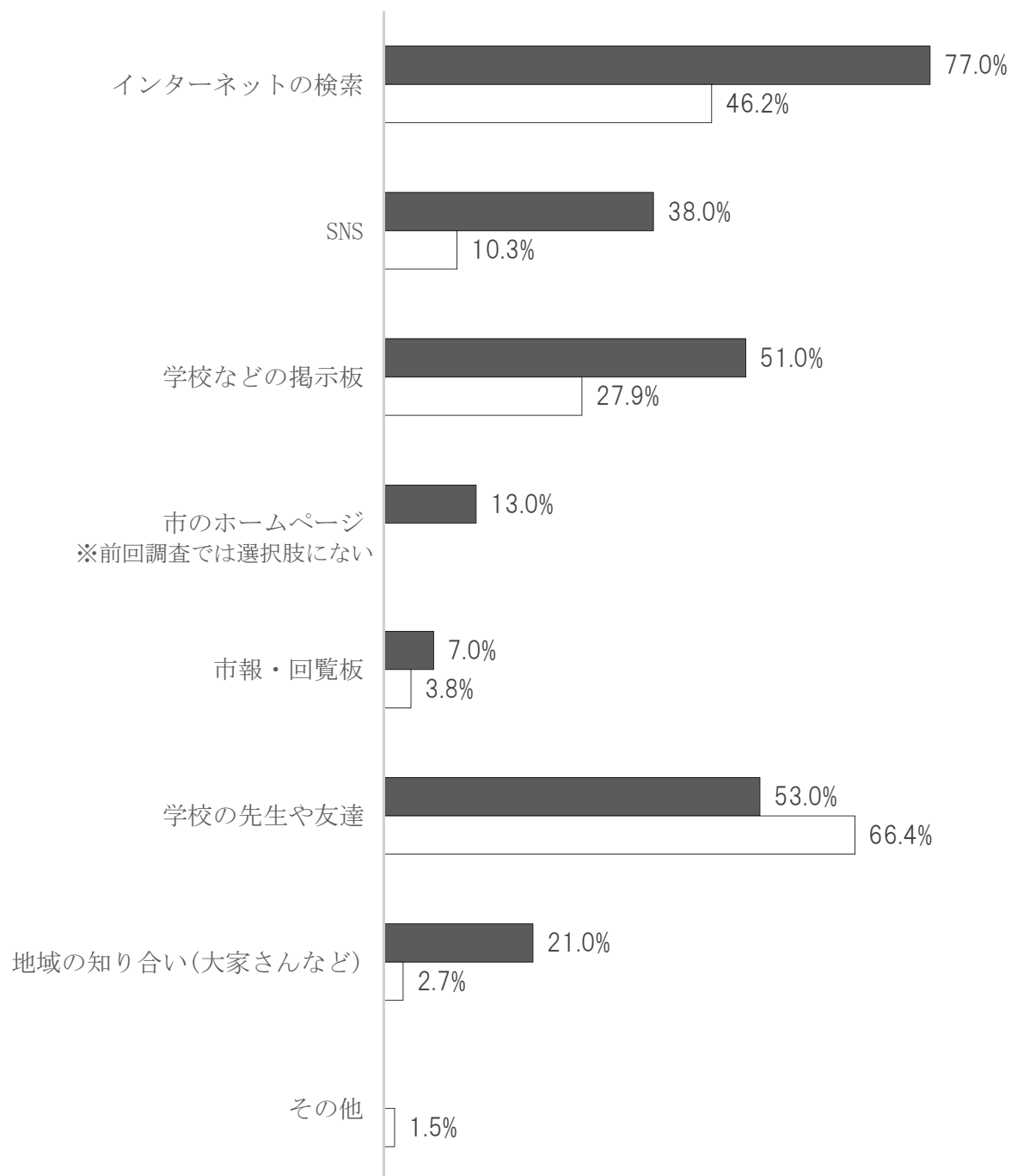
年齢別、専攻別でも「インターネットの検索」「学校などの掲示板」「学校の先生や友達」「SNS」で大半を占めている。

単位(%)		インターネットの検索	SNS	学校などの掲示板	市のホームページ	市報・回覧板	学校の先生や友達	地域の知り合い	その他
全体(N=100)		77.0%	38.0%	51.0%	13.0%	7.0%	53.0%	21.0%	0.0%
年齢別	10代(n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	78.1%	37.5%	54.7%	10.9%	4.7%	46.9%	17.2%	0.0%
	25歳～29歳(n=23)	78.3%	30.4%	52.2%	17.4%	8.7%	60.9%	39.1%	0.0%
	30歳～34歳(n=7)	85.7%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%
専攻別	文系(n=45)	80.0%	17.8%	55.6%	13.3%	4.4%	44.4%	22.2%	0.0%
	理系(n=33)	72.7%	51.5%	48.5%	6.1%	6.1%	51.5%	21.2%	0.0%
	その他(n=16)	87.5%	62.5%	43.8%	31.3%	18.8%	81.3%	18.8%	0.0%
	無回答(n=6)	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「インターネットの検索」「SNS」「学校などの掲示板」「市報・回覧板」「地域の知り合い」が増加し、「学校の先生や友達」が減少している。

◆前回調査との比較◆

■今回(N=100) □前回(N=262)

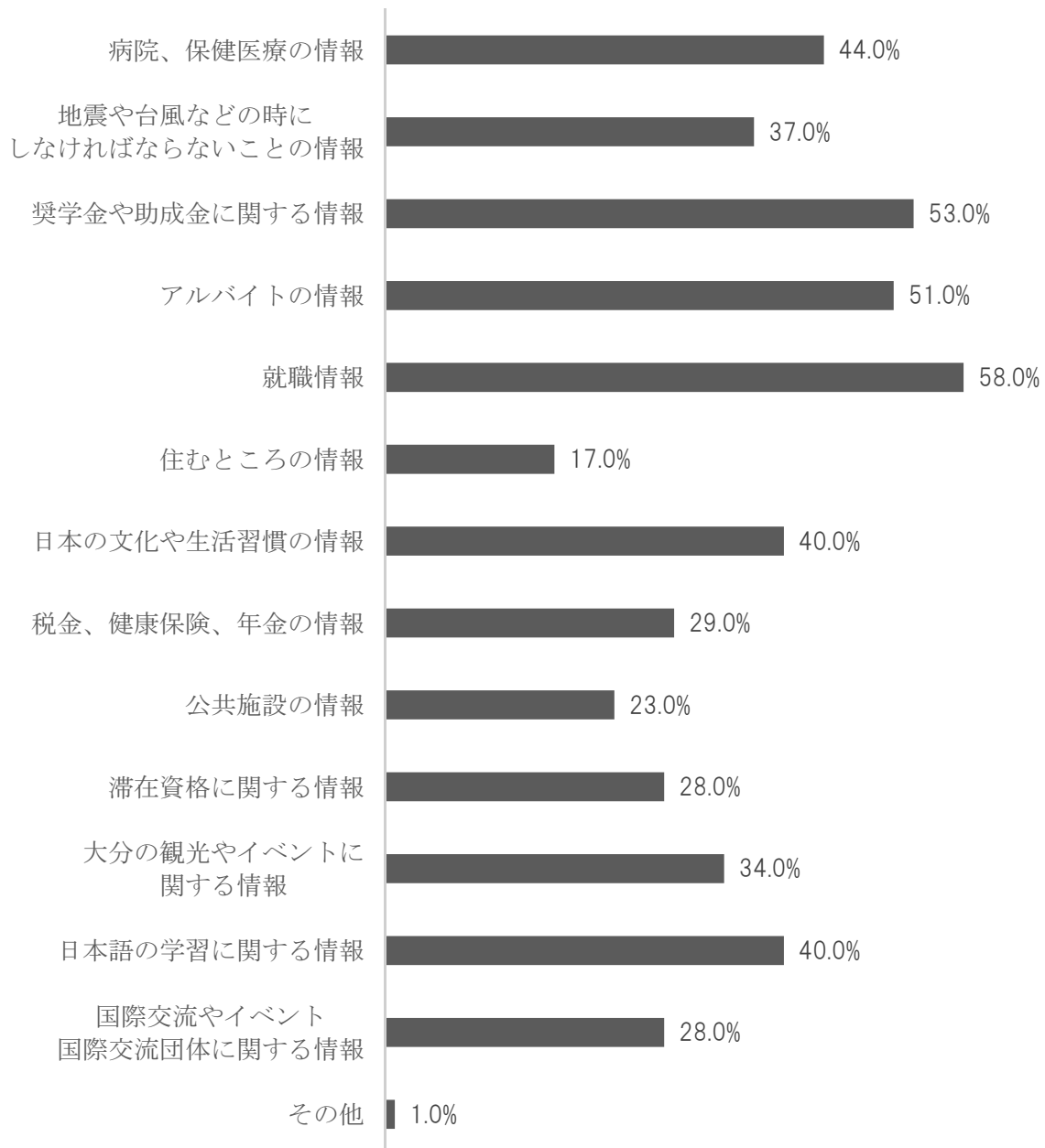


4. 現在、最もほしいと思う情報

あなたがほしい情報は何か？(複数回答可)

現在、最もほしいと思う情報については、「就職情報」が 58.0%、「奨学金や助成金に関する情報」が 53.0%、「アルバイトの情報」が 51.0%、「病院、保健医療の情報」が 44.0%、「日本の文化や生活習慣の情報」「日本語の学習に関する情報」が 40.0%の順となっている。

N=100



年齢別では、10歳代で「就職情報」「奨学金や助成金に関する情報」が 66.7%と突出して高く、20歳代では「就職情報」「アルバイトの情報」が高くなっている。30歳代になると、「日本の文化や生活習慣の情報」「就職情報」「税金・健康保険・年金の情報」「日本語の学習に関する情報」が高くなっている。専攻別では、文系・理系ともに、「就職情報」「アルバイトの情報」「奨学金や助成金に関する情報」が高くなっている。

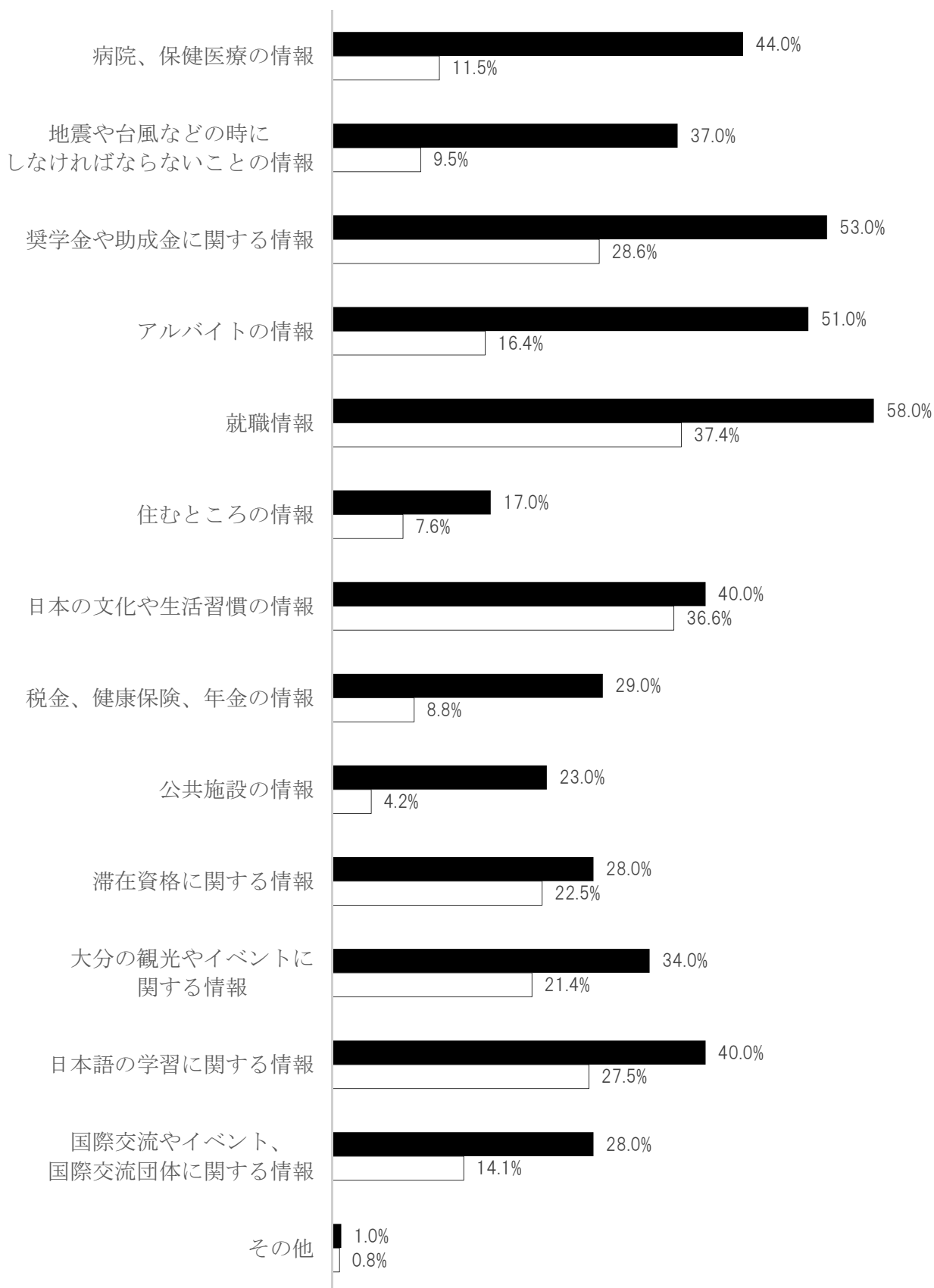
単位(%)		病院、保健医療の情報	地震や台風などの時に しなければならぬ情報	奨学金や助成金に関する 情報	アルバイトの情報	就職情報	住むところの情報	日本の文化や生活習慣の 情報	税金、健康保険、年金の 情報	公共施設の情報	滞在資格に関する情報
全体(N=100)		44.0%	37.0%	53.0%	51.0%	58.0%	17.0%	40.0%	29.0%	23.0%	28.0%
年齢別	10代(n=3)	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	42.2%	37.5%	54.7%	51.6%	57.8%	12.5%	37.5%	23.4%	18.8%	18.8%
	25歳～29歳(n=23)	47.8%	39.1%	56.5%	60.9%	56.5%	21.7%	43.5%	34.8%	34.8%	52.2%
	30歳～34歳(n=7)	42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	57.1%	42.9%	42.9%	57.1%	28.6%	42.9%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%
専攻別	文系(n=45)	40.0%	31.1%	57.8%	57.8%	55.6%	15.6%	48.9%	31.1%	20.0%	37.8%
	理系(n=33)	42.4%	42.4%	45.5%	42.4%	54.5%	21.2%	36.4%	27.3%	27.3%	18.2%
	その他(n=16)	50.0%	43.8%	56.3%	56.3%	68.8%	18.8%	31.3%	31.3%	25.0%	31.3%
	無回答(n=6)	66.7%	33.3%	50.0%	33.3%	66.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%

単位(%)		大分の観光や イベントに関する情報	日本語の学習に関する 情報	国際交流やイベント、 国際交流団体に関する情報	その他
全体(N=100)		34.0%	40.0%	28.0%	1.0%
年齢別	10代(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	31.3%	40.6%	23.4%	1.6%
	25歳～29歳(n=23)	43.5%	34.8%	39.1%	0.0%
	30歳～34歳(n=7)	28.6%	57.1%	28.6%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
専攻別	文系(n=45)	40.0%	37.8%	33.3%	0.0%
	理系(n=33)	30.3%	36.4%	27.3%	3.0%
	その他(n=16)	37.5%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答(n=6)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

前回調査との比較を見ると、今回調査では全体的にどの項目も前回より増加している。

◆前回調査との比較◆

■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体 (N=262)

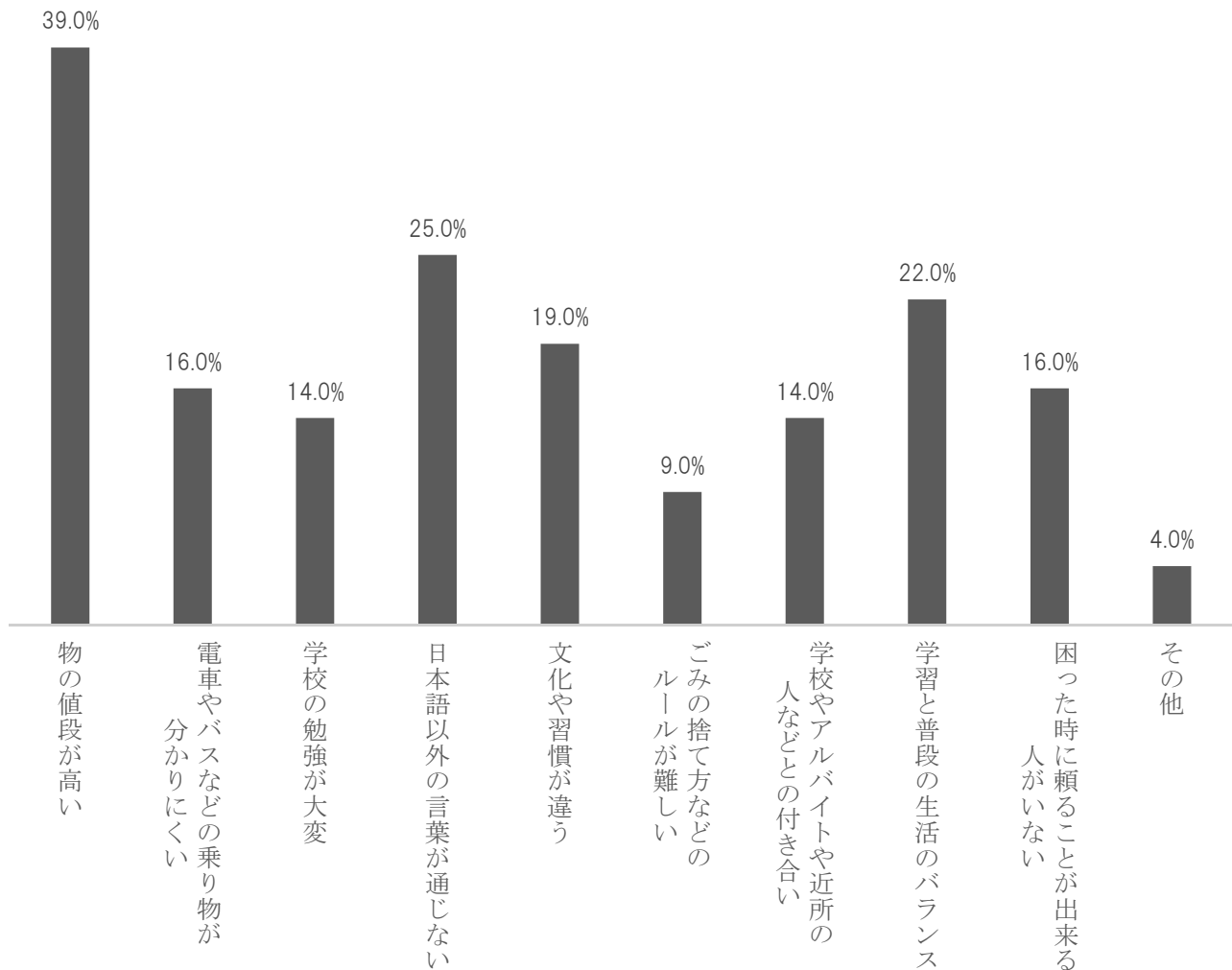


5. 生活の問題

生活で困っていることは何ですか？(複数回答可)

生活の問題については、「物の値段が高い」が 39.0%と最も高く、次いで「日本語以外の言葉が通じない」が 25.0%、「学習と普段の生活のバランス」が 22.0%の順となっている。

N=100

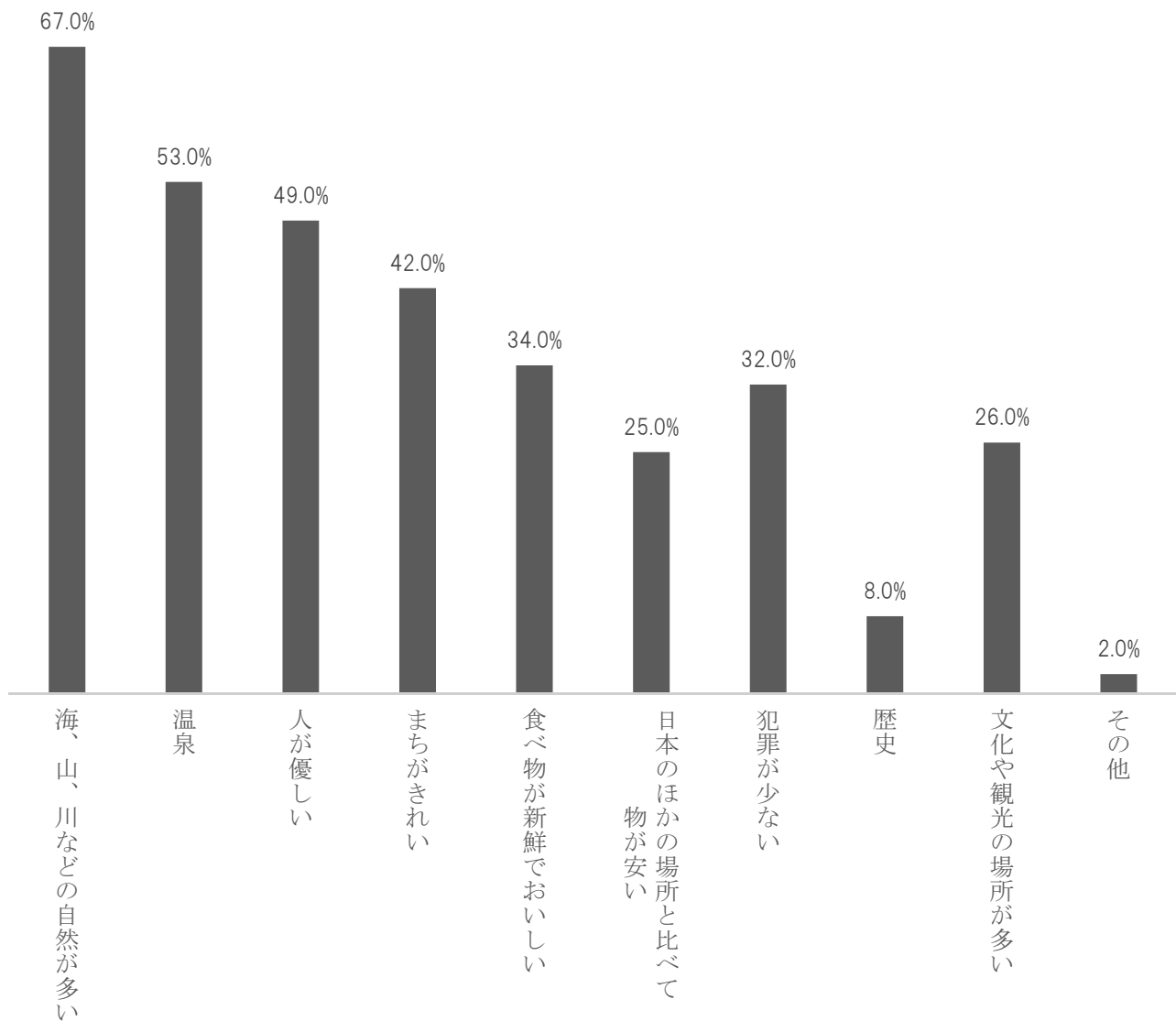


6. 大分の好きなおとこ

大分の好きなおとこは何ですか？(複数回答可)

大分の好きなおとこについては、「海、山、川などの自然が多い」が 67.0%と最も高く、次いで「温泉」が 53.0%、「人が優しい」が 49.0%、「まちがきれい」が 42.0%の順となっている。

N=100

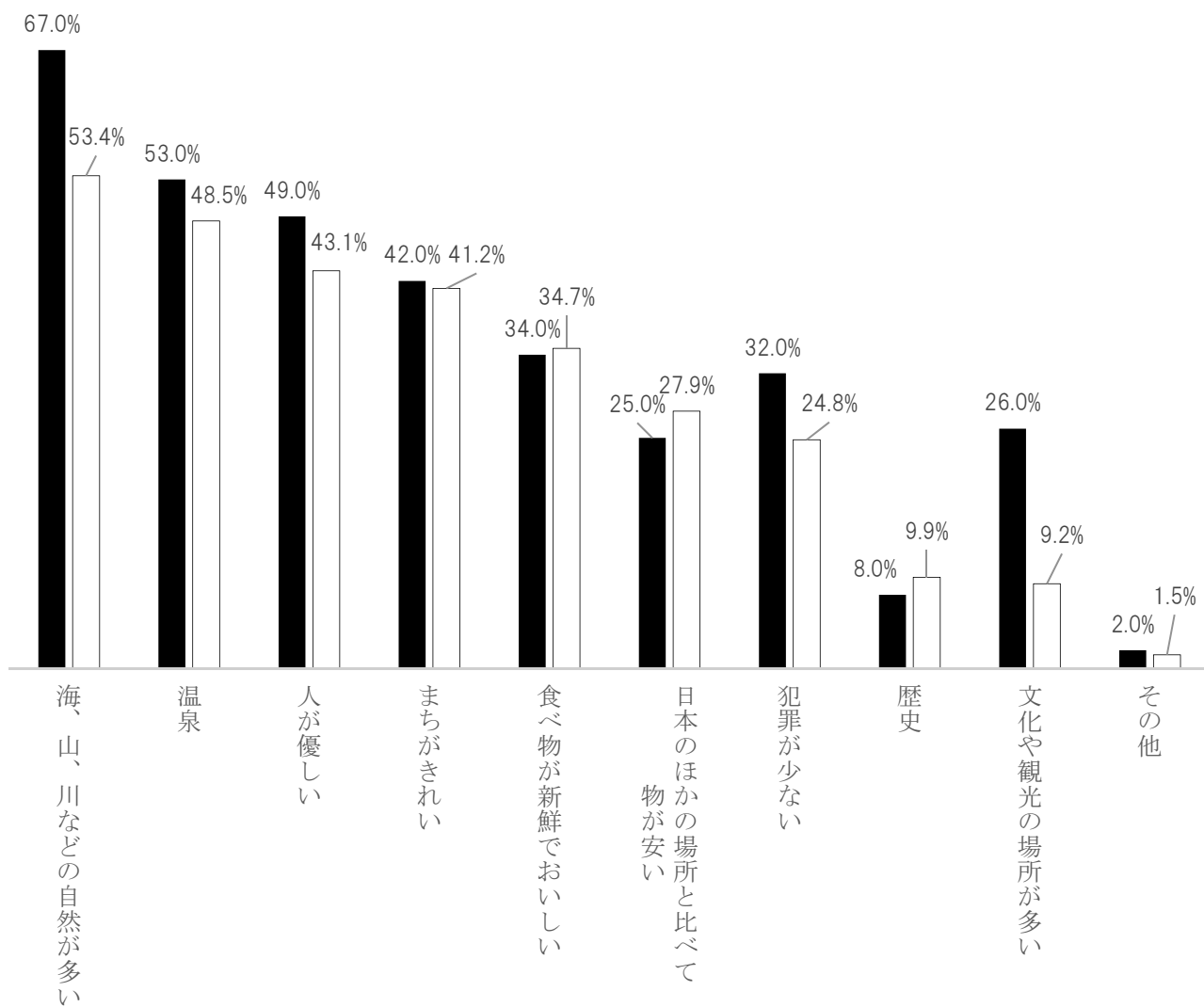


単位(%)		海、山、川などの自然が多い	温泉	人が優しい	まちがきれい	食べ物が新鮮でおいしい	日本のほかの場所と比べて物が安い	犯罪が少ない	歴史	文化や観光の場所が多い	その他
全体(N=100)		67.0%	53.0%	49.0%	42.0%	34.0%	25.0%	32.0%	8.0%	26.0%	2.0%
年齢別	10代(n=3)	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	20歳～24歳(n=64)	67.2%	50.0%	39.1%	42.2%	25.0%	17.2%	26.6%	4.7%	20.3%	1.6%
	25歳～29歳(n=23)	65.2%	56.5%	65.2%	34.8%	39.1%	30.4%	39.1%	13.0%	34.8%	4.3%
	30歳～34歳(n=7)	71.4%	71.4%	85.7%	57.1%	71.4%	28.6%	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%
	35歳～39歳(n=3)	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%
居住年数別	1年未満(n=9)	66.7%	66.7%	55.6%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%
	1年～2年未満(n=36)	52.8%	38.9%	41.7%	41.7%	27.8%	16.7%	36.1%	0.0%	25.0%	2.8%
	2年～3年未満(n=18)	77.8%	50.0%	61.1%	50.0%	44.4%	44.4%	50.0%	16.7%	27.8%	0.0%
	3年～4年未満(n=7)	71.4%	57.1%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%
	4年～5年未満(n=4)	100.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5年～6年未満(n=2)	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	大分市に住んでいない(n=24)	70.8%	70.8%	50.0%	37.5%	41.7%	33.3%	25.0%	12.5%	29.2%	0.0%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「海、山、川などの自然が多い」「文化や観光の場所が多い」が突出して増加している。

N=100

■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体(N=262)



【4】卒業した後について

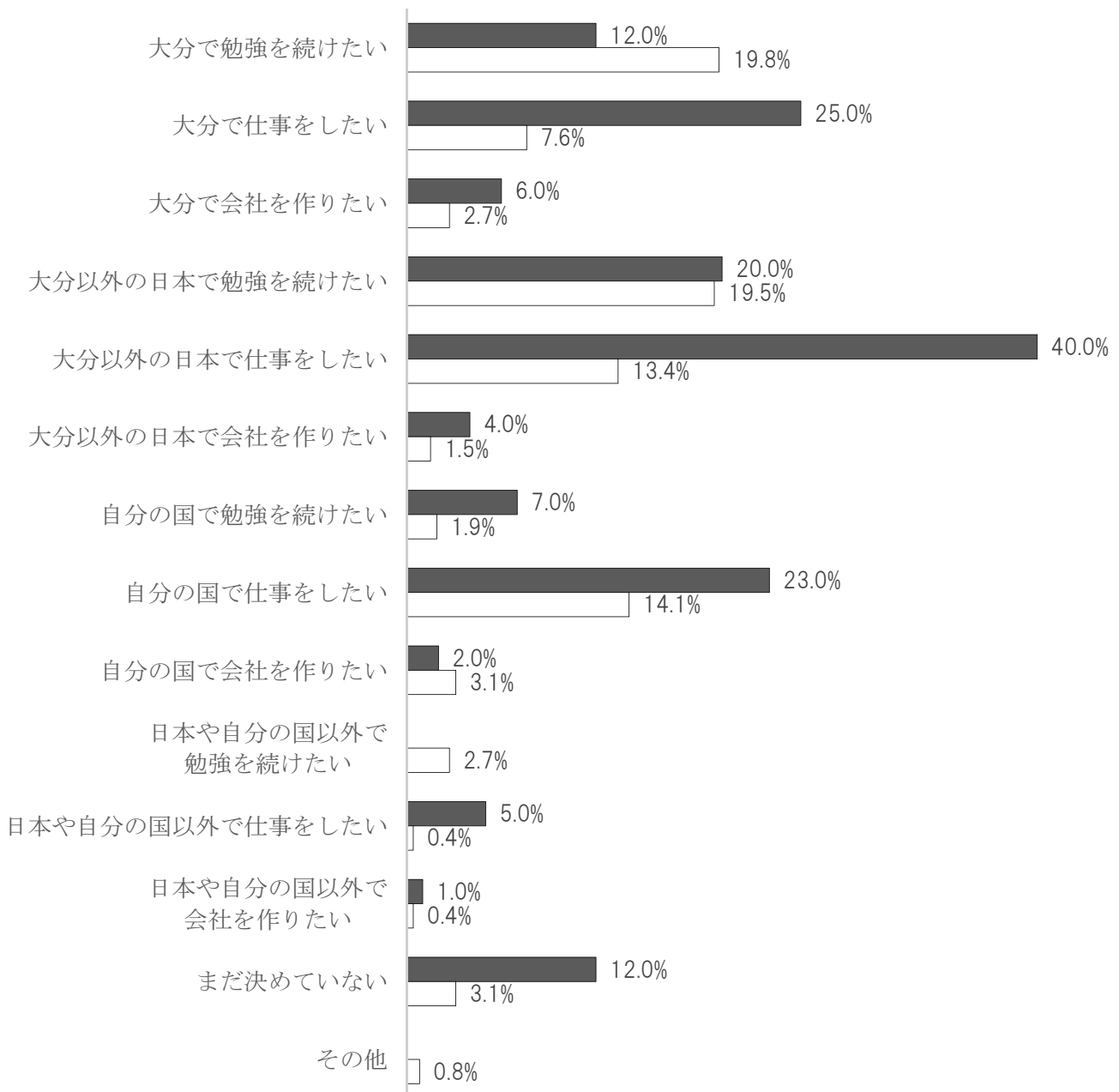
1. 卒業した後の予定

学校を卒業した後どうしますか？(複数回答可)

卒業した後の予定については、「大分以外の日本で仕事をしたい」が40.0%と最も高く、次いで「大分で仕事をしたい」25.0%「自分の国で仕事をしたい」が23.0%、「大分以外の日本で勉強を続けたい」が20.0%の順となっている。前回調査との比較を見ると、今回調査では「大分以外の日本で仕事をしたい」「自分の国で仕事をしたい」が突出して増加している。

◆前回調査との比較◆

■ 今回の全体(N=100) □ 前回の全体(N=262)



【5】その他

1. 新型コロナウイルスで困っていること

新型コロナウイルスで困っていることがあれば教えてください

- ・ 仕事がなくなりました。
- ・ あと1年卒業した、でも仕事を見つけないと思います、続いて学校で勉強しなければなりません。
- ・ コロナのせいでアルバイトがなくなったからこまっています、
- ・ 就職活動が厳しいです
- ・ バイト足りないです。お金がない。
- ・ コロナウイルスあるから仕事がなくなった。生活は大変です。アルバイトの場もありませんでした。
- ・ コロナウイルスで、アルバイトが少なくなりました。お金がなくなります。
- ・ アルバイトする時間が減ってきました
- ・ 最近コロナのせいでバイトがなくなって生活をするのは大変です。
- ・ アルバイトがないです。それで生活が難しくなっています。
- ・ 友達と一緒に遊べないです。
- ・ 夏休みで母国に帰れないこと。外国人たちを疑う視線。美容室に入場拒否された。
- ・ 地元より日本のモノの値段が高いですし、お金がないとき、親にお金もらうのがすまないから3日間うどんとしょうゆだけ食べたことがあります。
- ・ 外に出たらマスクをかけない人がけっこういることが困ります。
- ・ 最近コロナウイルスがどんどん危なくなりますが、たまに対面授業になる場合が困ります。
- ・ バイト先がなくなった
- ・ 道にマスクをしていない人がいて、不安になることがあります。
- ・ 私の生活に大きな変化があります。アルバイトが減ります。日本政府が留学生に生活支援をしてほしいです。
- ・ 公共施設や食堂でマスクをしている人が少ない
- ・ コロナの前よくアルバイトもありました、生活もよかった。ホテルでアルバイトをやっていましたけどホテルは3か月ぐらい休館になりました。今もホテルのシフトが減って一週間に2回ぐらいだけです。自分の国もコロナでこまっています。だから国からお金をもらえません。このせんぶのことで生活はたいへんになっています。
- ・ 最近新型コロナウイルスのせいでホテルでアルバイトしていたけど今のところはホテルは休館になって、アルバイトは3月ぐらい休みでした。今もホテルでシフトが減ってアルバイトは一週間に2回ぐらいだけです。その原因で学費と家賃など払うことができなくなりました。今のところは国から仕送りすることは大変です。新型コロナウイルスのせいで、今アルバイトを見つけることはとても難しくなりました。もう貯金がだんだん少なくなったので生活は大変です。
- ・ 仕事がない
- ・ 学校に行きませんので、他の人との交流も進まなくて、日本語は後退しました。オンライン授業の効率も低いと思います。
- ・ 新型コロナ感染まだ広がっていますので、人と接することが心配しています。
- ・ 医療用3層構造のマスクが高くて買えない（布製じゃ安心できない）。友達と旅行に行けない。
- ・ 学費が高いから親もお金のことで困っています。
- ・ 2学期には学校で対面授業を行うと思いますが、コロナが深刻化する状況でインターネット授業を

するのが正しいと思います。

- ・あまりあっちこっちいけなくなる
- ・生活費が困ります
- ・バイトが減ってしまいまして、お金が足りないです。就職活動もやりにくいです。
- ・自分の国に帰れない。
- ・バイトの時間少なくなった。
- ・コロナウイルスの影響でバイトは無くなって3ヶ月アルバイトをしなかった。今はアルバイトの時間がとても少ないので生活が難しくなっているのが困っています。
- ・アルバイトの再就職が難しく、何度も状況が変わることで不安だ。夏休みなのにバイトもなく、母国に帰れなくて退屈で寂しい。
- ・現在、日本に入る手段がなく、携帯電話や公課金などが出せない状態だ
- ・大学四年生は卒業に直面していますので、卒業はどうやって行いますか？
- ・夏休みに国に戻れない
- ・インターンシップがWEBになった。
- ・コロナの影響で、収入の減少プラス精神的なストレスが溜まっています。

2. 大分の生活などについての意見

大分の生活などについて自由な意見を教えてください。

- ・ 大分は静かですみやすいです、そして留学生のこともよくしらべてくれるのであんしんです、ありがとうございます
 - ・ 仕事なさすぎ。しかも給料低い
 - ・ コロナにかからないように生活をしましょう
 - ・ この困難な状況で私たちは助けが必要です
 - ・ 人々が本当に優しくて良いです！
- 1、交通不便、交通費が高い
 - 2、娯楽施設が少ない
 - 3、留学生が働けるところが少ない
 - 4、留学生と日本人大学生のコミュニケーションするイベントが少ない
- ・ 免許がないと遠い所には行きにくい。
 - ・ とりあえず、電車が少ないと思います。それで、大分でバイトする私は電車を乗れなかったときに困ったことがありました。そして、スーパーとかお店が早く閉まります。そんなことのせいで、午前、午後には学校の授業を受けて、夜までバイトをする私は買い物するのがちょっと困ります。
 - ・ きれいで親切なところだと思います。
 - ・ 大分の中でいろんな店とかあって欲しいなと思います。
 - ・ 何事もなく平和でよい
 - ・ 留学生にもっと交流する活動をして、文化交流をしたいです。
 - ・ 大分のことを外国人に知って欲しい。
 - ・ 大分の環境も人も好きです。困ることが全くなかったわけではありませんが、ここでの暮らしが楽しくてしょうがないです。
 - ・ 虫多いです
 - ・ 大分は静かな町ときれいな町です。前は生活は良いけど今はコロナの影響で生活は難しいです。
 - ・ 豊かに暮らしている。でも、食べ物の配達が高く種類が少なくてもっとよくなってほしい
 - ・ 日本のバスは料金がどんどん高くなって少し怖いという認識がある。現金で小銭などで合わせるのが難しくて自分が行きたい停留所の料金が分からないからバスなどの移動手段にはあまり乗らないバス停留所にガイドブックで停留所などの料金を書いておくと役に立つと思う。
 - ・ 大分に対する不満はないが、時々外国人に対する無視やからかうことがある。(教授、サークル、バイト先など) たぶん外国人だと知らないと思ってする行動だったと思うが、これを除けば本当にのんびりしていい地域だと思う。
 - ・ 人、大自然、温泉、すべてが良い。大分に来て人生が楽しく豊かになった。車やバイクがあれば日本で一番良いところだと思う。留学生は車やバイクのローンを組み込むのが難しい。

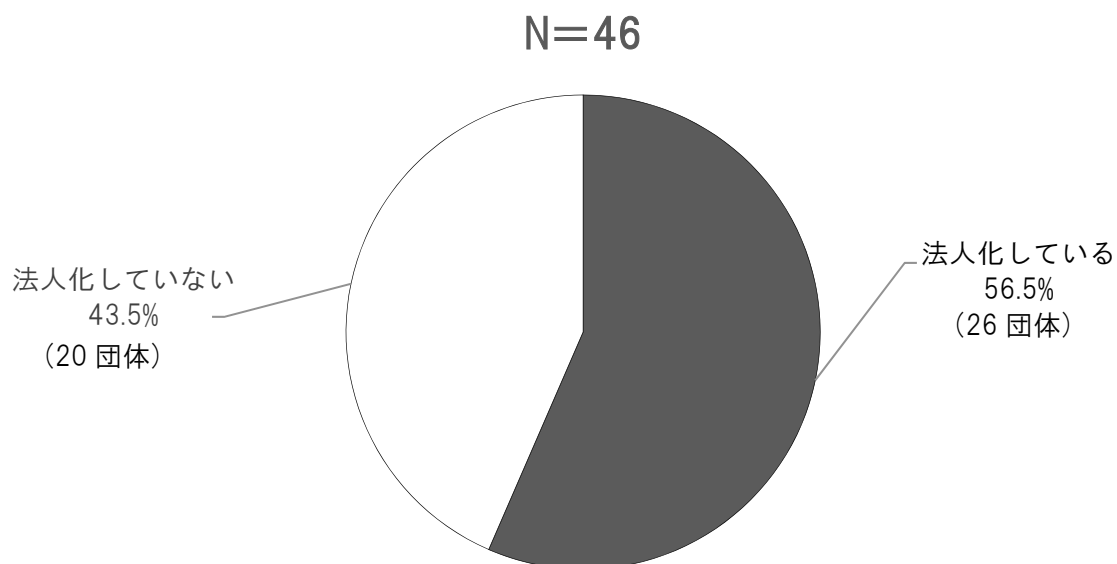
IV 国際交流団体調査結果

【1】団体の属性

1. 団体の形態

貴団体の形態についてお知らせください

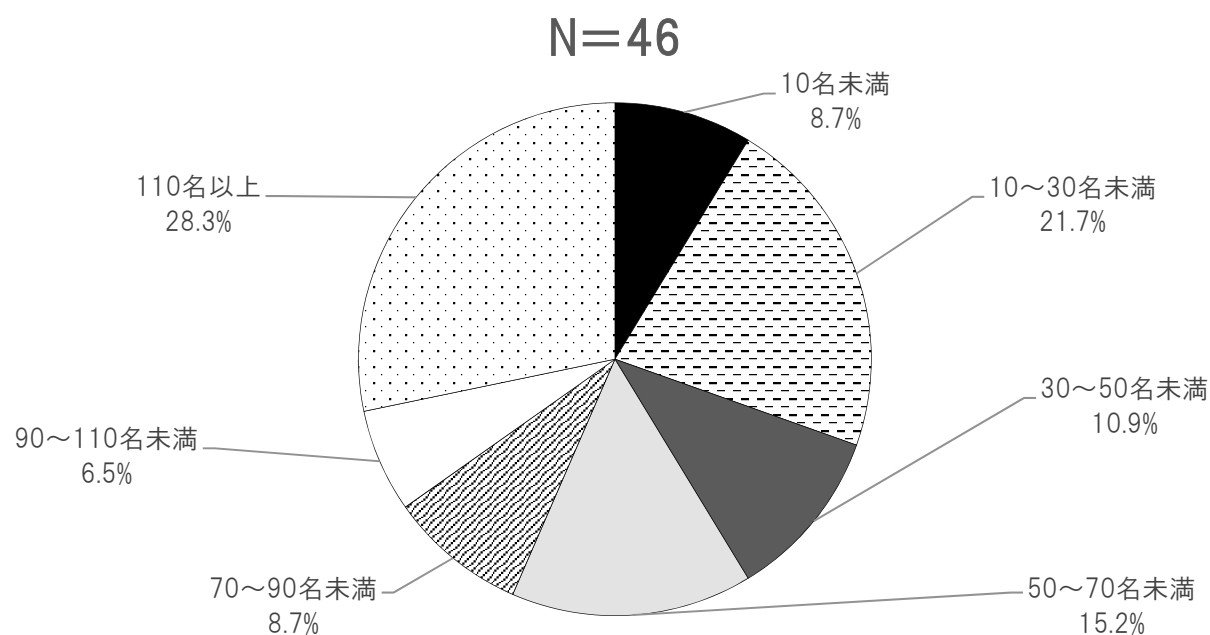
団体の形態については、「法人化している」が56.5%と「法人化していない」が43.5%となっている。



2. 会員数

会員数は何人ですか？

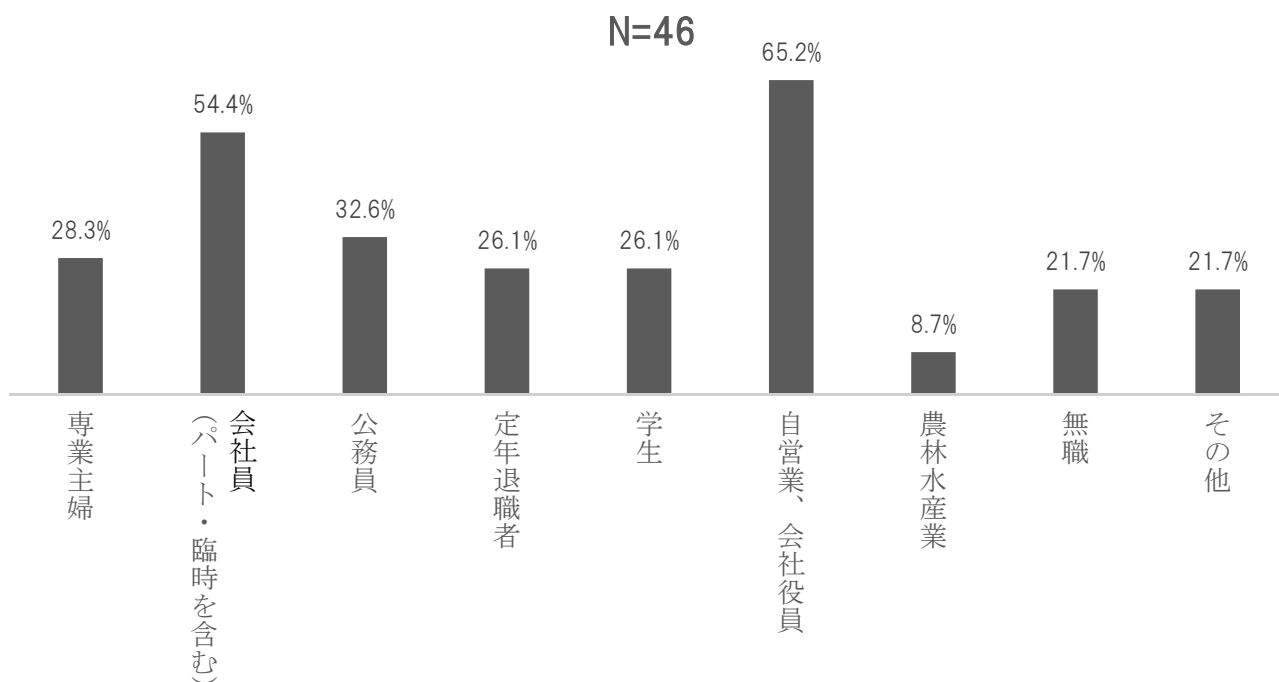
会員数については、「110名以上」が28.3%と最も高く、次いで「10～30名未満」が21.7%、「50～70名未満」が15.2%の順となっている。



3. 会員の主な職業

会員の主な職業は何ですか？(複数回答可)

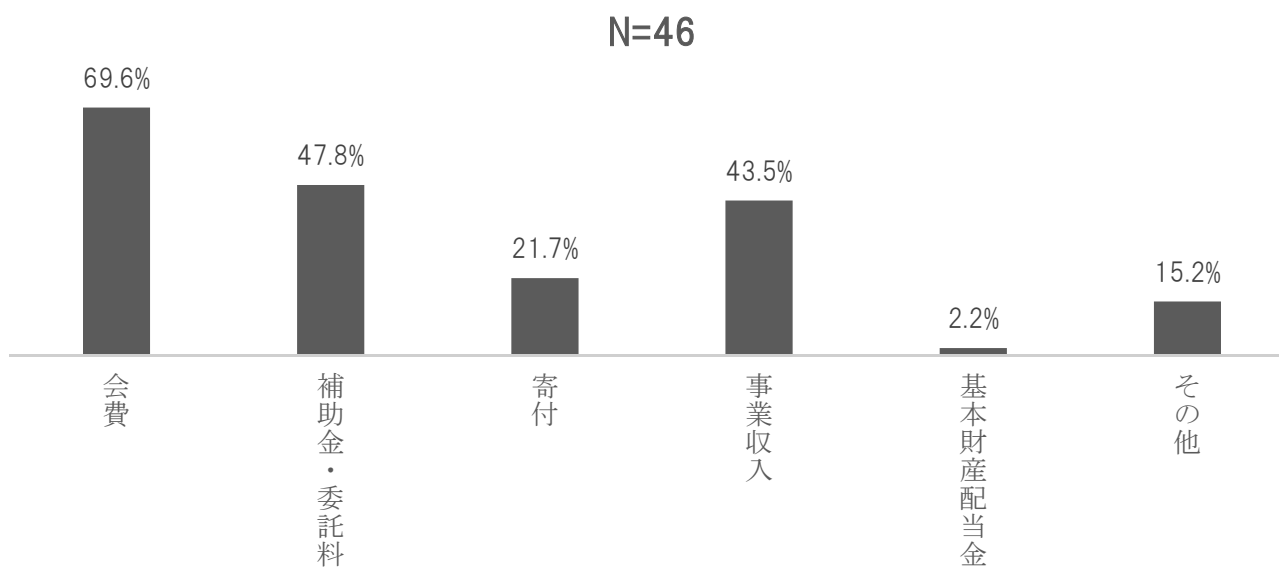
会員の主な職業については、「自営業、会社役員」が65.2%と最も高く、次いで「会社員（パート・臨時を含む）」が54.4%、「公務員」が32.6%の順となっている。



4. 団体運営の主な財源

貴団体運営の主な財源は何ですか？(複数回答可)

団体運営の主な財源については、「会費」が69.6%と最も高く、次いで「補助金、委託料」が47.8%、「事業収入」が43.5%の順となっている。



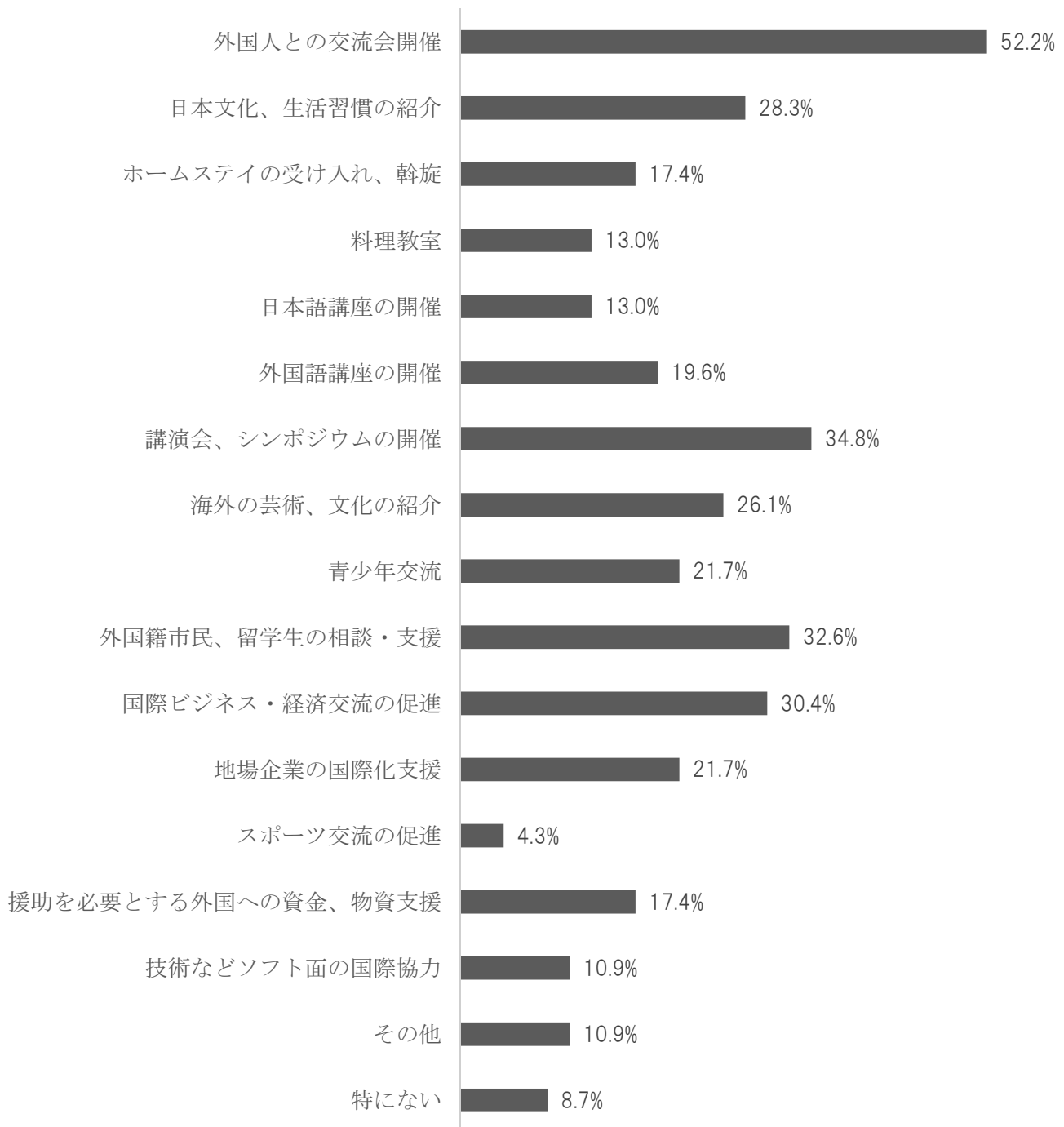
【2】活動について

1. 国際交流・協力活動

国際交流・協力活動の主なものは何ですか？(複数回答可)

国際交流・協力活動の主なものについては、「外国人との交流会開催」が 52.2%と最も高く、次いで「講演会、シンポジウムの開催」が 34.8%、「外国籍市民、留学生の相談・支援」が 32.6%、「国際ビジネス・経済交流の促進」が 30.4%の順となっている。

今回の全体 (N=46)



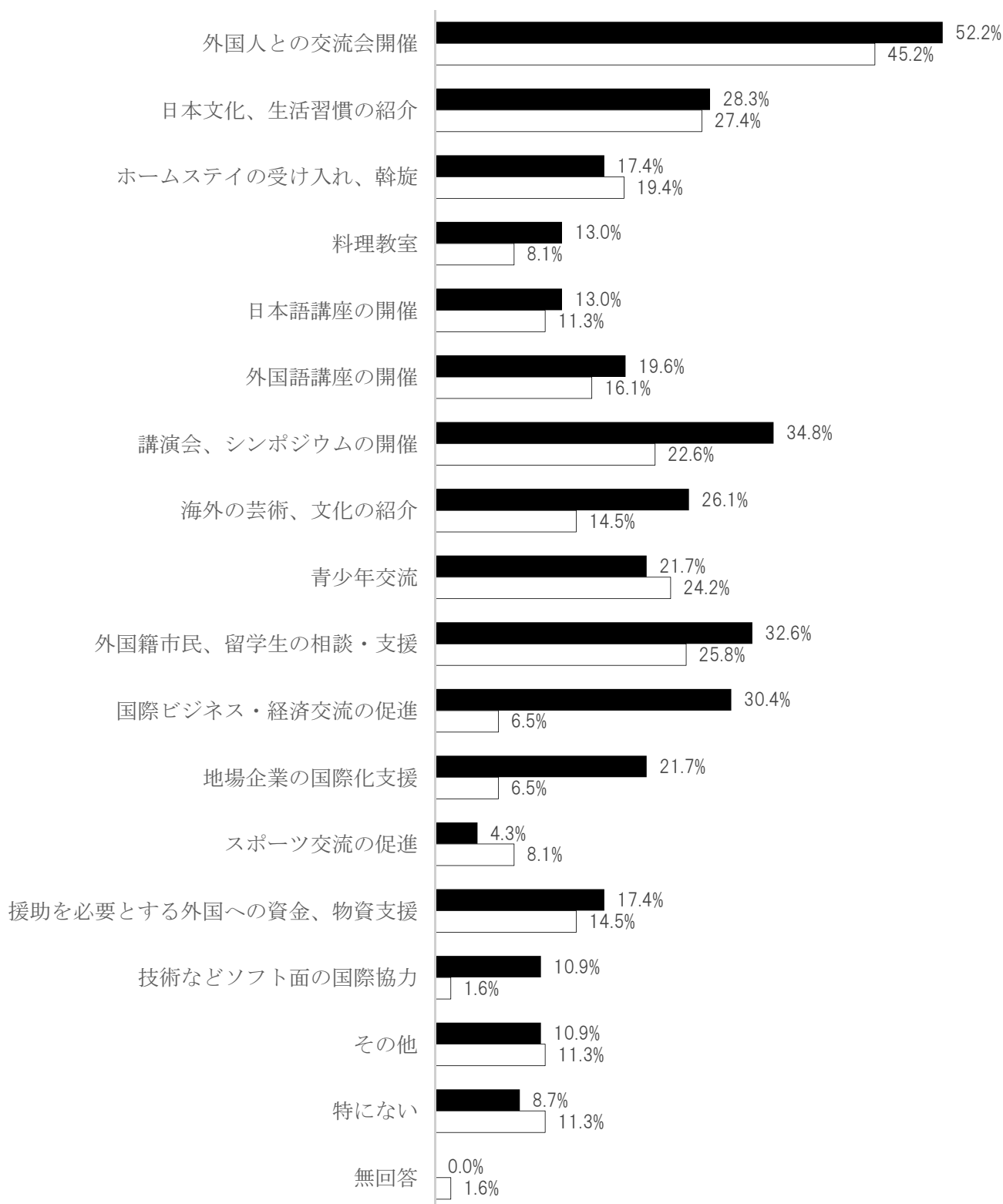
単位(%)		外国人との交流会開催	日本文化、生活習慣の紹介	ホームステイの受け入れ、 幹旋	料理教室	日本語講座の開催	外国語講座の開催	講演会、シンポジウムの 開催	海外の芸術、文化の紹介	青少年交流
全体(N=46)		52.2%	28.3%	17.4%	13.0%	13.0%	19.6%	34.8%	26.1%	21.7%
形態別	法人(n=26)	34.6%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	19.2%	34.6%	23.1%	23.1%
	非法人(n=20)	75.0%	25.0%	20.0%	10.0%	20.0%	20.0%	35.0%	30.0%	20.0%
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	10～30名未満(n=10)	80.0%	30.0%	20.0%	30.0%	30.0%	10.0%	0.0%	50.0%	10.0%
	30～50名未満(n=5)	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%
	50～70名未満(n=7)	57.1%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	71.4%	57.1%	14.3%
	70～90名未満(n=4)	75.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%
	90～110名未満(n=3)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	23.1%	23.1%	23.1%	0.0%	7.7%	15.4%	46.2%	7.7%	38.5%

単位(%)		外国籍市民、留学生の 相談・支援	国際ビジネス・経済 交流の促進	地場企業の国際化 支援	スポーツ交流の促進	援助を必要とする外 国への資金、物資支援	技術などソフト面の 国際協力	その他	特になし
全体(N=46)		32.6%	30.4%	21.7%	4.3%	17.4%	10.9%	10.9%	8.7%
形態別	法人(n=26)	30.8%	38.5%	26.9%	3.8%	3.8%	15.4%	15.4%	7.7%
	非法人(n=20)	35.0%	20.0%	15.0%	5.0%	35.0%	5.0%	5.0%	10.0%
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	10～30名未満(n=10)	50.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	30～50名未満(n=5)	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	50～70名未満(n=7)	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
	70～90名未満(n=4)	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	90～110名未満(n=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	15.4%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	23.1%	15.4%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「国際ビジネス・経済交流の促進」が30.4%、「地場企業の国際化支援」が21.7%と前回より突出して増加しており、「外国人との交流会開催」「講演会、シンポジウムの開催」「海外の芸術、文化の紹介」「外国籍市民、留学生の相談・支援」などが多少増加している。

◆前回との比較◆

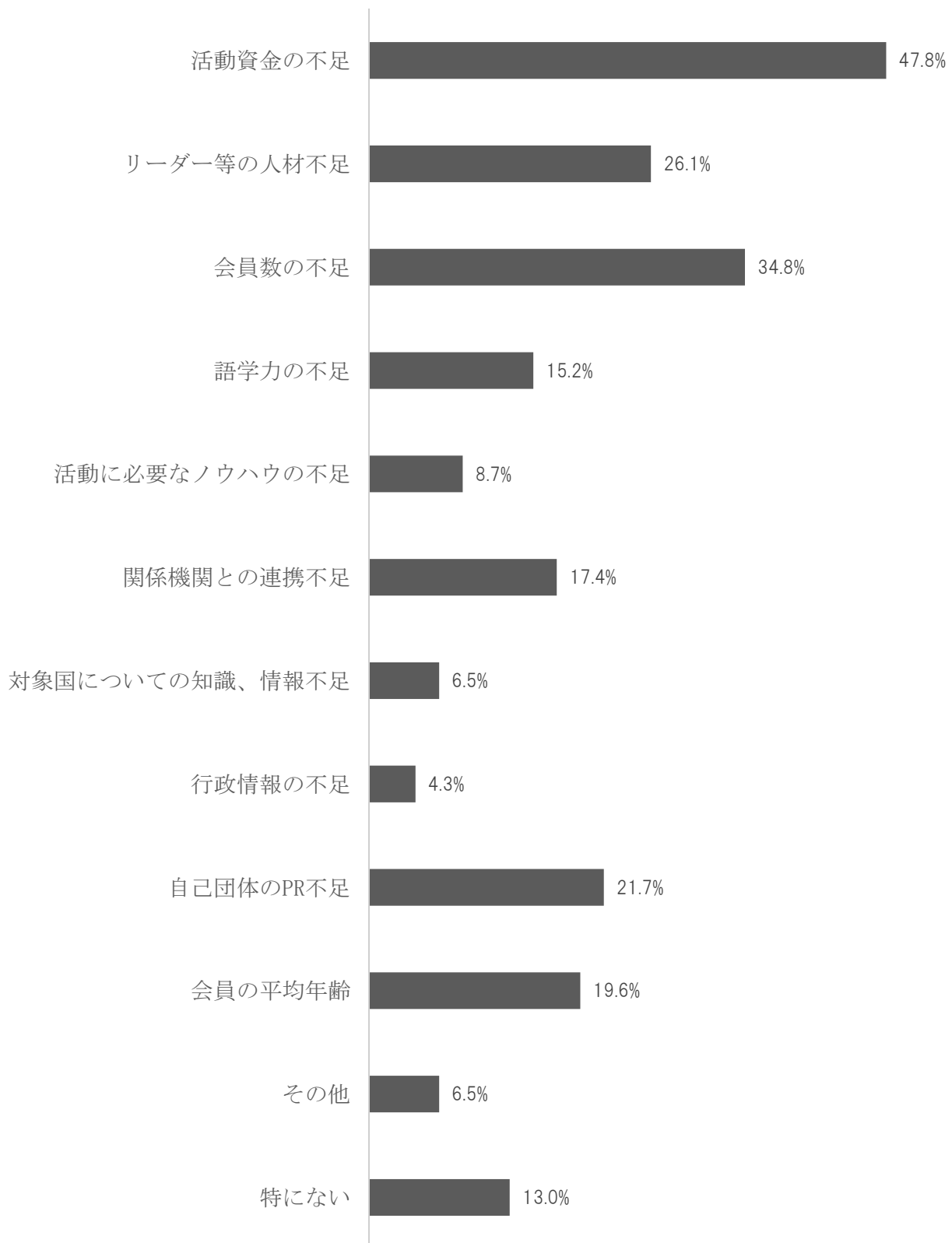
■ 今回の全体(N=46) □ 前回の全体(N=62)



2. 活動上の問題点や課題

活動するうえで、問題点や課題があるとすればなんですか？(複数回答可)

活動上の問題点や課題については、「活動資金の不足」が47.8%と最も高く、次いで「会員数の不足」が34.8%、「リーダー等の人材不足」が26.1%の順となっている。

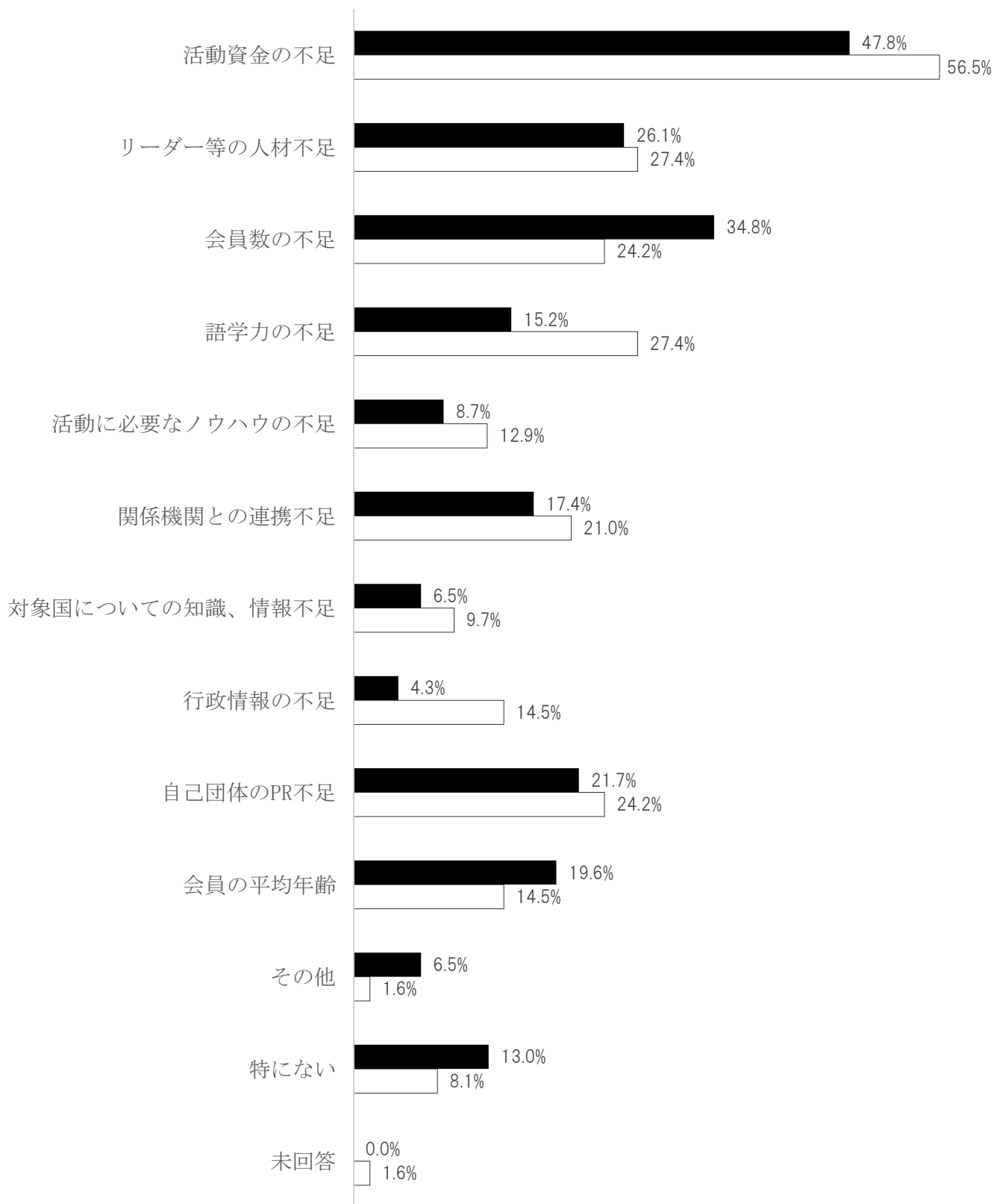


単位(%)		活動資金の不足	リーダー等の人材不足	会員数の不足	語学力の不足	活動に必要なノウハウの不足	関係機関との連携不足	対象国についての知識、情報不足	行政情報の不足	自己団体のPR不足	会員の平均年齢	その他	特にない
全体(N=46)		47.8%	26.1%	34.8%	15.2%	8.7%	17.4%	6.5%	4.3%	21.7%	19.6%	6.5%	13.0%
形態別	法人(n=26)	38.5%	30.8%	30.8%	11.5%	11.5%	11.5%	7.7%	3.8%	23.1%	15.4%	7.7%	19.2%
	非法人(n=20)	60.0%	20.0%	40.0%	20.0%	5.0%	25.0%	5.0%	5.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%
会員数別	10名未満(n=4)	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	10～30名未満(n=10)	50.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%
	30～50名未満(n=5)	40.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
	50～70名未満(n=7)	71.4%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	70～90名未満(n=4)	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	90～110名未満(n=3)	66.7%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	30.8%	30.8%	7.7%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	30.8%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「活動資金の不足」「語学力の不足」「行政情報の不足」が主に減少し、「会員数の不足」「特にない」が増加している。

◆前回との比較◆

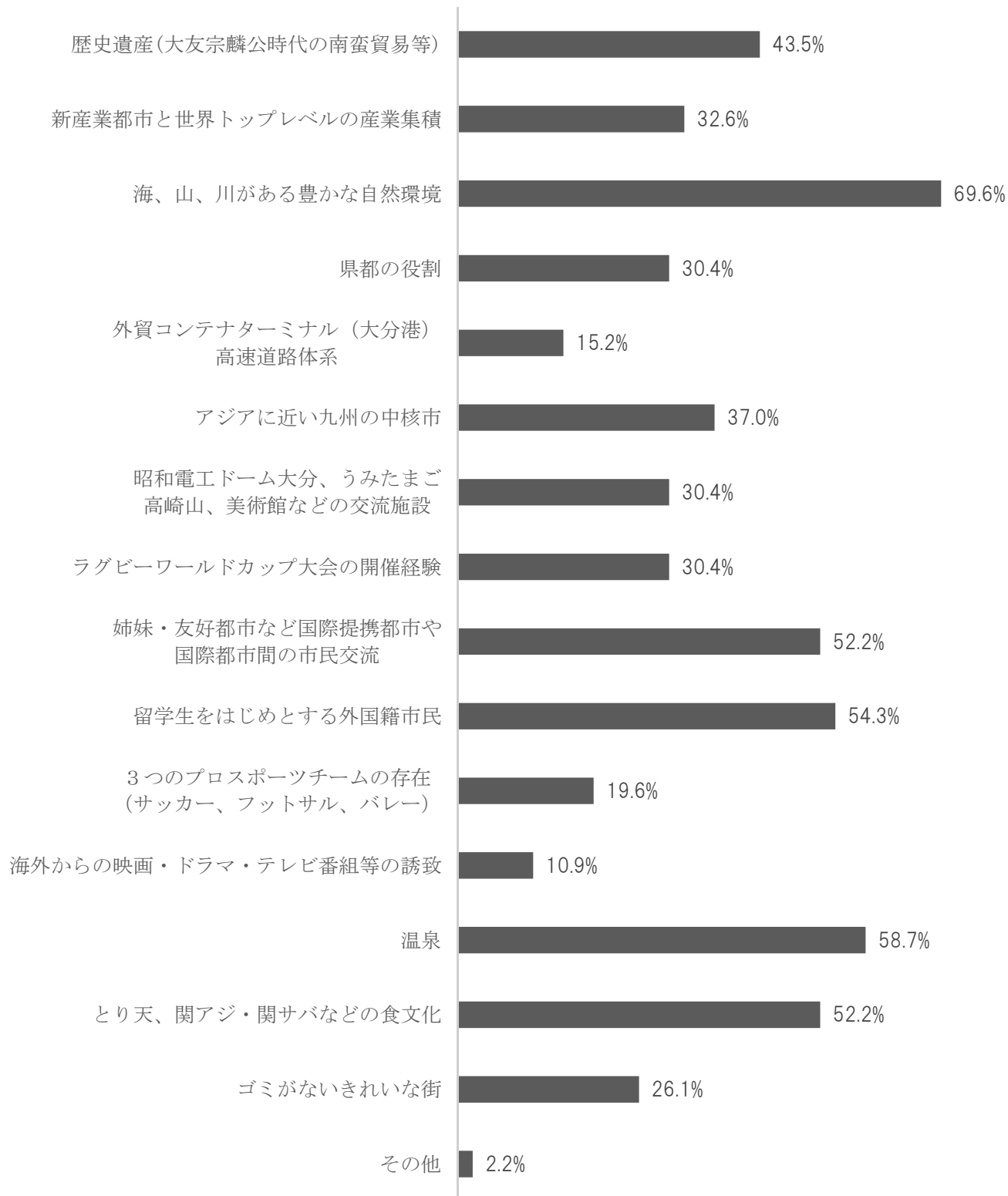
■ 今回の全体(N=46) □ 前回の全体(N=62)



3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと

大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことは何ですか？(複数回答可)

大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことについては、「海、山、川がある豊かな自然環境」が69.6%と最も高く、次いで「温泉」が58.7%、「留学生をはじめとする外国籍市民」が54.4%の順となっている。



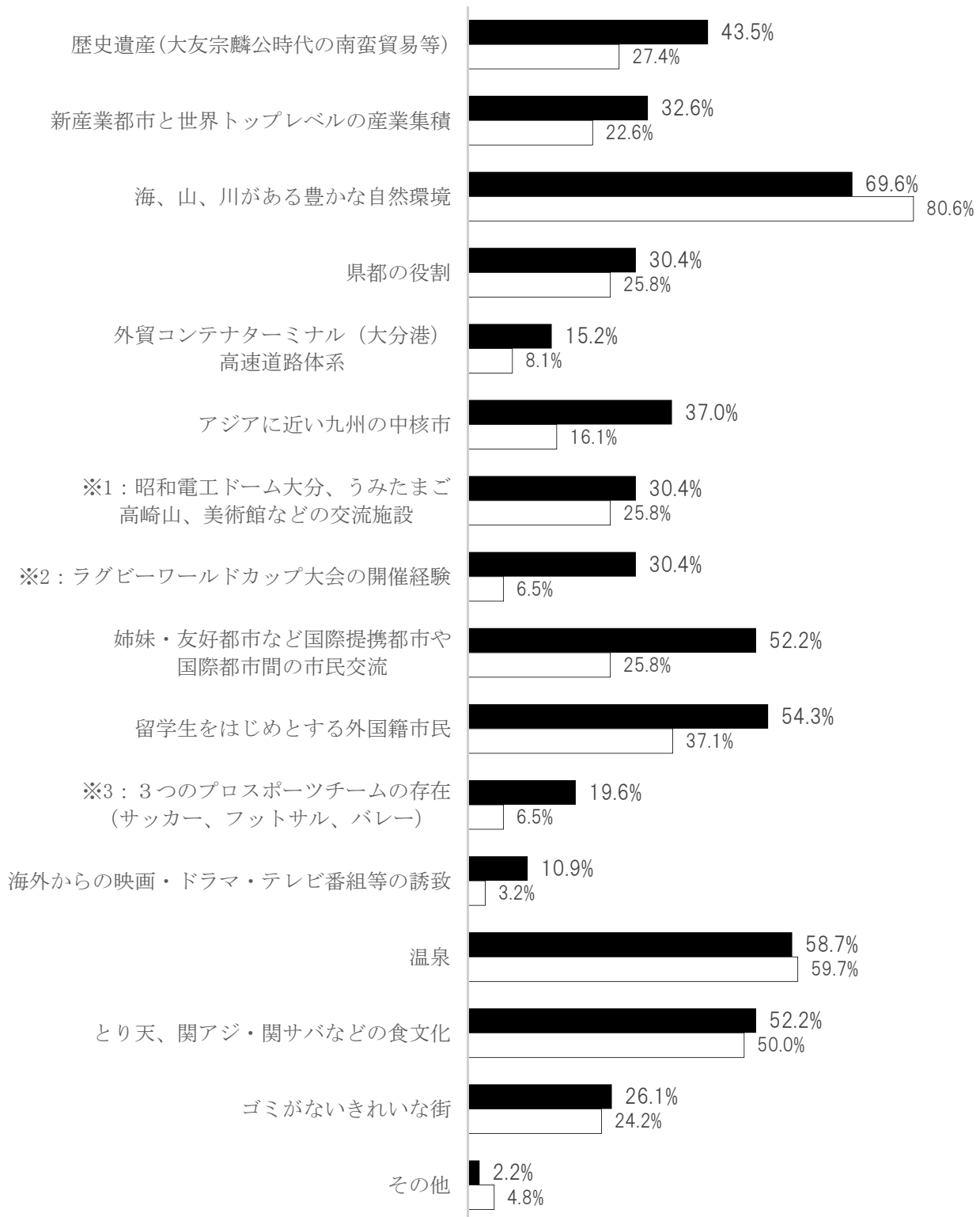
単位(%)		(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)	歴史遺産 産業集積	新産業都市と世界トップレベルの	自然環境	海、山、川がある豊かな	県都の役割	(大分港)、高速道路体系	外貿コンテナターミナル	アジアに近い九州の中核市	昭和電工エドーム大分、うみたまご、高崎山、美術館などの交流施設	開催経験	ラグビーワールドカップ大会の	都市や国際都市間の市民交流	姉妹・友好都市など国際提携	外国籍市民	留学生をはじめとする
全体(N=46)		43.5%	32.6%	69.6%	30.4%	15.2%	37.0%	30.4%	30.4%	30.4%	52.2%	54.3%					
形態別	法人(n=26)	46.2%	30.8%	76.9%	30.8%	15.4%	38.5%	30.8%	30.8%	57.7%	50.0%						
	非法人(n=20)	40.0%	35.0%	60.0%	30.0%	15.0%	35.0%	30.0%	30.0%	45.0%	60.0%						
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	50.0%	50.0%	75.0%	75.0%	100.0%						
	10～30名未満(n=10)	20.0%	40.0%	80.0%	30.0%	20.0%	40.0%	40.0%	30.0%	70.0%	50.0%						
	30～50名未満(n=5)	80.0%	20.0%	80.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	60.0%						
	50～70名未満(n=7)	71.4%	14.3%	71.4%	28.6%	14.3%	28.6%	57.1%	42.9%	57.1%	71.4%						
	70～90名未満(n=4)	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%						
	90～110名未満(n=3)	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	100.0%						
	110名以上(n=13)	38.5%	30.8%	69.2%	30.8%	7.7%	30.8%	7.7%	7.7%	38.5%	23.1%						

単位(%)		(サッカー、フットサル、バレエ)	3つのプロスポーツチームの存在	番組等の誘致	海外からの映画・ドラマ・テレビ	温泉	食文化	とり天、関アジ・関サバなどの	ゴミがないきれいな街	その他
全体(N=46)		19.6%	10.9%	58.7%	52.2%	26.1%	2.2%			
形態別	法人(n=26)	23.1%	15.4%	50.0%	42.3%	30.8%	3.8%			
	非法人(n=20)	15.0%	5.0%	70.0%	65.0%	20.0%	0.0%			
会員数別	10名未満(n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	75.0%	50.0%	0.0%			
	10～30名未満(n=10)	10.0%	30.0%	50.0%	40.0%	20.0%	0.0%			
	30～50名未満(n=5)	40.0%	0.0%	80.0%	80.0%	60.0%	0.0%			
	50～70名未満(n=7)	28.6%	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%			
	70～90名未満(n=4)	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	25.0%	0.0%			
	90～110名未満(n=3)	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%			
	110名以上(n=13)	7.7%	7.7%	53.9%	38.5%	23.1%	7.7%			

前回調査との比較を見ると、今回調査では「海、山、川がある豊かな自然環境」「温泉」が減少しているが、全体的に前回より増加している

◆前回との比較◆

■今回(N=46) □前回(N=62)



※1 前回調査では「大分銀行ドーム、うみたまご、高崎山、美術館などの交流施設」

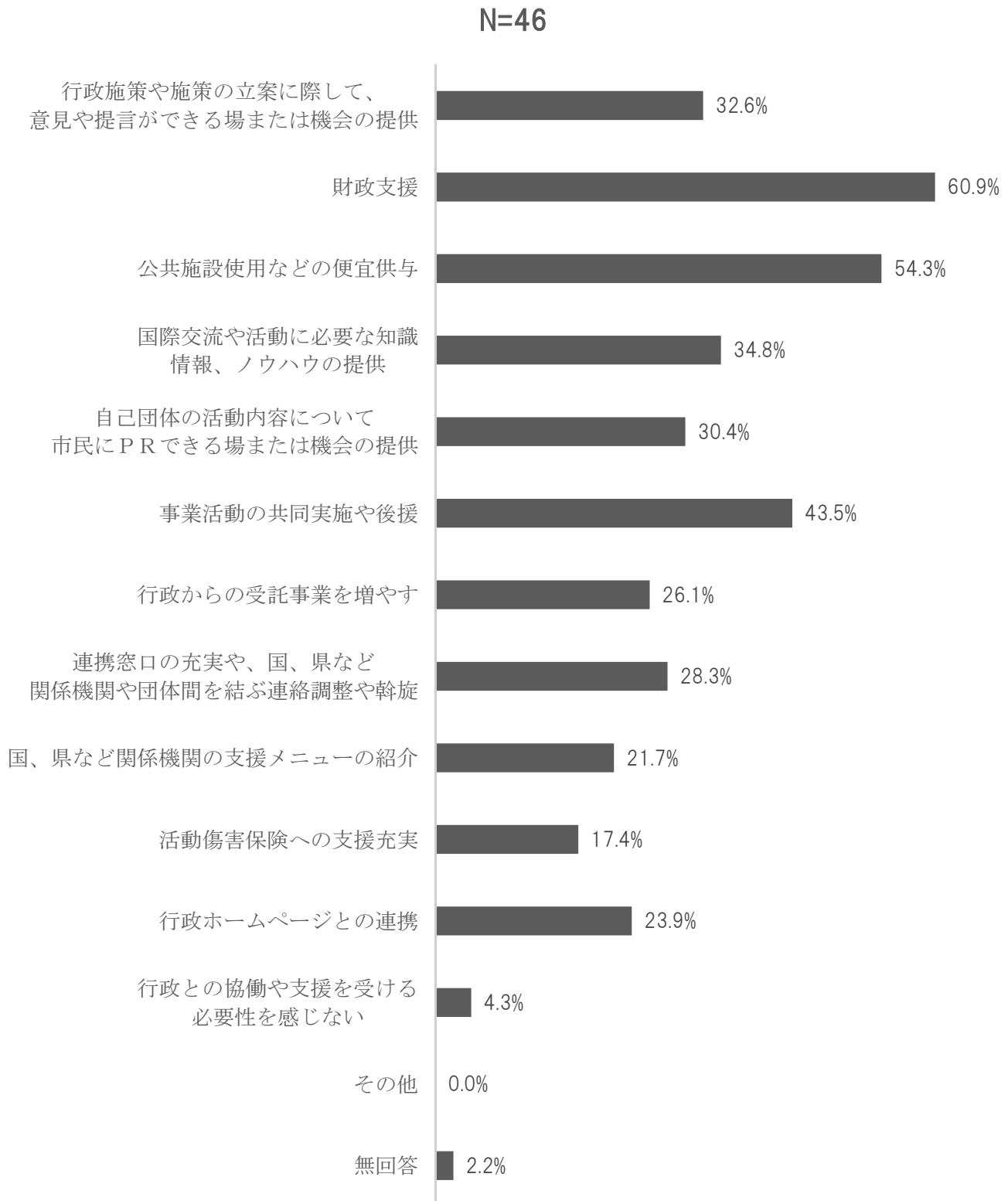
※2 前回調査では「ワールドカップサッカー大会の開催経験」

※3 前回調査では「4つのプロスポーツチームの存在(サッカー、フットサル、バレー、バスケットボール)」

4. 国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望

国際交流・協力を行う場合、行政にどのような協働（連携）を望みますか？（複数回答可）

国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望については、「財政支援」が60.9%と最も高く、次いで「公共施設使用などの便宜供与」が54.4%、「事業活動の共同実施や後援」が43.5%の順となっている。



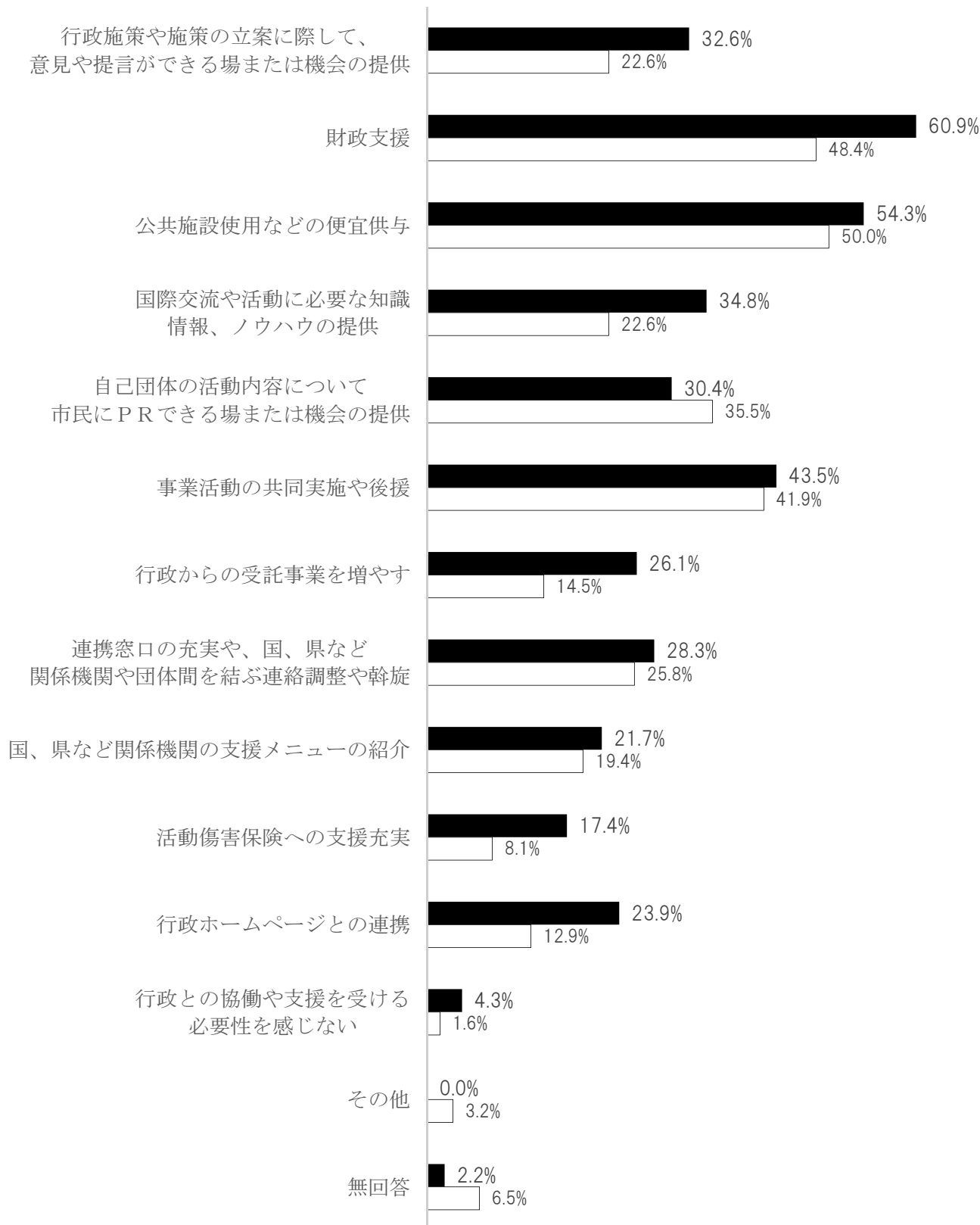
単位(%)		行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供	財政支援	公共施設使用などの便宜供与	ノウハウの提供	国際交流や活動に必要な知識、情報、PRできる場または機会の提供	自己団体の活動内容について、市民にPRできる場または機会の提供	事業活動の共同実施や後援	行政からの受託事業を増やす	連携窓口の充実や、国、県など関係機関や団体間を結ぶ連絡調整や斡旋	国、県など関係機関の支援メニューの紹介
全体(N=46)		32.6%	60.9%	54.3%	34.8%	30.4%	43.5%	26.1%	28.3%	21.7%	
形態別	法人(n=26)	38.5%	65.4%	50.0%	34.6%	30.8%	42.3%	23.1%	23.1%	19.2%	
	非法人(n=20)	25.0%	55.0%	60.0%	35.0%	30.0%	45.0%	30.0%	35.0%	25.0%	
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	75.0%	50.0%	50.0%	25.0%	
	10～30名未満(n=10)	50.0%	70.0%	40.0%	30.0%	40.0%	50.0%	30.0%	40.0%	30.0%	
	30～50名未満(n=5)	20.0%	60.0%	80.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	
	50～70名未満(n=7)	42.9%	28.6%	42.9%	28.6%	28.6%	57.1%	28.6%	42.9%	14.3%	
	70～90名未満(n=4)	25.0%	75.0%	75.0%	25.0%	50.0%	50.0%	75.0%	25.0%	25.0%	
	90～110名未満(n=3)	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	
	110名以上(n=13)	23.1%	61.5%	53.8%	46.2%	15.4%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	

単位(%)		活動傷害保険への支援充実	行政ホームページとの連携	行政との協働や支援を受ける必要性を感じない	その他	無回答
全体(N=46)		17.4%	23.9%	4.3%	0.0%	2.2%
形態別	法人(n=26)	19.2%	23.1%	3.8%	0.0%	0.0%
	非法人(n=20)	15.0%	25.0%	5.0%	0.0%	5.0%
会員数別	10名未満(n=4)	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	10～30名未満(n=10)	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～50名未満(n=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～70名未満(n=7)	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	70～90名未満(n=4)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	90～110名未満(n=3)	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	110名以上(n=13)	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%

前回調査との比較を見ると、今回調査では「財政支援」が60.9%、「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」が34.8%、「行政からの受託事業を増やす」が26.1%、「行政ホームページとの連携」が23.9%、「活動傷害保険への支援充実」が17.4%と前回より増加している

◆前回との比較◆

■ 今回の全体(N=46) □ 前回の全体(N=62)



【3】大分市の事業について

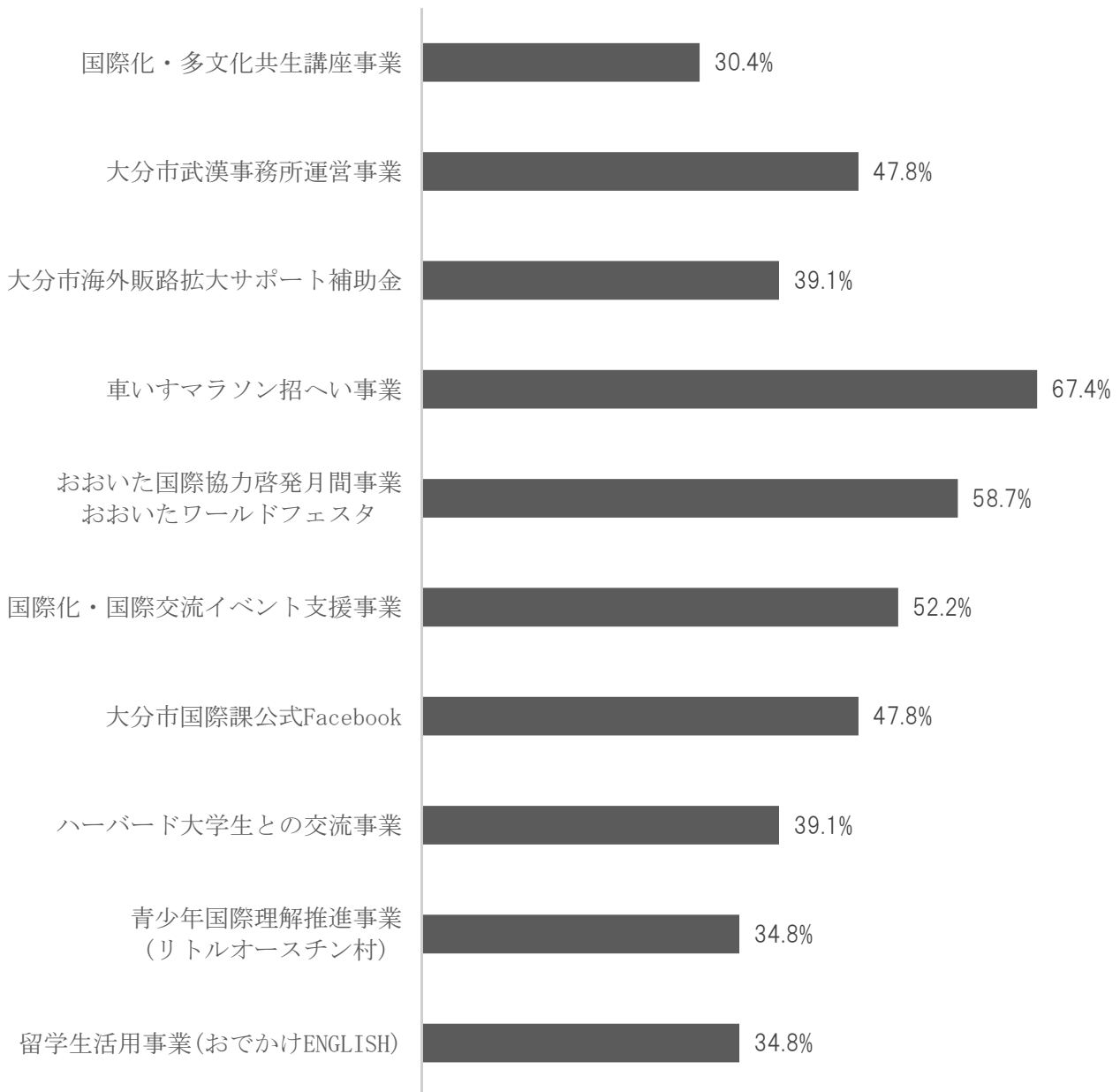
1. 大分の事業の認知度

大分市では、現行の「第3次大分市国際化推進計画」に基づき、さまざまな国際化及び国際交流事業を実施しています。これらの事業について、知っている事業がありますか？

(複数回答可)

大分の事業の認知度については、大分国際車いすマラソンなどに姉妹・友好都市の選手などが参加する事業「車いすマラソン招へい事業」が67.4%と最も高く、次いで市内の国際関係団体と連携して、毎年10月に国際理解イベントや国際協力啓発活動を行う事業「おおいた国際協力啓発月間事業・おおいたワールドフェスタ」が58.7%、市民の皆さん（団体を含む）が提案する国際交流イベント事業等に対して助成金を交付する事業「国際化・国際交流イベント支援事業」が52.2%の順となっている。

N=46



【4】全般について

1. 新型コロナウイルスについての意見

今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響等について、おきかせください

- ・ 会員の方は高齢が多いので日常生活で気を付けてもらいたい
- ・ 会員企業の業績への影響が既に出ており、今後拡大することが予想される。感染症の拡大防止と経済活動の両立が急務と考えています。
- ・ 3月から教室活動を停止しています。一部では7月から活動を再開しましたが、感染防止対策に気を使い大変です。残りの活動は10月からの予定ですが、休みの期間が長いので士気が落ちていないか心配です。
- ・ 打ち合わせ会や集会などが開催できていない。
- ・ 本年度以降、来日（大分）する留学生と観光客の減少による財政面と事業実施面への影響。
- ・ 留学生支援プログラムの実施への影響。
- ・ 留学生を活用した国際化事業実施への影響。
- ・ 採用縮小での学生の就職難の影響。
- ・ メンバーの経済状態の悪化や集まれないことでメンバーが退会し、財政的にとても苦しくなりました。
- ・ 団体維持のための救済の補助金が欲しいです。
- ・ イベントの実施が困難な状況になったが、代わりにオンラインでの対応が進んだ。
- ・ 国内外からの観光客が来訪しにくくなり、本県の観光産業に大きなマイナスの影響を及ぼしている。
- ・ 事業実施においては、海外での訪問による商談や観光PRが実施できなくなっている。
- ・ 来日できていない留学生が2名いる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受けて、全世界で進行中だった約7,000人のプログラムを中止いたしました。これにより、日本から世界36カ国・地域に留学していた342人、世界から日本に来日していた37カ国・地域255人が帰国しました（2020年7月15日現在）。大分中部支部所属の受入生5名と派遣生2名もプログラム半ばで帰国しました。
- ・ 2020年度の留学生の派遣及び受入を11月末より始動させるべく活動中です。
- ・ 影響はありません。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための資金が必要な方へ貸付を行う緊急小口資金の窓口となっている市社協には、本年3月以降これまで、留学生を中心とする多くの外国人が申請に訪れている。
- ・ 本年4月の入学者及び一時帰国からの日本への帰国困難者が出ている。
- ・ 外国人研究員の渡航・帰国困難者が出ている。
- ・ 受診控えや風評被害によって医療機関の収益が悪化しています。
- ・ 医療資源の枯渇が問題になっています。
- ・ 医療スタッフの安全面・健康面での管理が難しくなっています。
- ・ コロナ禍による海外渡航自粛により実際の交流が出来なくなっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により、活動を自粛している。
- ・ 外食の自粛で大葉、花などの価格が低迷した。反面、ニラは好調だった。
- ・ 感染防止対策として、会議のweb化、職員へのマスク配付、店舗に感染防止のビニール幕、消毒液など対応に追われた。

- ・ 年度当初は渉外係の訪問活動自粛を行った。
- ・ 各生産部会は、総会を書面のみで行った部会が多かった。
- ・ 感染者の関係者の家族の職員の休暇、店舗の休業を行った。（検査で関係者は陰性）
- ・ 海外大学との交流事業を延期せざるを得なくなった。
- ・ 例会や他のロータリークラブとの交流会・会議などが中止になった。
- ・ その他クラブの活動が制限される。（自粛等）
- ・ 地域の伝統的な歴史的な文化（各種の地域の祭りなど）や共働事業を中止または延期せざるを得なかったこと。
- ・ NPO 法人が独自に企画した各種の事業、集いなどを縮小または中止をせざるを得ないこと
- ・ 大分市の文化施設の委託事業を受けているが、来観者の制限、団体のお断りなど
- ・ コロナ感染拡大で、現地での、活動が出来ていない。
- ・ いつまでこの状況が続くか分からない現状で、活動の方向性を見直している最中です。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により我々の会議や事業だけでなく、国内外で開催される会議や様々な大会もリモートでの開催となっており、前年度から予定していた動きが取れない状況です。また、姉妹提携を結び毎年行き来している台湾の団体との交流会も今年は断念することになりました。
- ・ 主に：
 - ▶ 海外派遣中のボランティアの全世界一斉避難一時帰国
 - ▶ 在外事務所駐在の職員等が概ね一時帰国する事態となった。
 - ▶ 国内外出張の自粛、イベント等開催の自粛（特に3～5月）
- ・ コロナウイルスに対する意識（気にかける程度）に個人差があり、事業への参画を呼びかけることが難しい。オンラインへの対応にも個人差があり、できる人とそうでない人の差が大きい。また、運営側の知識も少なく設備にも限界がある。その中で、少しずつできることをやっていき、繋がりを切らさないよう試行錯誤しています。
- ・ 毎年恒例の「新春のつどい」は中止にした。（2020.2月）
 - ※「新春の集い」は会員相互の懇親の場。県内在住 EU 出身者も参加。
- ・ 50年以上続いている北米、ニュージーランド、韓国、中国とのホームステイ交流が中止となった。
- ・ やはり50年以上、毎年春夏冬と行ってきた全国各地での3泊4日のキャンプが中止となった。
- ・ 公民館の利用停止期間は、毎週の活動をお休みとせざるを得なかった→オンラインでの活動に挑戦できた。
- ・ 例年、姉妹都市であるオースチン市や、友好都市である武漢市のミュージシャンを招き、国際交流の場としていたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、そのような都市からミュージシャンを招くことができなかった。
- ・ また、例年は企業から協賛金を募り、事業費の一部としていたが、今年は協賛金を募ることができず、規模縮小で開催を検討している。
- ・ 例年5月に合わせ、会員間の親睦を図ることを目的として、「ポルトガルワインの夕べ」を開催しているが、延期（実施時期未定）している。
- ・ 外国への旅行が規制され支援事業が出来なくなった。
- ・ 2月下旬にホームステイプログラムを実施した際に、ダイヤモンドプリンセスの関係でホームステイを直前になってキャンセルした家庭があり、別のホストファミリーを探すのが大変だった。その他、内閣府の国際交流事業が今年度ストップしてしまったことから、大分での地方プログラムも停止してしまった事から活動がなくなってしまった。
- ・ 国際学生に対しての誹謗中傷やコロナでアルバイト先がなくなり生活が苦しい状況があるようです。

雇用の支援や、生活サポートをお願いしたい。

- ・ コロナ禍で、対面でできる活動の実施ができない状況が続いている。
- ・ オンラインでの実施にチャレンジする機会にはなった。
- ・ モンゴルとの交流を行っており、今年、モンゴルの子供たちを大分に受け入れる予定であったが、新型コロナウイルスの影響により交流が中断していること。
- ・ 活動ができなくなったので、会員がたくさん辞めました。なので資金不足です。
- ・ 総会もできず、会費も集まらず、資金不足で大変です。
- ・ どこも同じですが、維持するための補助金が必要だと思います。
- ・ もう、何年ももたないかもしれません。
- ・ 計画していたイベント等の中止や規模縮小などの見直し。

2. 大分市の国際化・国際戦略についての提言、要望

大分市の国際化・国際戦略について、自由な意見やご提言、ご要望をおきかせください。

- ・ ベトナムに関する友好団体なので本部中心に動いていますので大分市とは直接に関係ありません
- ・ 大分空港の宇宙港としての利用や第二国土軸豊予海峡ルートによる国土強靱化などにより、技術の海外展開や国内外の人材交流など、国際戦略にも影響があると考えています。
- ・ 文化交流、スポーツ交流に加え、経済面でも一層の交流を図るべきだと考えます。
- ・ また人の往来は難しくとも、web 会議システムを活用したオンライン交流は可能だと考えています。世界がパンデミックで苦しむ時だからこそ、交流や支援を進めるべきと考えます。
- ・ 【3】の設問にある、大分市が実施する各種の素晴らしいプログラムについて、市民の方々が知らないことが多いと感じています。「どこが主催？→大分市ですよ」と誰もが知るような、多くの人を巻き込み身近に感じられる行政イベントが定着すればよいが、と思っています。
- ・ 在日外国人のための施策が少ないと思います。
- ・ リトルオースチンやバーバードも、英語既習者が多く、不公平だと思う。経済的に厳しくて英語を習いにいけない児童にこそ、本物の英語に触れるチャンスが必要なのではないかと思う。
- ・ 不登校児や障害のある生徒も同様。小学校でグローバル教育ができたなら、大分市の発展、国際化にも大きく役立つと思います。
- ・ 観光インバウンドだけではない、普段からの付き合いができる、またコミュニケーションがとれるような国際関係づくりを。
- ・ 大分市は、温泉や食をはじめとする観光資源に恵まれており、まだまだ観光客は増加していくものと考えている。
- ・ 国の内外から観光客を増やしていくためには、新型コロナウイルス感染症の終息後を見据え、宿泊施設や飲食店、商店街等の観光に関わる事業者が、ウイズ・コロナの対策を講じながら、アフター・コロナ期に観光客が増加するような取り組みを進めていく必要がある。
- ・ 多言語対応やナイトタイムエコノミー対策等の受入態勢の充実、観光PRの実施や個別の観光ニーズにマッチする観光情報の提供等に、引き続き取り組んでいく必要がある。
- ・ 来日前に大分を認識していた大分配属の留学生はほぼゼロですが、留学を終え再度大分を訪れる生徒は三分の二ほどいます。一度暮らしてみると懐かしい第二の故郷となるようです。東京などと比較すると住宅事情に恵まれていることもありますが、まずは人の温かさを感じているようです。コロナ禍で偏見や分断が進んでいる今こそ個人レベルの交流がもっと発展するように願っています。日本が大好きになってくれた留学生たちは必ず次世代を担う潤滑油になってくれると信じています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのマスクの寄贈や大規模自然災害に係る支援物資の送付などが大分市と友好都市武漢市の間で行われてきている。
- ・ 新型コロナウイルスの終息を見据え、より多くの市民が参加できる訪問団の派遣などを企画したらどうかと思う。

V 企業調査結果

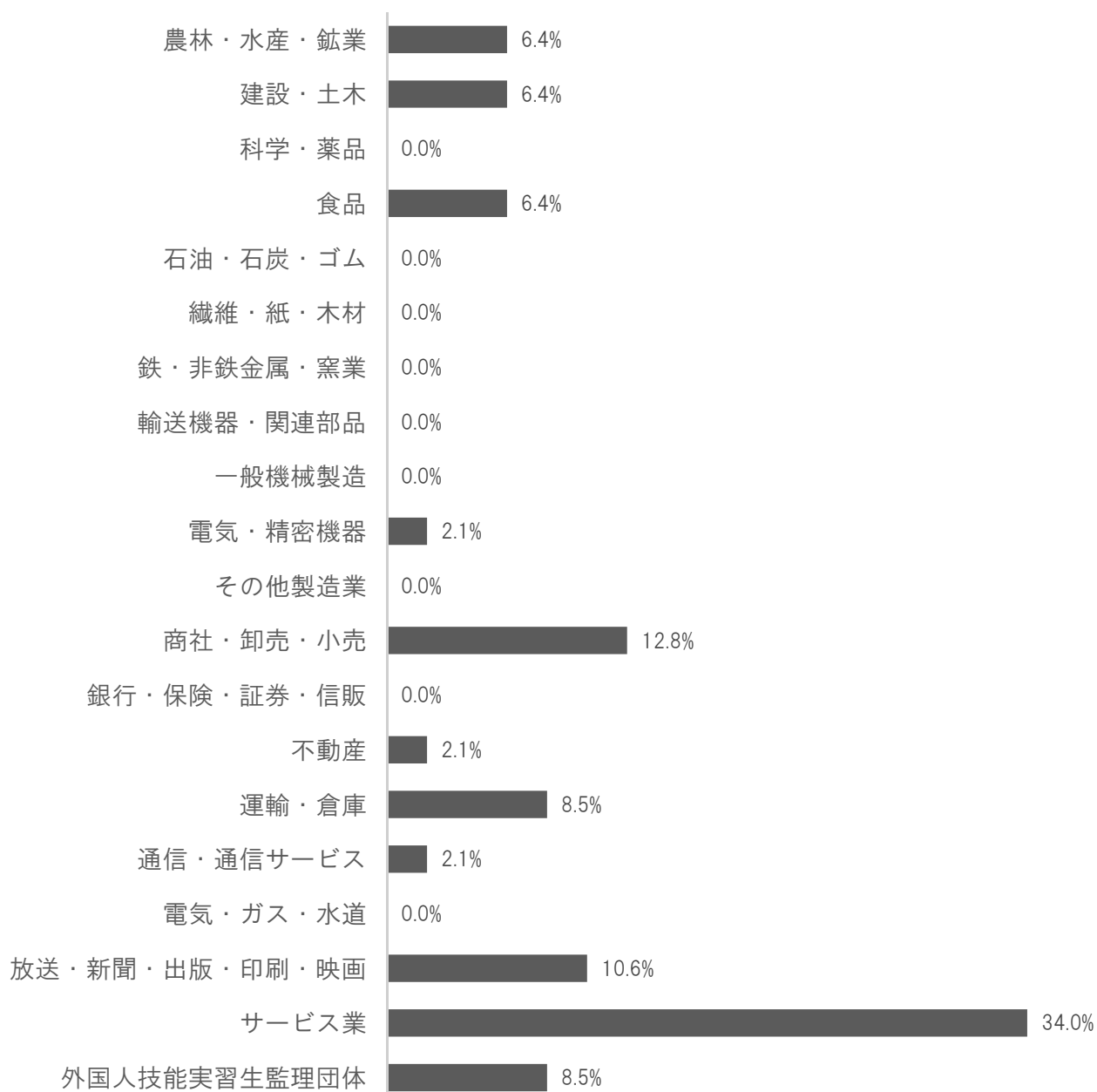
【1】企業の属性

1. 企業の業種

業種についてお知らせください（複数に該当する場合は、占めるウェイトが最も高いものをお選びください。）

業種については、「サービス業」が34.0%で最も高く、次いで「商社・卸売・小売」12.8%、「放送・新聞・出版・印刷・映画」10.6%、「外国人技能実習生監理団体」「運輸・倉庫」8.5%、「農林・水産・鉱業」「建設・土木」「食品」6.4%の順となっている。

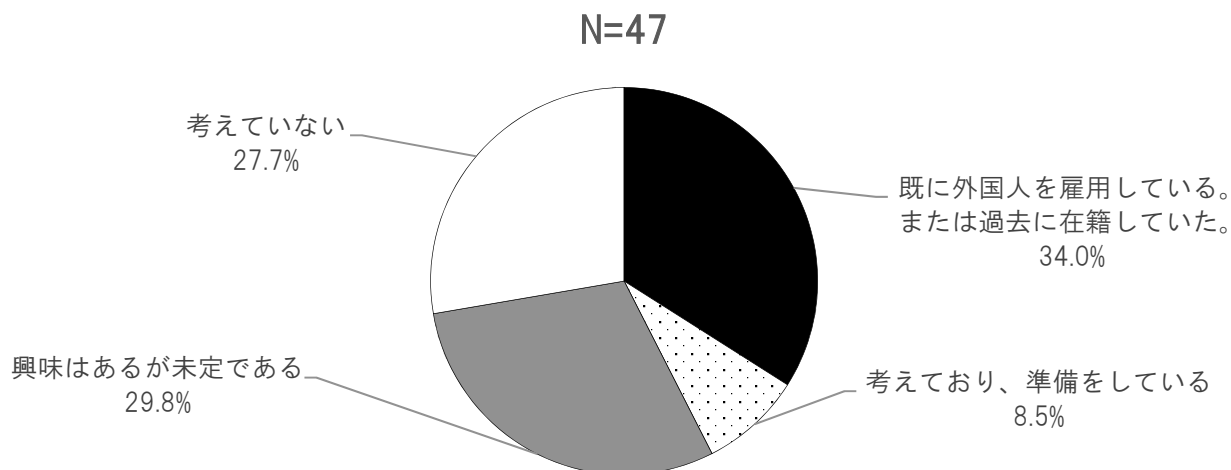
N=47



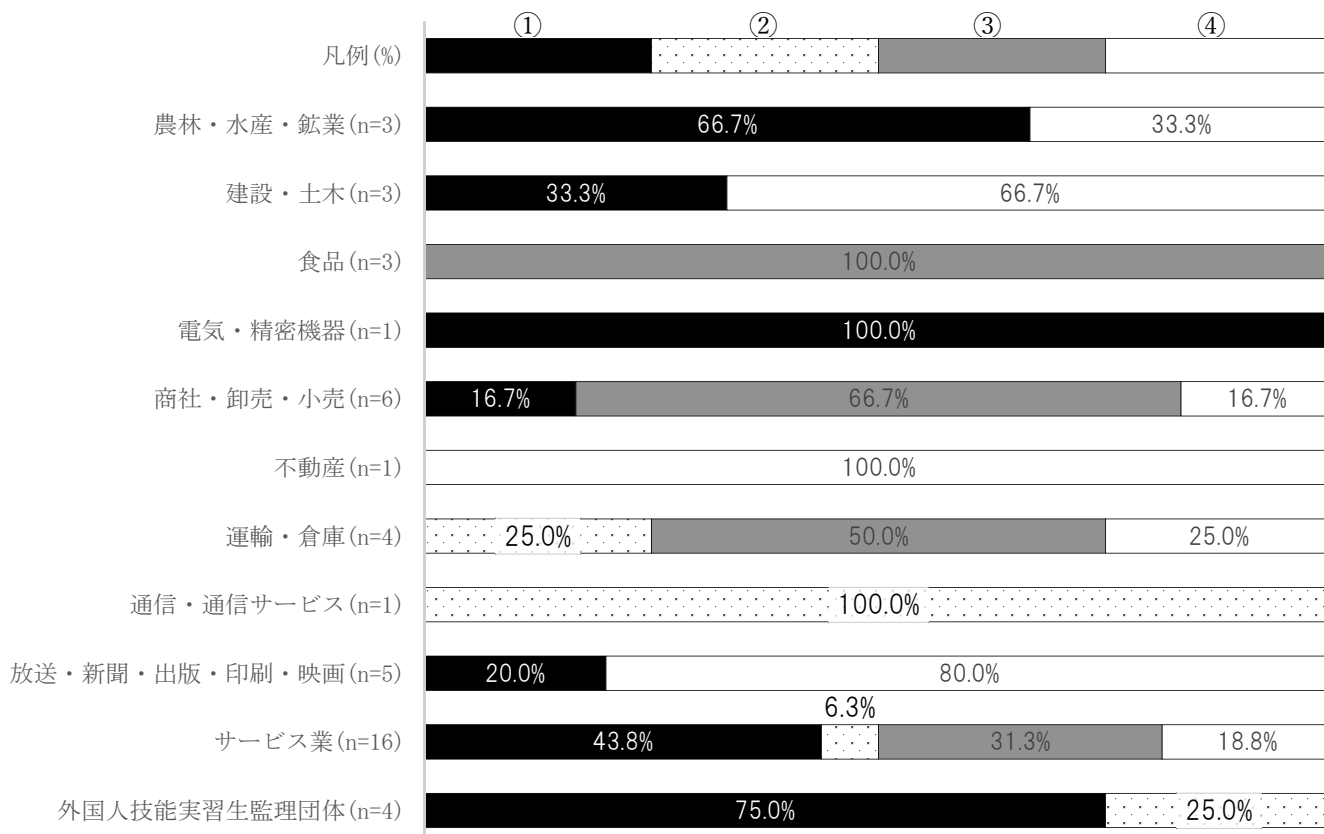
2. 外国人の雇用

外国人の雇用を考えた事がありますか？

外国人の雇用については、「既に外国人を雇用している。または過去に在籍していた。」が電気・精密機器、外国人技能実習生監理団体、農林・水産・鉱業で高く、「考えており、準備をしている」が通信・通信サービスで高く、「興味はあるが未定である」が食品、商社・卸売・小売で高く、「考えていない」が不動産、放送・新聞・出版・印刷・映画、建設・土木で高い。また、運輸・倉庫、サービス業については様々な意見に分かれている。



- ① 既に外国人を雇用している。または過去に在籍していた
 ② 考えており、準備をしている ③ 興味はあるが未定である ④ 考えていない



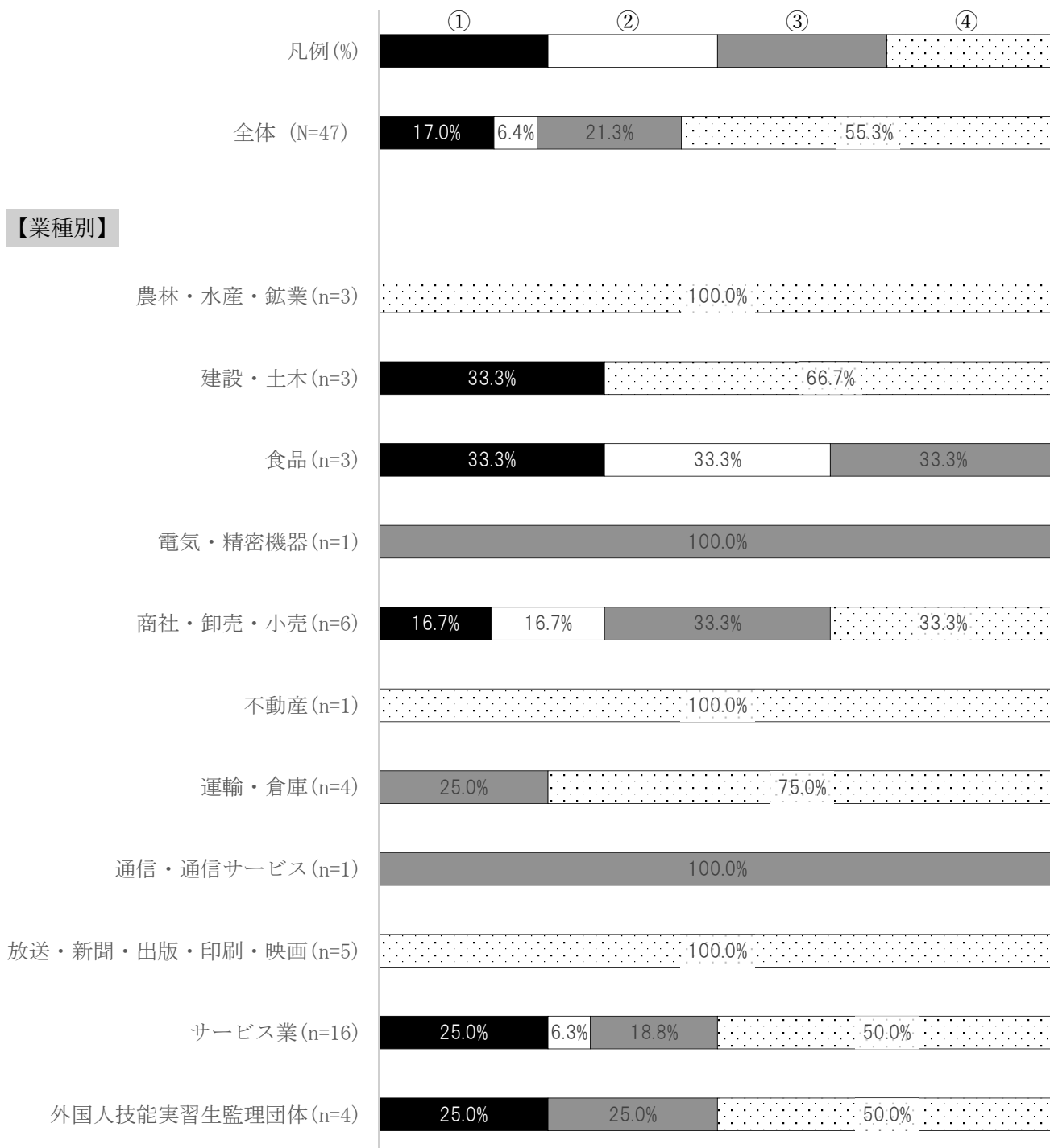
3. 事業の海外展開

事業の海外展開を考えたことがありますか？

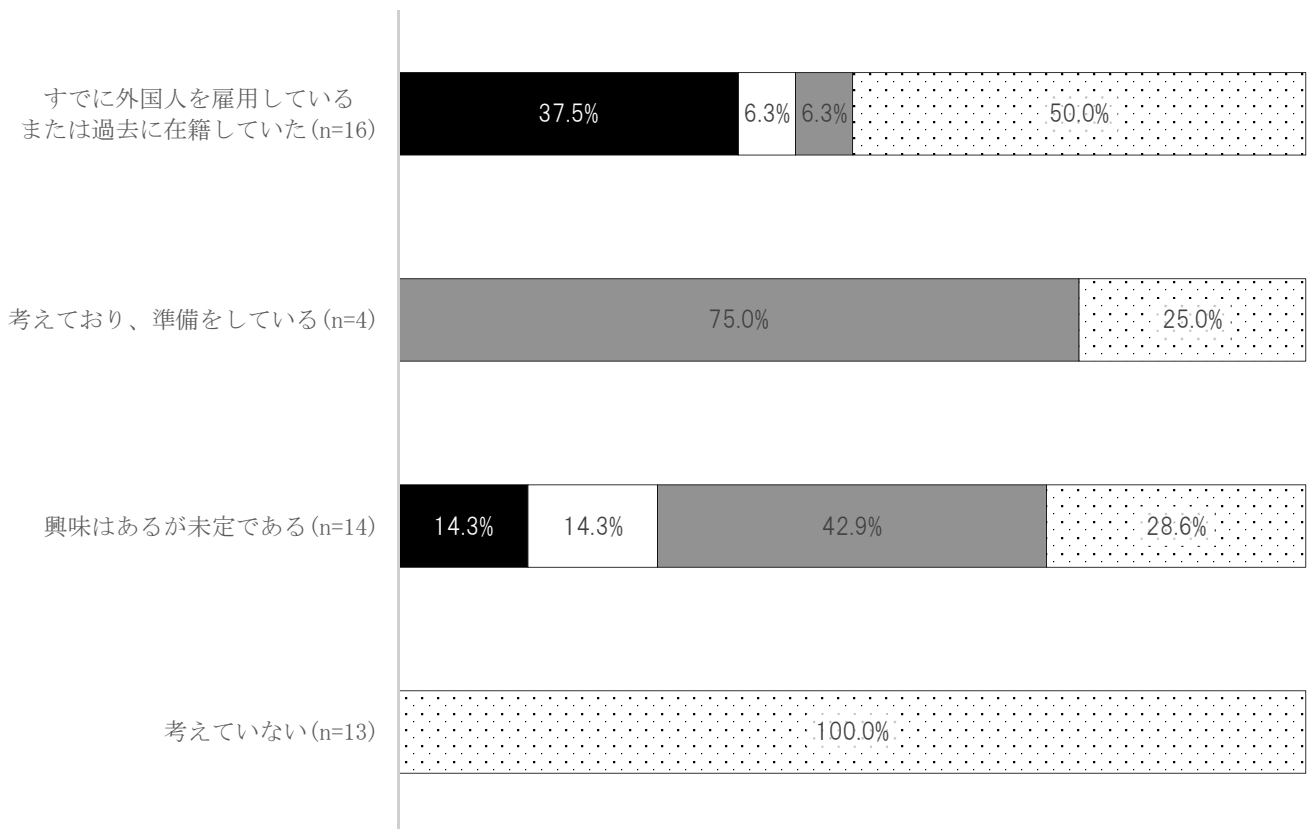
事業の海外展開については、「考えていない」が過半数以上の 55.3%と最も高く、次いで「興味はあるが未定である」が 21.3%で「既に海外展開をしている・拡大を考えている」が 17.0%、「考えており、準備をしている」が 6.4%となっている。

N=47

- ① 既に海外展開している・拡大を考えている ② 考えており、準備をしている
 ③ 興味はあるが未定である ④ 考えていない



【外国人雇用別】



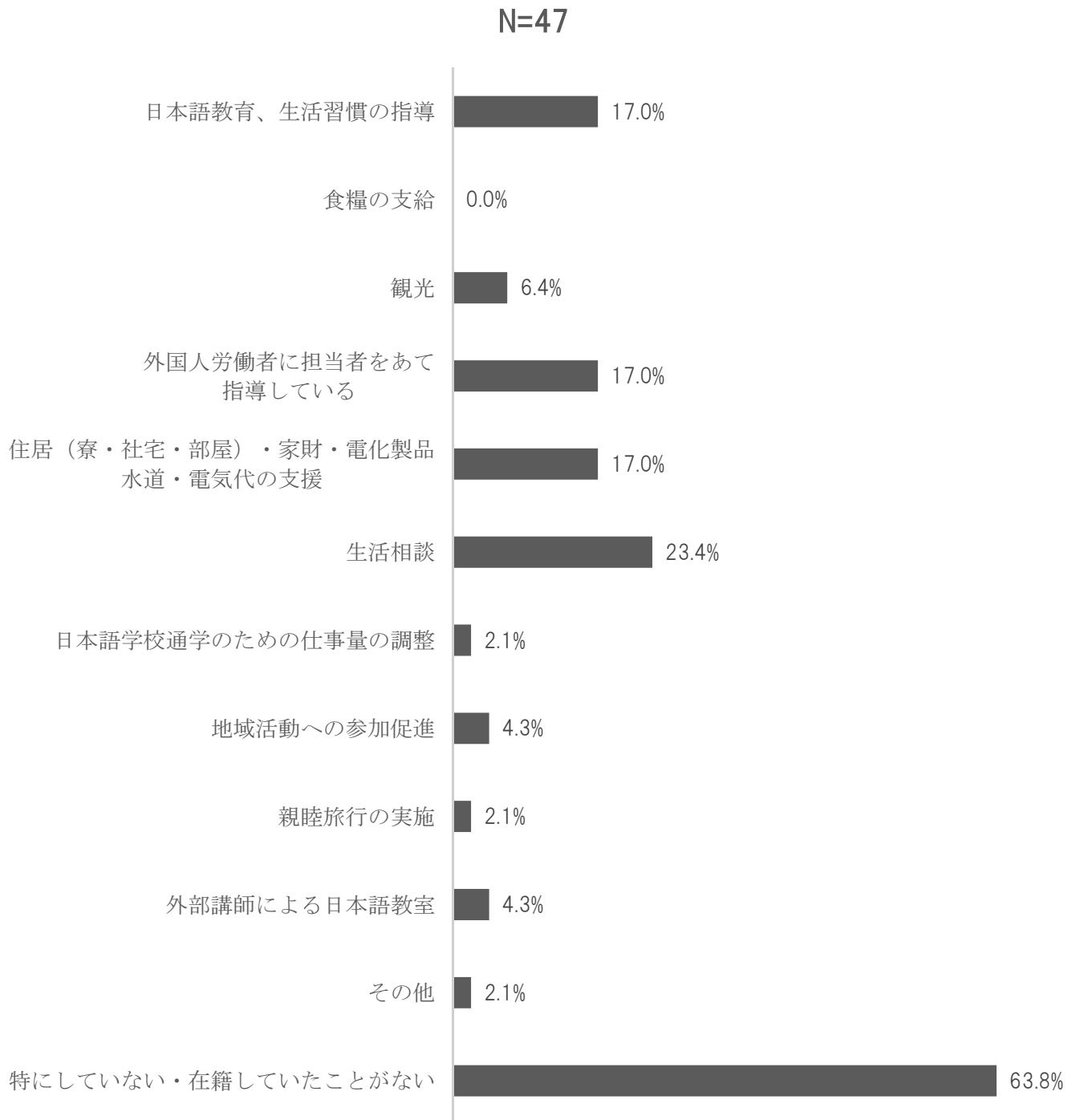
【2】外国人労働者の受け入れについて

1. 外国人労働者への支援

外国人労働者（研修生・実習生を含む）に何か支援をされていますか？

またはされていきましたか？(複数回答可)

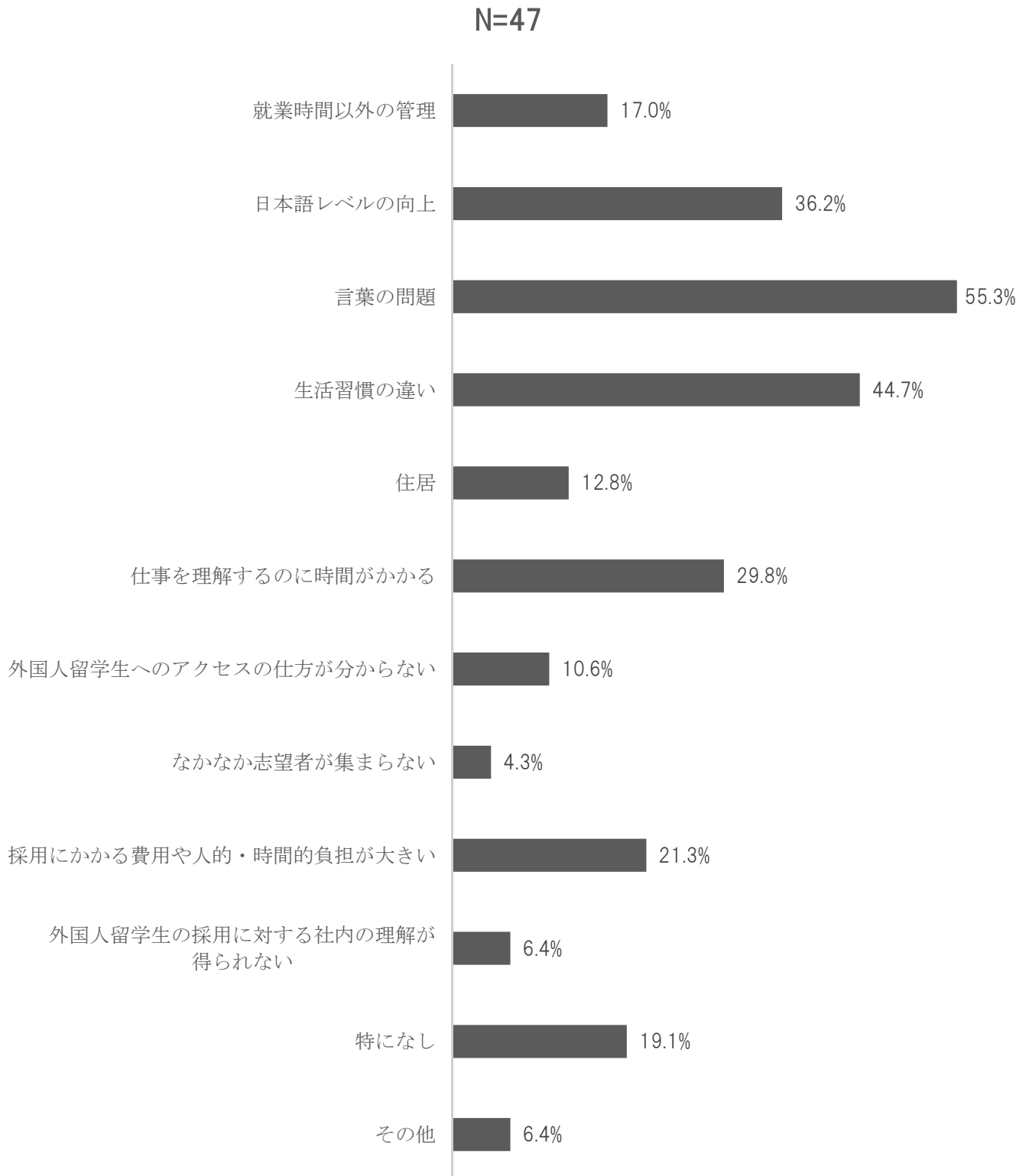
外国人労働者への支援については、「特にしていない・在籍していたことがない」が 63.8%、と最も高く、次いで「生活相談」が 23.4%、「日本語教育、生活習慣の指導」「外国人労働者に担当者をあて、指導している」「住居（寮・社宅・部屋）・家財・電化製品、水道・電気代の支援」が 17.0%、の順となっている。



2. 外国人労働者を受け入れることに関する課題

外国人労働者（研修生・実習生を含む）を受け入れることに関して、課題は何ですか？
(複数回答可)

外国人労働者を受け入れることに関する課題については、「言葉の問題」が 55.3%と最も高く、次いで「生活習慣の違い」が 44.7%、「日本語レベルの向上」が 36.2%、「仕事を理解するのに時間がかかる」が 29.8%の順となっている。



単位(%)		就業時間以外の管理	日本語レベルの向上	言葉の問題	生活習慣の違い	住居	仕事を理解するのに時間がかかる
全体(N=47)		17.0%	36.2%	55.3%	44.7%	12.8%	29.8%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%
	建設・土木(n=3)	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	食品(n=3)	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%
	不動産(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	運輸・倉庫(n=4)	50.0%	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	50.0%
	通信・通信サービス(n=1)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	20.0%	60.0%	100.0%	60.0%	0.0%	40.0%
	サービス業(n=16)	6.3%	31.3%	50.0%	25.0%	12.5%	31.3%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	50.0%	100.0%	75.0%	75.0%	25.0%	50.0%
外国人の雇用別	既に外国人を雇用している。 または過去に在籍していた(n=16)	12.5%	43.8%	31.3%	50.0%	6.3%	12.5%
	考えており、準備をしている(n=4)	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	25.0%	50.0%
	興味はあるが未定である(n=14)	7.1%	21.4%	50.0%	50.0%	21.4%	28.6%
	考えていない(n=13)	23.1%	38.5%	76.9%	30.8%	7.7%	46.2%

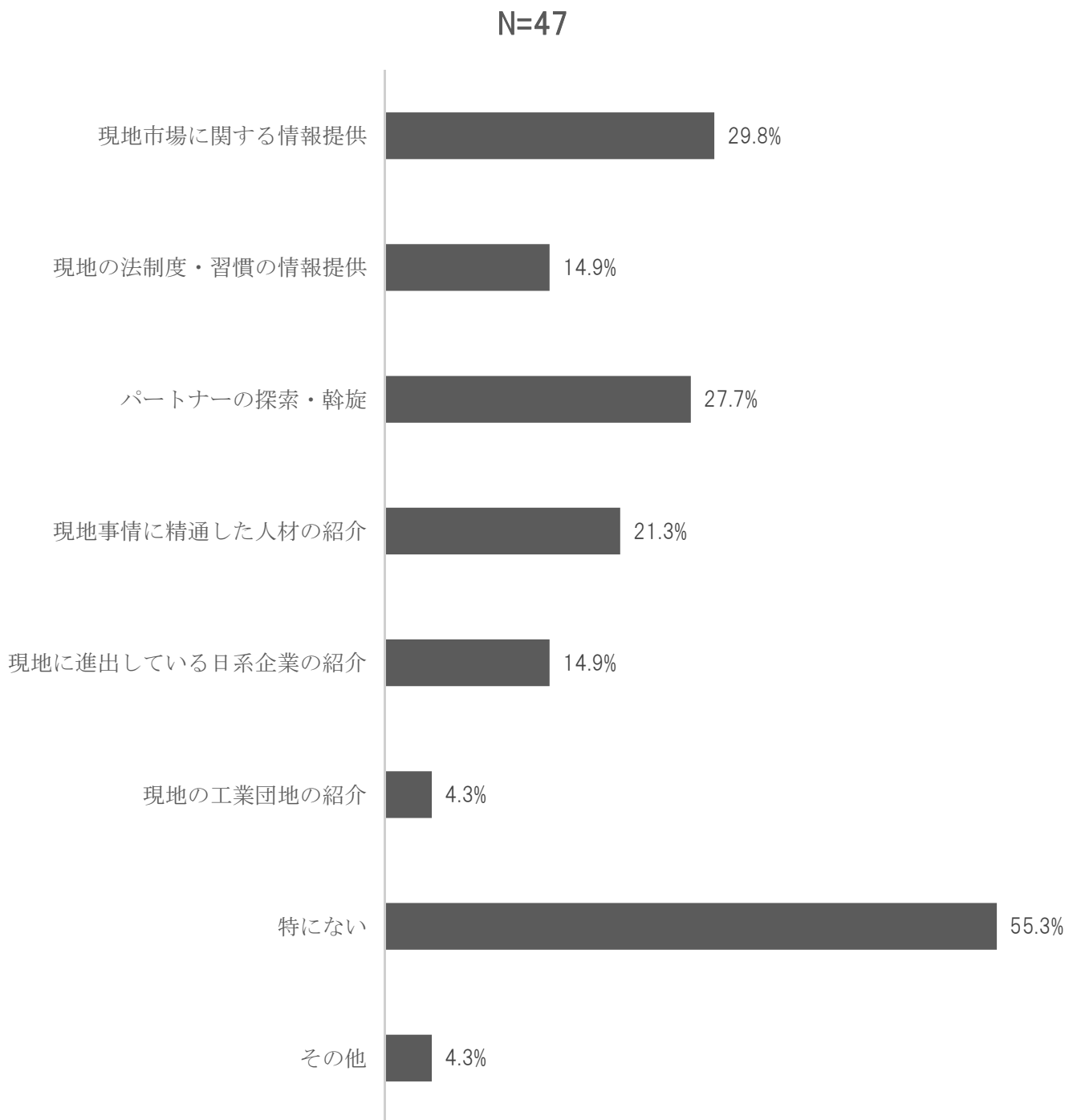
単位(%)		外国人労働者へのアクセスの仕方がわからない	なかなか志望者が集まらない	採用にかかる費用や人的・時間的負担が大きい	外国人労働者の採用に対する社内の理解が得られない	特になし	その他
全体(N=47)		10.6%	4.3%	21.3%	6.4%	19.1%	6.4%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設・土木(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	食品(n=3)	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%
	不動産(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	運輸・倉庫(n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	通信・通信サービス(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	サービス業(n=16)	0.0%	0.0%	18.8%	6.3%	31.3%	6.3%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外国人の雇用別	既に外国人を雇用している。 または過去に在籍していた(n=16)	6.3%	6.3%	25.0%	0.0%	31.3%	6.3%
	考えており、準備をしている(n=4)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	興味はあるが未定である(n=14)	28.6%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%
	考えていない(n=13)	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%

【3】海外展開

1. 姉妹・友好都市関係の実施内容

大分市は、ポルトガル共和国アベイロ市、中国武漢市、米国オースチン市と姉妹・友好都市を、中国広州市と交流促進都市を結んでいます。姉妹・友好都市関係を活用して実施してほしい内容について、以下から選択してください。(複数回答可)

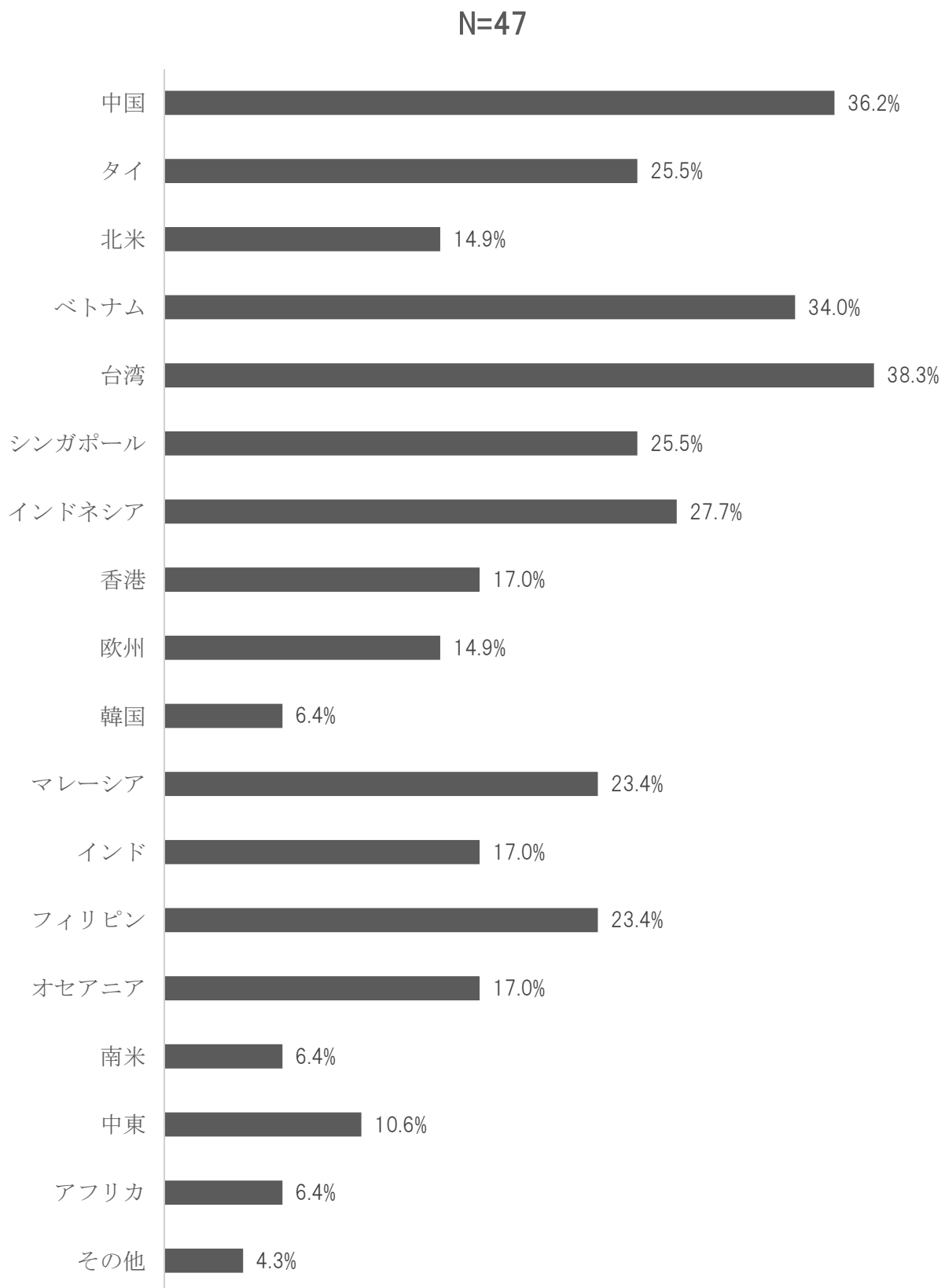
姉妹・友好都市関係を活用して実施して欲しい内容については、「特にない」が55.3%で最も高く、次いで「現地市場に関する情報提供」が29.8%、「パートナーの探索・斡旋」が27.7%、「現地事情に精通した人材の紹介」が21.3%の順となっている。



2. 注目している国・地域

特に注目している国・地域について教えてください(複数回答可)

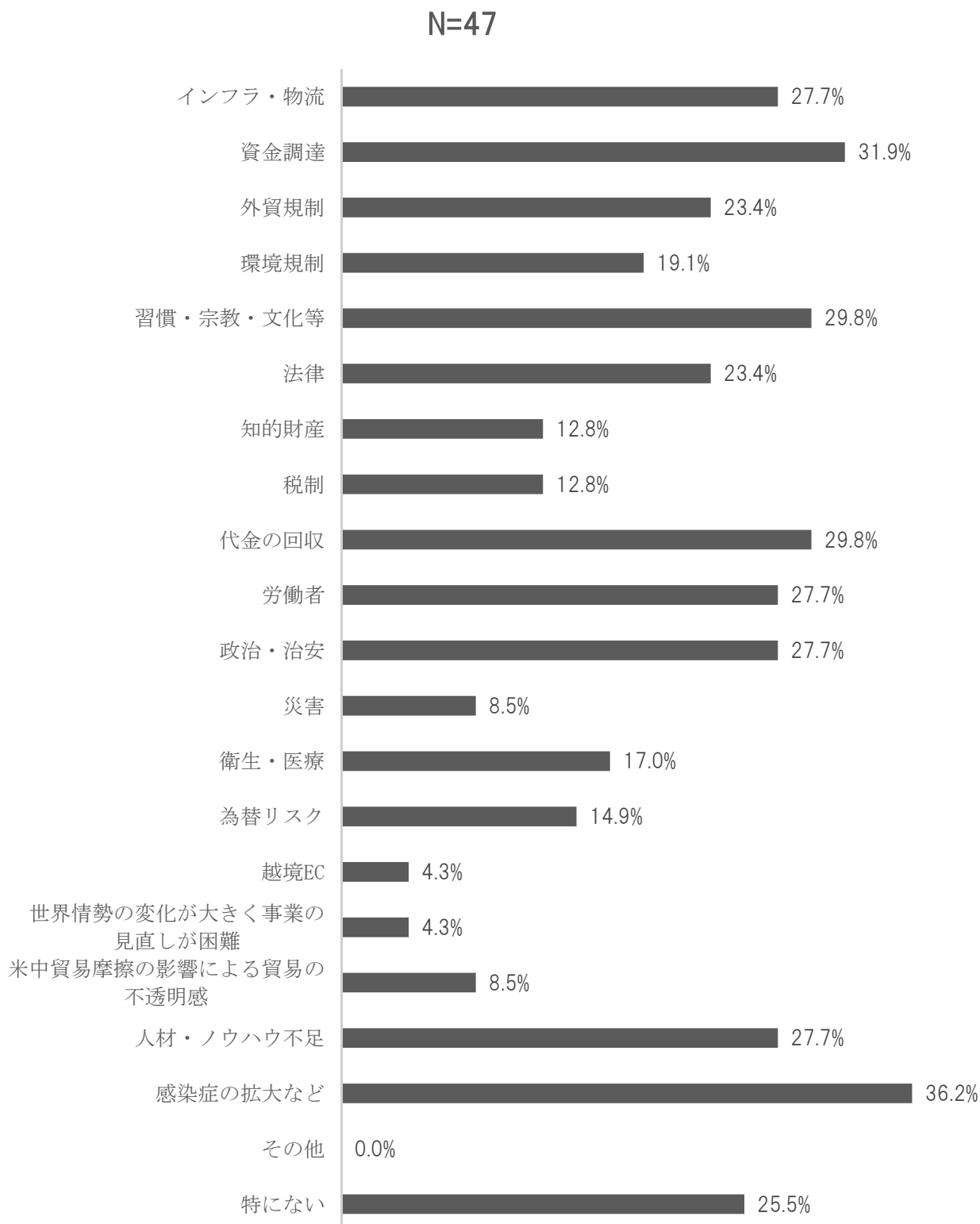
注目している国・地域については、「台湾」が38.3%で最も高く、次いで「中国」が36.2%、「ベトナム」が34.0%の順となっている。



3. 海外市場に展開するにあたるリスク

海外市場に展開するにあたって、リスクとなることが想定されるものは何ですか？
(複数回答可)

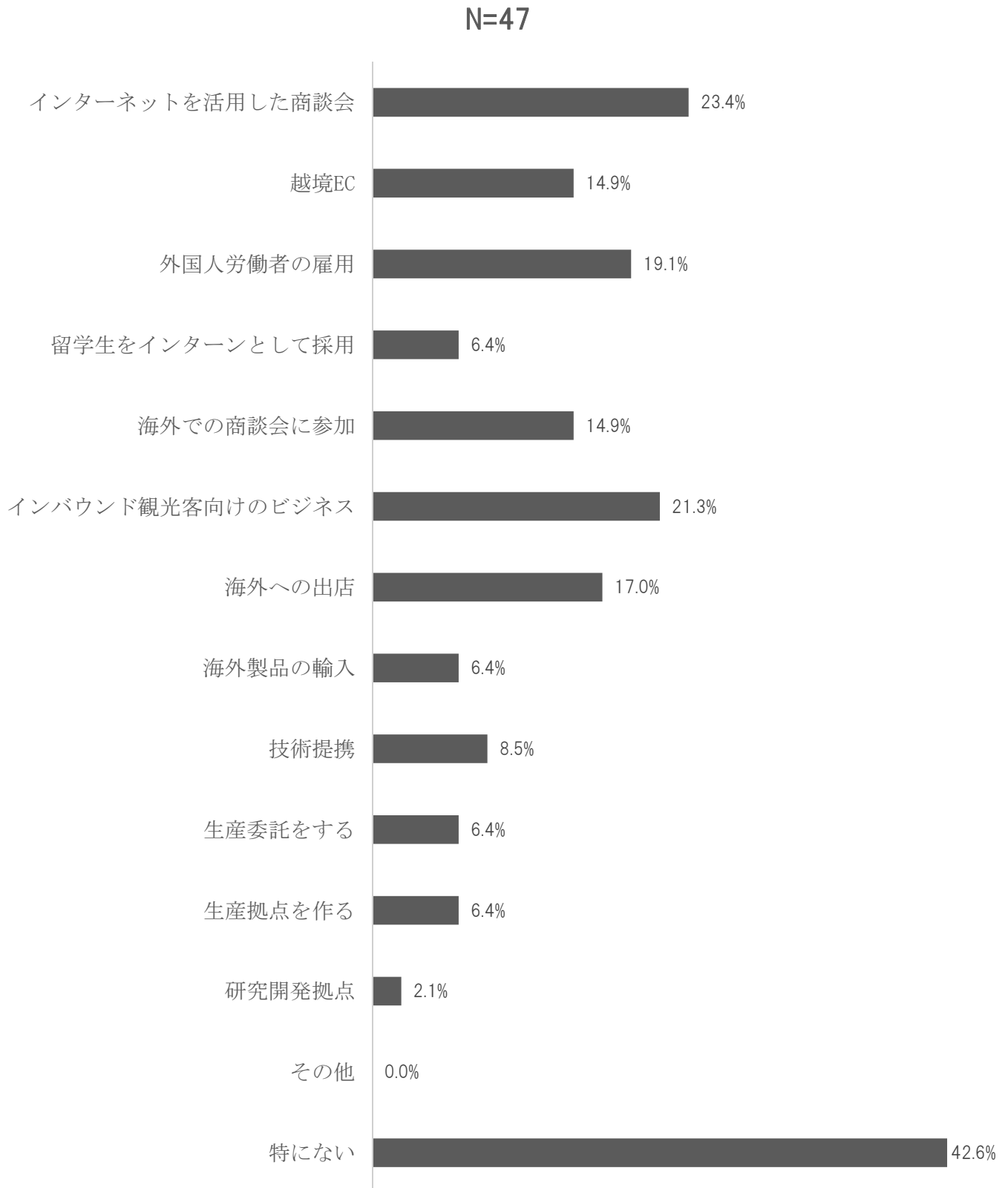
海外市場に展開するにあたるリスクについては、「感染症の拡大」が 36.2%で最も高く、次いで「資金調達」が 31.9%、「習慣・宗教・文化等」「代金の回収」が 29.8%、「インフラ・物流」「労働者」「政治・治安」「人材・ノウハウ不足」が 27.7%の順となっている。



4. 海外展開のやってみたいこと

海外展開をするにあたって、どのようなことをやってみたいと思いますか？(複数回答可)

海外展開のやってみたいことについては、「特にない」が42.6%で最も高く、次いで「インターネットを活用した商談会」が23.4%、「インバウンド観光客向けのビジネス」が21.3%、「外国人労働者の雇用」が19.2%の順となっている。

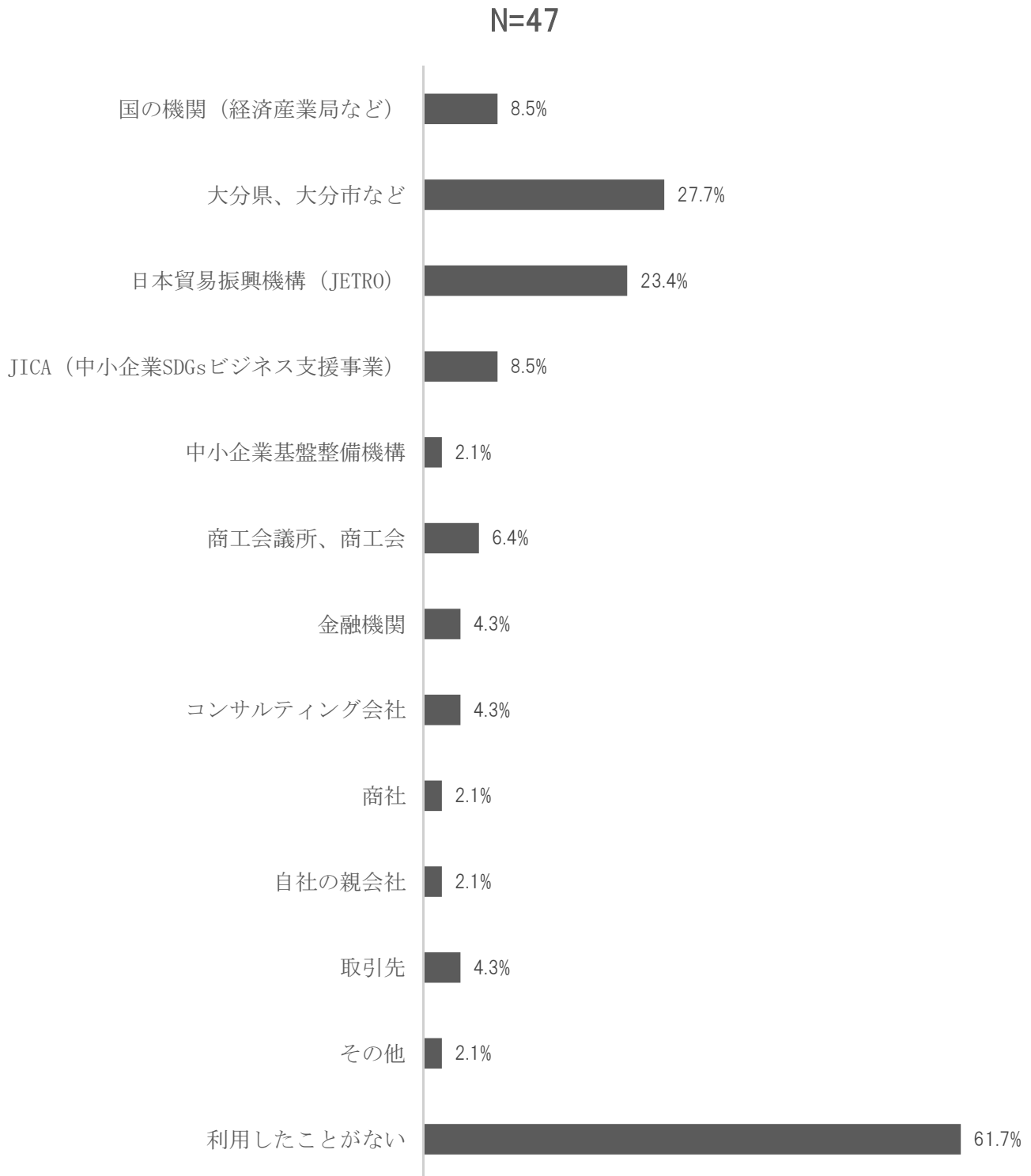


【4】海外展開に関する支援

1. 利用した支援先

海外展開にあたって、どのような支援先を利用したことがありますか？(複数回答可)

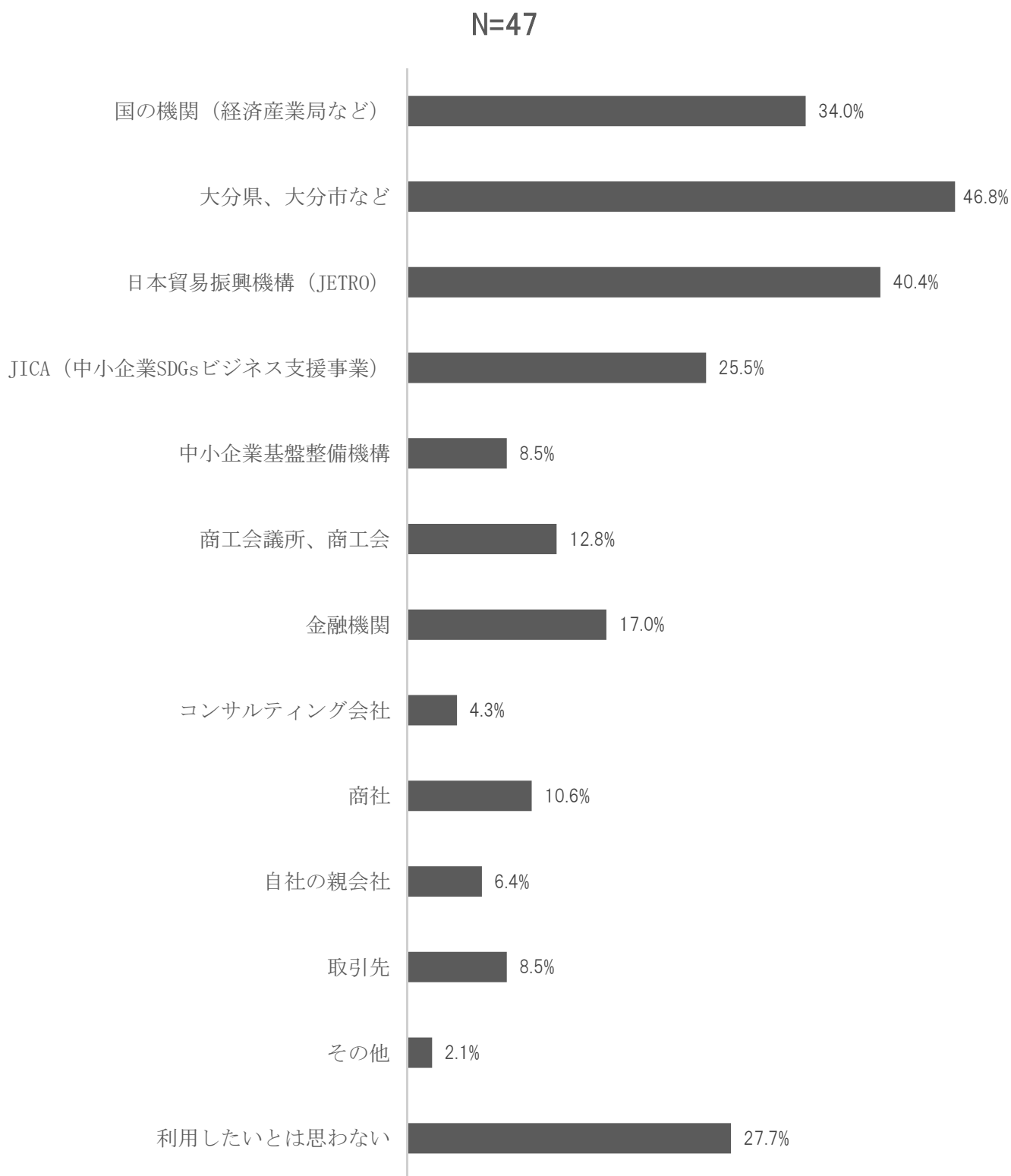
海外展開にあたって利用した支援先については、「利用したことがない」が 61.7%で最も高く、次いで「大分県、大分市など」が 27.7%、「日本貿易振興機構（JETRO）」が 23.4%の順となっている。



2. 利用したい支援先

海外展開をする際、どのような支援先を利用したいと考えますか？(複数回答可)

海外展開をする際利用したい支援先については、「大分県、大分市など」が 46.8%で最も高く、次いで「日本貿易振興機構（JETRO）」が 40.4%、「国の機関（経済産業局など）」が 34.0%、「利用したいとは思わない」が 27.7%、「JICA（中小企業 SDGs ビジネス支援事業）」が 25.5%の順となっている。



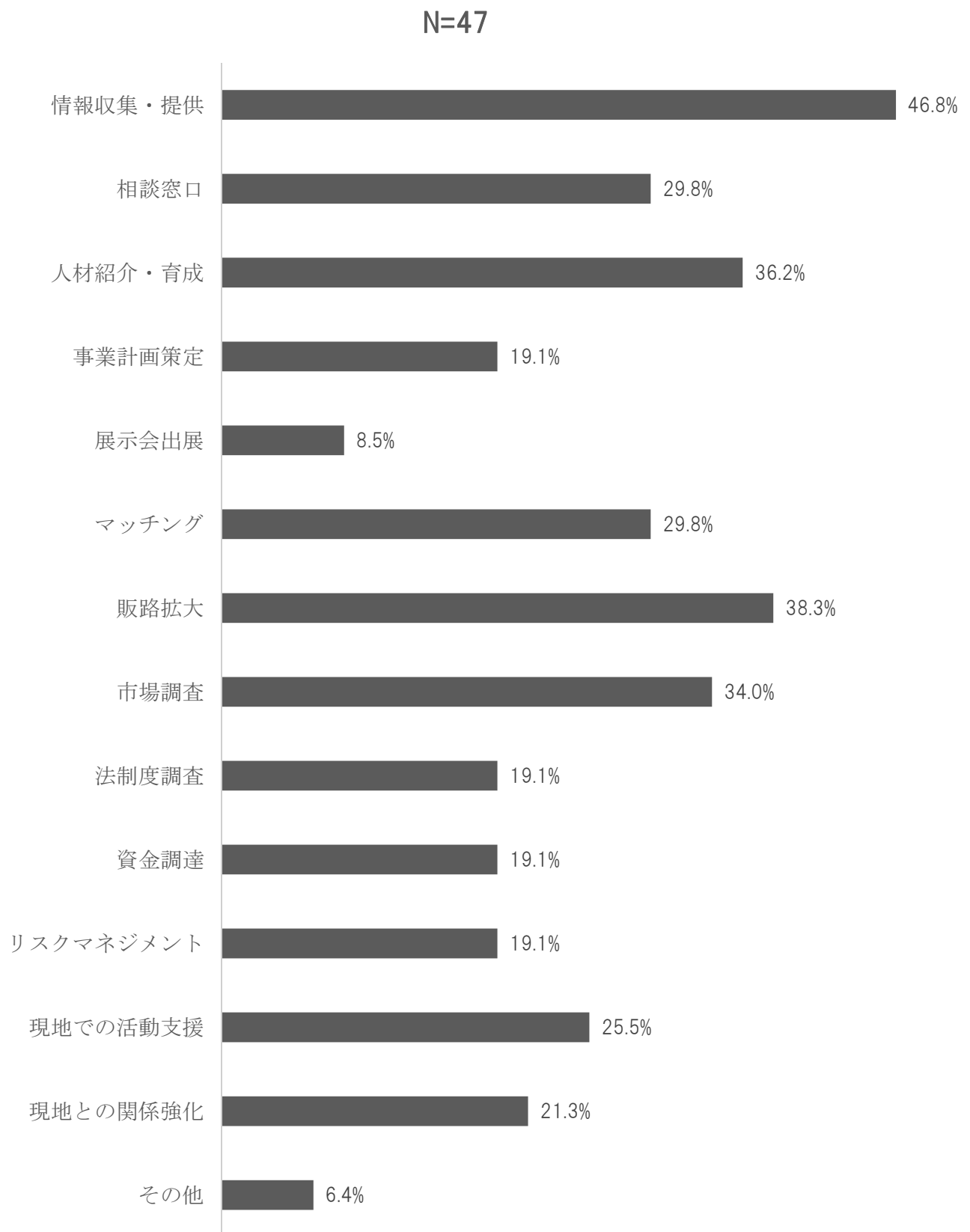
単位(%)		国の機関	大分県、大分市など	日本貿易振興機構 (JETRO)	JICA (中小企業SDGsビジネス支援事業)	中小企業基盤整備機構	商工会議所、商工会	金融機関
全体(N=47)		34.0%	46.8%	40.4%	25.5%	8.5%	12.8%	17.0%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設・土木(n=3)	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	食品(n=3)	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	33.3%	33.3%	66.7%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%
	不動産(n=1)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	運輸・倉庫(n=4)	75.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	通信・通信サービス(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	サービス業(n=16)	37.5%	37.5%	25.0%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	25.0%	25.0%	75.0%	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%
海外展開別	既に海外展開をしている・拡大を考えている (n=8)	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	考えており、準備をしている(n=3)	33.3%	33.3%	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%
	興味はあるが未定である(n=10)	60.0%	70.0%	30.0%	20.0%	10.0%	40.0%	40.0%
	考えていない(n=26)	26.9%	38.5%	30.8%	19.2%	3.8%	3.8%	11.5%

単位(%)		コンサルティング会社	商社	自社の親会社	取引先	その他	利用したいとは思わない
全体(N=47)		4.3%	10.6%	6.4%	8.5%	2.1%	27.7%
業種別	農林・水産・鉱業(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	建設・土木(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	食品(n=3)	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	電気・精密機器(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	商社・卸売・小売(n=6)	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	不動産(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	運輸・倉庫(n=4)	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	通信・通信サービス(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	放送・新聞・出版・印刷・映画(n=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%
	サービス業(n=16)	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%	6.3%	18.8%
	外国人技能実習生監理団体(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
海外展開別	既に海外展開をしている・拡大を考えている(n=8)	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
	考えており、準備をしている(n=3)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	興味はあるが未定である(n=10)	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	考えていない(n=26)	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	3.8%	46.2%

3. 海外展開の支援の期待

海外展開の支援に対して、どのようなことを期待しますか？

海外展開の支援の期待については、「情報収集・提供」が46.8%で最も高く、次いで「販路拡大」が38.3%、「人材紹介・育成」が36.2%の順となっている。

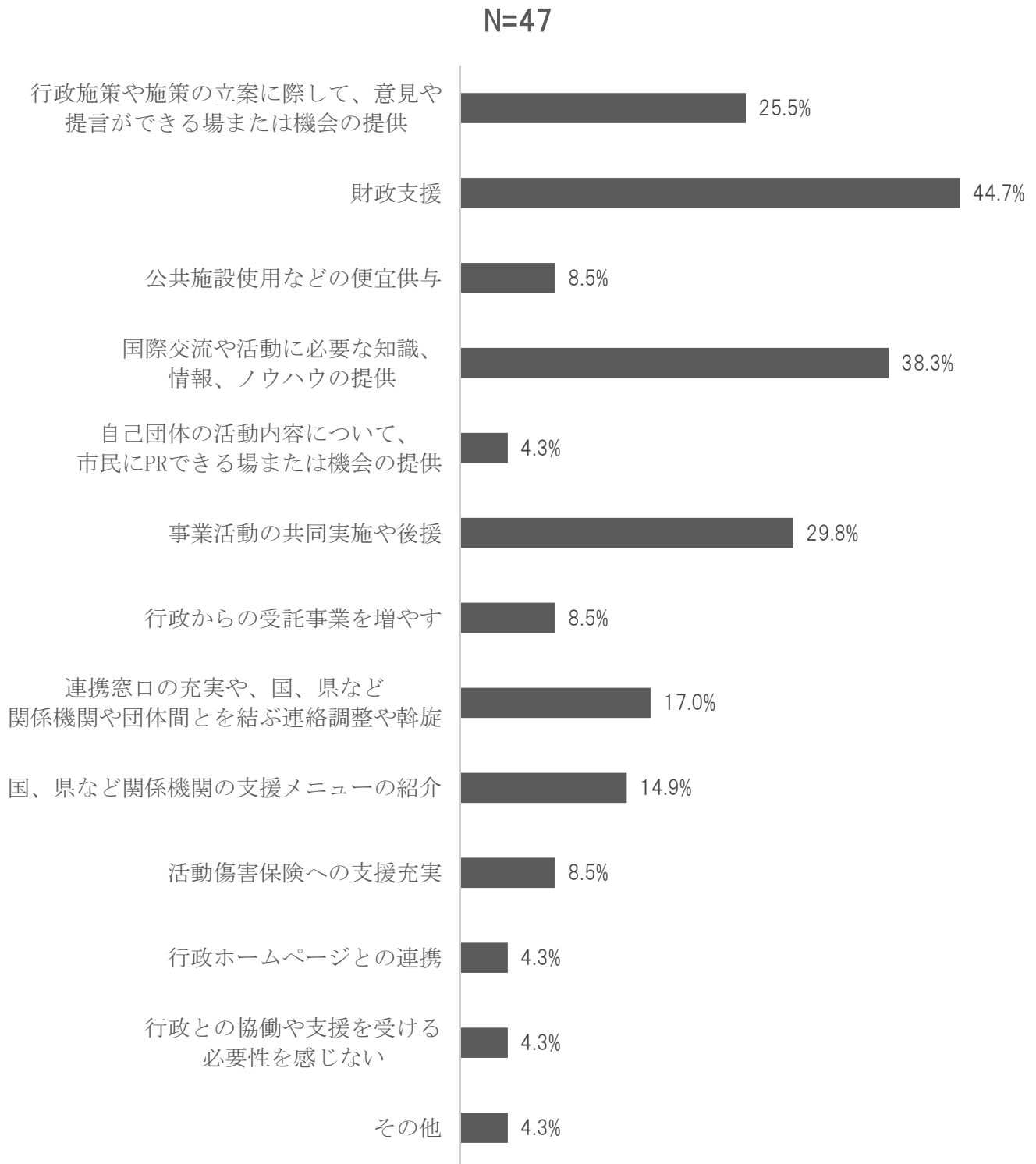


【5】行政の施策について

1. 政府に対する期待

海外へビジネスを拡大するにあたって、行政に何を期待しますか？(5個まで選択)

行政に対する期待については、「財政支援」が44.7%で最も高く、次いで「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」が38.3%、「事業活動の共同実施や後援」が29.8%、「行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供」が25.5%の順となっている。

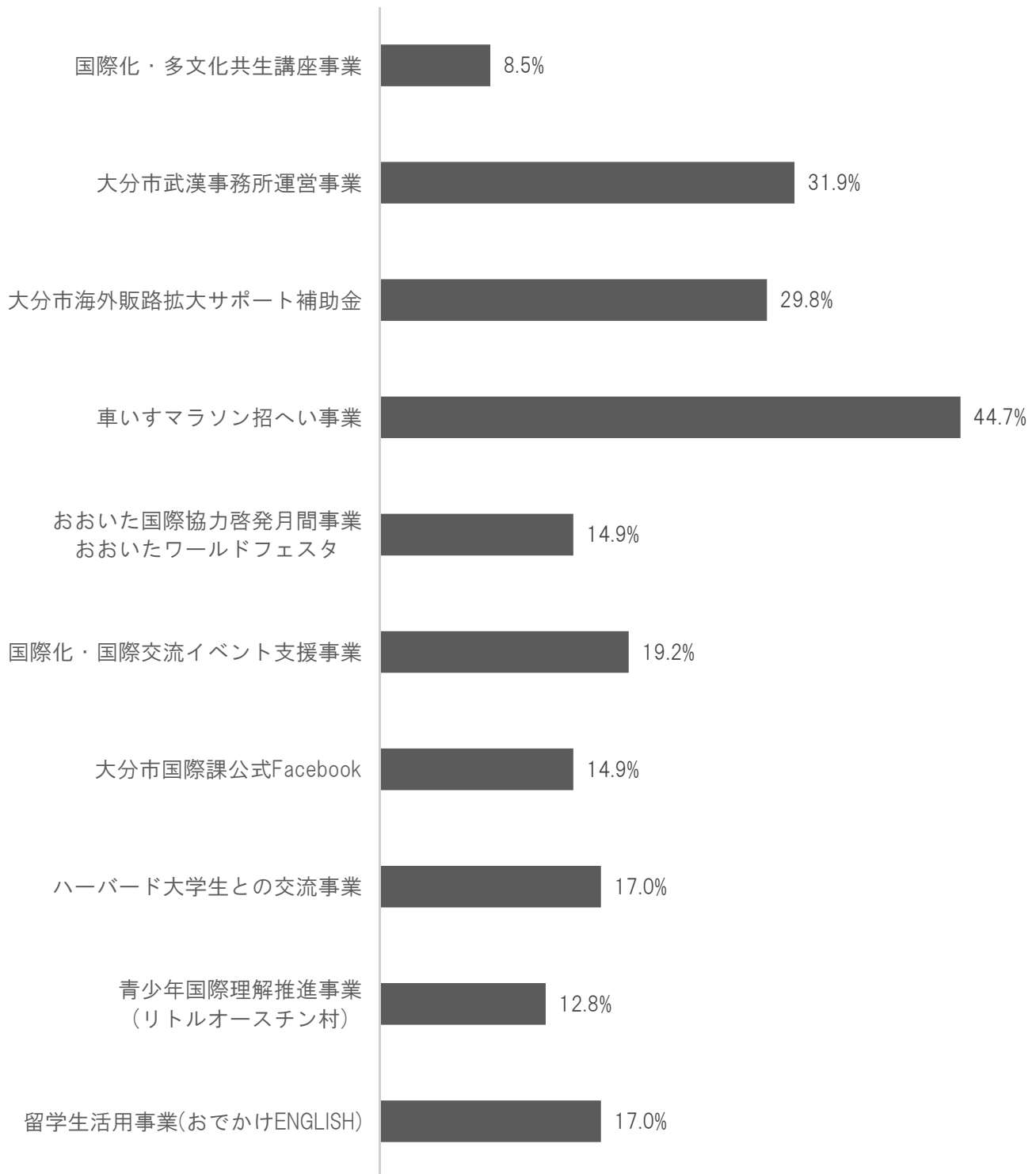


2. 「第3次大分市国際化推進計画」の事業

大分市では、現行の「第3次大分市国際化推進計画」に基づき、さまざまな国際化及び国際交流事業を実施しています。これらの事業について、知っている事業がありますか？
(複数回答可)

知っている事業については、「車いすマラソン招へい事業」が44.7%で最も高い。

N=47



【6】全般について

1. 今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響等についての意見

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響等について、お聞かせください。

- ・ インバウンド観光客の減少にともなう、市場バランスの変化
- ・ 売り上げが月によっては50%程度となっており、コロナを言われたでの平均売り上げは前年比較の60%と大きく影響している。
- ・ 海外からの採用が難しくなっている。
- ・ 外国人実習生の出入国が円滑にいくのかどうか。
- ・ 入国時に、隔離する設備の確保が難しく、寮での隔離ができる状態にないので心配
- ・ 出入国が規制されており見通しも立たないため今後の計画を立てれない。
- ・ 弊社はイベント関連を主に生業としているため、3月以降キャンセルが相次ぎ、受注が激減した。現在のところ、先の見通は全く見えていない。
- ・ 海外展開の努力が国際間の移動自粛により頓挫し、リセット状態となっている。
- ・ タクシー業であり、コロナの影響を大きく受けている。税金の猶予ではなく、固定資産税のように、減免をしてもらいたい。そうでなければ、今持ちこたえても今後の事業継続は困難である。
- ・ 大型連休に休む必要が生じたこと、コロナに関する風評被害や顧客減少により企業内の財政的余裕はなくなった。コロナ対策の借入れも行ったが、後々の返済が可能かも不安である。行政における物価統制令によって価格への反映もできず、イベントによる集客も3密対策のため行えない。人が喜んできてもらうことで人が人を呼んで賑わう会社を作りたいという、元々の当社の考え方が否定されたような状況である。そのため、雇用を守るためにと人材を減らすことなく現状、営業しているが、従業員も含め、先をあまり考えないようにしているようで、これからの展望を企画検討することもできないでいる。
- ・ 武漢市で介護中心の学校を要請されています。研修制度などで、提携できるところを紹介してください
- ・ 現状、国際線の運航がストップしており、海外への渡航が制限されております。
- ・ 海外だけでなく、国内の移動も必要最低限の要件流通に限られている状況で、非常に大きな影響を受けています。
- ・ 納品先のホテルや湯布院からの注文がなく厳しい。サービスエリアも県外客が少ない為に納品が激減している。
- ・ 先が見えない市場
- ・ 観光やイベントなどで来る県外からのお客が目に見えて減少しています。
- ・ 人の動きが押さえられているようです。
- ・ 売上減少
- ・ 業務・稼働の低下
- ・ 今のところ影響はありません。
- ・ 目下、インバウンドや国内団体観光客の激減により売り上げが激減しています。
- ・ 各種補助も利用させていただきながら、店舗を一旦閉めるとか業容を多角化するなどして、雇用を維持できるよう頑張っています。
- ・ 海外に於いてもコロナの影響で担当者との連絡が取りにくくなったり現地の様子が分かりづらくなった。

- ・ 4月、5月はとても苦しい状況でしたが現在は落ち着いております。第二波に備えている状況です。
- ・ 弊社は観光地の売店などにも商品を卸しているため、今回のコロナの影響による売り上げ低下は予想以上に大きなものがあります。国、県、市が一体となって経済を早く活性化させていただきたいと思います。
- ・ 会議、イベント等が中止になっておりますのでその際に使用する印刷物・販促物等の受注減。発注元のお客様がコロナの影響を受けておりますので仕事量が減。
- ・ 海外展開を進めていたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大にともない、中断となっている。また、海外への渡航、入国の制限が緩和されない限り、現在の海外事業においても今後、大きな影響が発生すると思われる。
- ・ 当組合は、外国人技能実習生の監理団体のため、出入国に関する処理が、コロナウイルス感染拡大によりストップしており、先行き不透明な状況であり困惑している。

2. 大分市の国際化・国際戦略についての意見・要望

大分市の国際化・国際戦略について、自由なご意見やご提言、ご要望をお聞かせください。

- ・ 外国人労働者の受け入れ支援が欲しい。
- ・ 病院、市役所、銀行等で通訳タブレット等で言葉の壁をなくして欲しい。すべてに同行すると、時間の確保が難しい。
- ・ インバウンドの拡大など多く営業を受けたが、米中摩擦や韓国の反日活動、パンデミックを含めてカントリーリスクがあるとして乗らずに来た。今回、インバウンドに頼る経営ではないようにしていたことでなんとか今も営業出来ているか、とも思う。
- ・ 大分はインバウンドも結構だが現在あるホテルがほとんどを持っていってしまう。特に湯布院や別府に観光客が集中するし、大分市は空港から遠く、新幹線も通っていない。アクセスがしにくく、観光客を呼び込むにはまずドームでイベントといった観光目的を作ることが先決である。ビジネスとしてスポーツを中心にして関係強化や観光・関係者誘致も可能ではあるだろうが、知名度がない。
- ・ 「毎日が温泉、毎日が海幸山幸」など謳って全国から 60 代以上の夫婦の移住先、学力の底上げや不登校の解消を目指して、子育てしやすい街を謳って若い夫婦の移住先としての魅力を高める。他県と比べて明確な強さとなるものを海外にアピールし、また、これからが期待されるような小国と関係を結び、提携リゾート地を作るなどしてフェリーで結ぶ。海外とフェリーと結ばれるのであれば、別府湾に埋め立て島を作ってカジノもいいのではないかと考える。
- ・ 大分に住んでいたことがあったり、学校に行っていたり、観光で来たりした方々のネットワーク作り
- ・ 大分県内の企業・個人を問わず、その都度の案件に対して、経済的・時間的な利便性を優先して推進して参ります。九州という土地柄、アジア諸国との経済発展に寄与していきたいと考えます。
- ・ 大分はキリシタン大名とも呼ばれる大友宗麟が治めていた地でもあります。他国の文化を受け入れていくのは自然な流れでしょう。大事なのは「誰のための国際化なのか」だと思います。大分市民のため？日本国民のため？企業のため？外国人のため？
- ・ 国際化によるメリットとデメリットは多大了。国際化という曖昧な表現ではなく、しっかり目的をフォーカスして行動する必要があるでしょう。
- ・ 私は観光系の人間なので、市外の人々が来たいと思ってくれるような都市になってくれると共に、大分の港や空港から海外へ簡単にアクセスできるようになってくれると嬉しいですね。
- ・ まずは海外の方への認知が必要なんじゃないかなと思うので、PR できる都市作りとアクセスは大事です。
- ・ 長崎のハウステンボスや大阪の USJ などのテーマパークと同じようなコンセプトを都市レベルで行えば面白味はあるんじゃないかと思えます。
- ・ 温泉銭湯では国際戦略は考えた事ありません。
- ・ 中国武漢市は新型コロナの発生地と報じられているため、現地を訪問・交流しづらい社会環境にありますが、こんな時だからこそ、しっかりリスクテイクしながら文化・経済交流をはかるべきだと思います。
- ・ 原発事故後に東北・福島（日本）の製品をボイコットされた経験をもつ日本だからこそ、いまやるべき交流・相手が望む交流を是非推進していただきたいです。
- ・ 店舗・屋台・キッチンカー・デリバリーなど形態はさまざまに、飲食出店で市民に一番身近な食文化交流を推進してはいかがでしょうか。
- ・ 世界中がイベントやお祭りを自粛して半年が経過しました。まだ外出自粛機運が浸透している中です

が、個人（家庭）の食はニーズが多様化し出費額も増加しています。

- ・ キッチンカー（移動販売部隊）そのものを「O I T A（オーイタ）」と命名して、世界各地で日本（大分）食のキッチンカーや屋台リヤカーなどが走り回る光景も面白いと思います。
- ・ 海外のニーズに大分市チームで対応出来る組織作りが必要かと思いますが？
- ・ 大分の人口を安定させ豊かな社会を作っていくためにも外国人が住みやすい地域を作っていくべきです。そのために外国人が安心して家族と生活できる幼稚園から高校までのインターナショナルスクールは必要不可欠だと考えます。
- ・ 大分市と武漢市との友好都市との関係で、弊社は中国向け商談会、展示会など武漢と上海で数回利用させていただきました。しかし中国のみでは不安もありますから、今後は他のアジア向け商談会なども大分市の方で情報収集、参加そして補助など受けられればと期待しております。
- ・ アフリカ諸国との姉妹友好都市締結をお願いいたします。
- ・ 大分市の海外販路拡大サポート補助金の対象も広げられ、利用しやすいと思いますし、窓口の創業経営支援課さんのご対応も大変助かっております。引き続き、利用しやすい補助金の拡大や支援機関のご紹介等をお願いいたします。